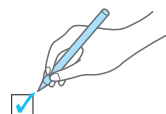
付属品

●イヤホン・ヘッドホン、ビデオデッキなどの接続コード類、Irシステムケーブル、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈　〉は個数です。

- □リモコン……〈1〉（☞ 12ページ）（品番：N2QAYB000203）
- □単3形乾電池……〈2〉（☞ 12ページ）
- □電源コード……〈1〉（☞ 11ページ）（品番：K2CG3YY00025）
- □B-CASカード……〈1〉（☞ 62ページ）表面　裏面（カードの紛失時は、☞ 62ページ）
- □アイボルトキャップ……〈3〉（品番：TKKL5370）
- □六角棒レンチ……〈1〉（品番：TKKX0015）

本機を設置するときに設置業者が使用します。

□専用スタンド……〈一式〉　品番：TY-S103PZ800
専用スタンドは別に梱包されています。専用スタンドの梱包は2梱包です。

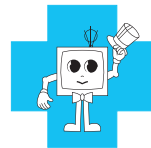
●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

ID番号	58ページに記載の「B-CASカード」「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダー ID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）
		デコーダー ID

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！　テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番	TH-103PZ800
販売店名	☎（　　）　―	お客様ご相談窓口	☎（　　）　―

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

S0808-0

Panasonic®

取扱説明書（テレビ編）

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

品番 TH-103PZ800（103V型）

テレビ編

テレビ関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。ホームページで「ご愛用者登録」をして頂きますと、本製品に関連した情報をメールなどでご案内いたします。http://club.panasonic.jp/

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●電子説明書（VIERA操作ガイド）および、取扱説明書（「テレビ編」と「かんたんガイド」、「ネットワーク編」）をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（126～131ページ）を必ずお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。
　お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBA0627-1

もくじ　基本の流れ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞126～131ページ）

●この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、別売のスピーカーシステム（SB-PF800）を接続した状態のイラストを使用しています。

こんなことがしたい

テレビを見たい

- 地上アナログ
- BS・CS・地上デジタル

番組表※を使いたい

衛星アンテナ

地上アナログ放送の番組表を見る場合も衛星アンテナの接続が必要です。
（ケーブルテレビの場合も衛星アンテナの接続が必要です）

- 見る
- 予約する

DVDレコーダーやビデオデッキなどを使いたい

ビエラリンク（HDMI）やIrシステム、i.LINKを使うとかんたんに録画設定ができます

- 録画する
- 再生する

ビエラリンク（HDMI）かんたん説明（☞6、7ページ）

パソコンやオーディオを使いたい

写真や動画を見たい（SDメモリーカード）

アクトビラを使う くらし機器を使う プリンターで印刷する

設置/接続

設定

使うとき

※詳しい解説は「電子説明書」をご覧ください。（ネットワーク編を除く）

デジタルビデオカメラなどで撮影して保存したSDメモリーカードの写真や動画が見られます。

アクトビラの動画コンテンツの視聴には、光ファイバー（FTTH）などのブロードバンド環境が必要です。

※本機の番組表はGガイドを使用しています。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞ 126～131ページ）

ふだん使うとき

詳しい説明は「電子説明書」をご覧ください。（◆の項目は除く）
※「電子説明書」の使い方は（☞14～17ページ）

●「設置／接続」「設定」はお済みですか？（☞2、3ページ）
●ビエラリンク（HDMI）かんたん説明（☞6、7ページ）

接続と設定について

●引っ越しなどで受信地域が変わるときは（チャンネル設定）（地域設定）
●番組表が映らないときは（番組表設定）
●アンテナを調整するときは（受信設定）

必要なとき

ビエラリンク(HDMI)かんたん説明

■ビエラリンク(HDMI)とは

リモコン1つでここまでできる

見ている番組をすぐ録画

(詳しくは☞52ページ)

レコーダー(ディーガ)の電源が自動で入り、録画がスタート。
レコーダー(ディーガ)のHDD(ハードディスク)などに録画します。
録りたいシーンを逃がしません。

①ビエラリンクを押す
②「見ている番組を録画」を選択する
③「決定」を押す

ディスクをすぐ再生

詳しくは88ページおよびレコーダー(ディーガ)の取扱説明書を参照ください。

見たいディスクをレコーダー(ディーガ)のトレーにセット。
本機の電源が自動で入り、再生をはじめます。

●レコーダー(ディーガ)にディスクをセットすると、自動的に本機の電源が入り再生開始(再生専用DVDディスクのみ)

ボタン1つで電源一斉「切」

(詳しくは☞88ページ)

本機、レコーダー(ディーガ)、AVアンプを使用中、本機の電源を「切」にすると同時にすべての機器の電源も「切」になり消し忘れを防ぎます。

●電源を押して、本機の電源を「切」にする
▶すべての機器の電源も「切」になります。

接続した機器を本機リモコンで操作する

- レコーダー(ディーガ)
- デジタルビデオカメラ
- CATVデジタルSTB(セットトップボックス)

詳しくは、52～55ページ、および各接続機器の取扱説明書を参照ください。

レコーダー(ディーガ)、デジタルビデオカメラ、CATVデジタルセットトップボックス※1を本機に接続すると、本機のリモコンで基本的な操作ができます。

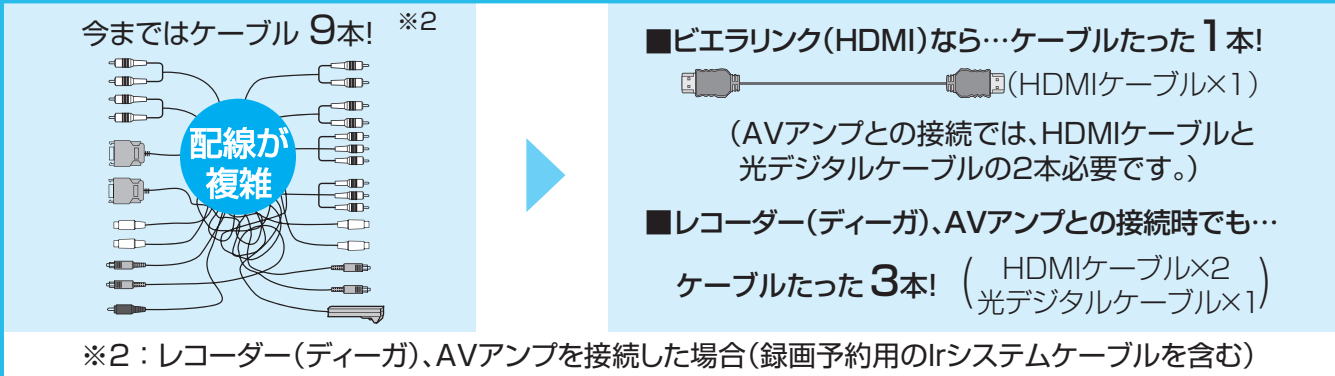
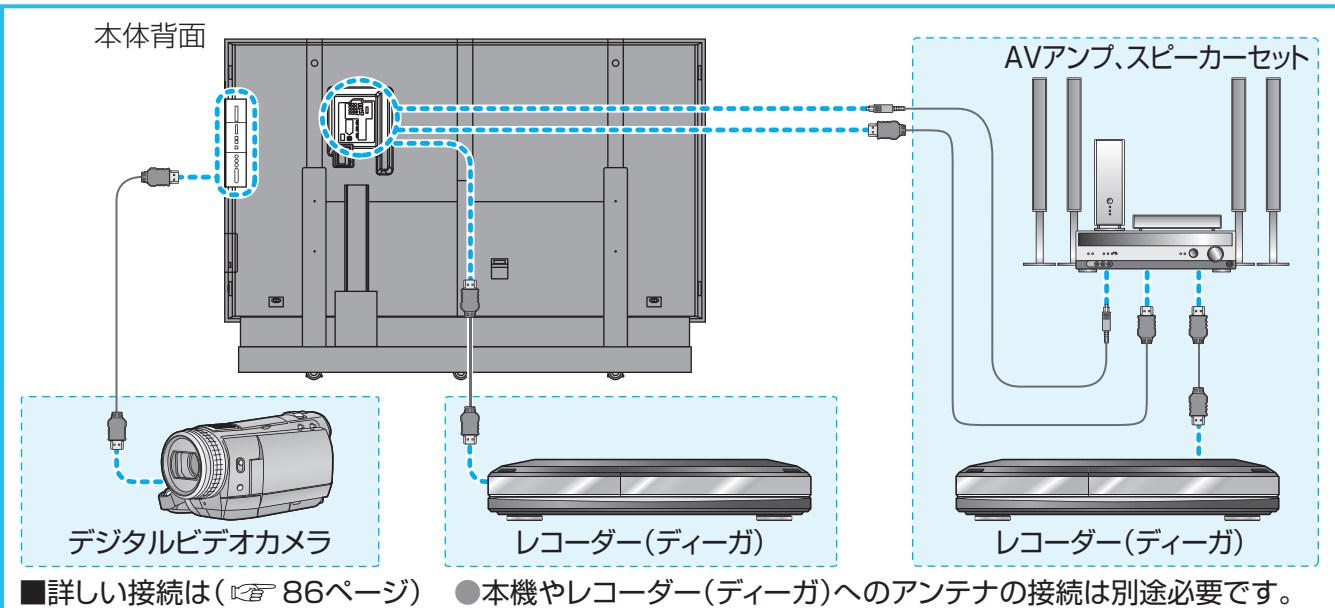
※1:ケーブルテレビの受信機です。以下、CATVデジタルSTBと記載します。

■ビエラリンク(HDMI)の接続

接続カンタン! 配線スッキリ!

※2:レコーダー(ディーガ)、AVアンプを接続した場合(録画予約用のIrシステムケーブルを含む)

接続例

■詳しい接続は(☞86ページ) ●本機やレコーダー(ディーガ)へのアンテナの接続は別途必要です。

■ビエラリンク(HDMI)の設定

ビエラリンク(HDMI)を使うには、本機や接続機器の設定が必要です

本機の設定

リモコンの「メニュー」を押す

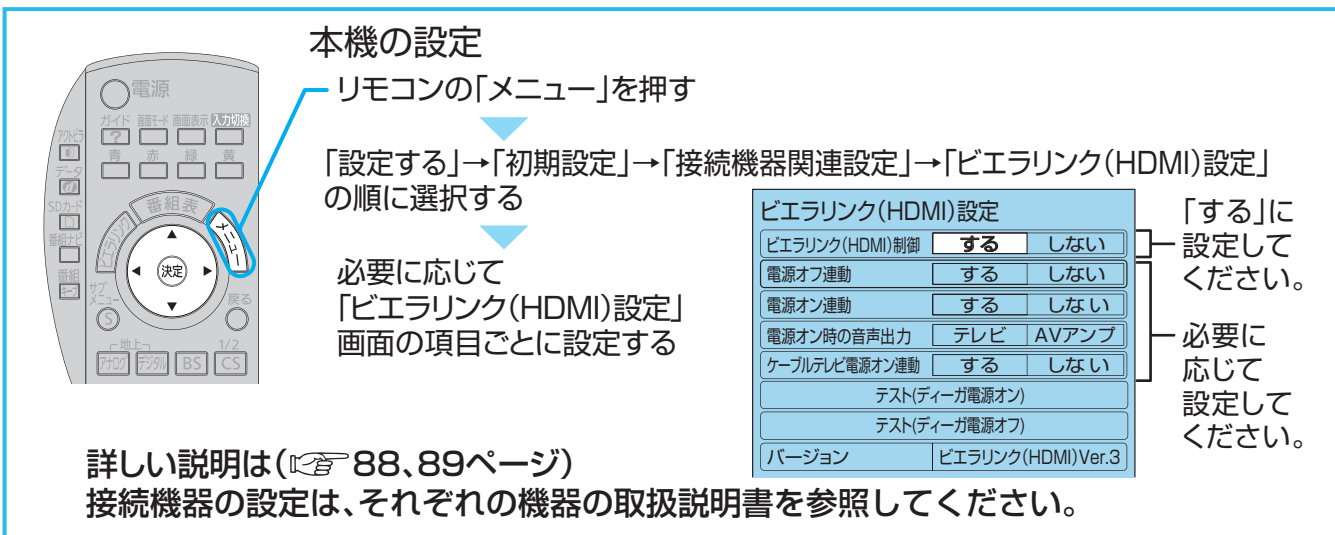
「設定する」→「初期設定」→「接続機器関連設定」→「ビエラリンク(HDMI)設定」の順に選択する

必要に応じて「ビエラリンク(HDMI)設定」画面の項目ごとに設定する

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	する	しない
電源オフ連動	する	しない
電源オン連動	する	しない
電源オン時の音声出力	テレビ	AVアンプ
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
テスト(ディーガ電源オン)		
テスト(ディーガ電源オフ)		
バージョン	ビエラリンク(HDMI)Ver.3	

「する」に設定してください。

必要に応じて設定してください。

詳しい説明は(☞88、89ページ)
接続機器の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

■ビエラリンクのQ&A (☞118ページ)

ビエラリンク(HDMI)を使うときの参考、疑問などについて記載

本機について

本機は非常に大型で重量がありますので、搬入・設置・移動・背面端子への接続機器の追加は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

搬入・設置・移動について

本機の搬入・設置・移動は専門業者が行います。

背面端子に接続機器を追加するときには、接続コードを専用スタンドの中に通すことができます。
その際本機を移動させる必要がありますので、作業についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機を移動するときには、必ず移動先、移動経路の床や壁の強度などの調査を行ってください。詳しくはお買い上げの販売店までご相談ください。

スピーカーについて

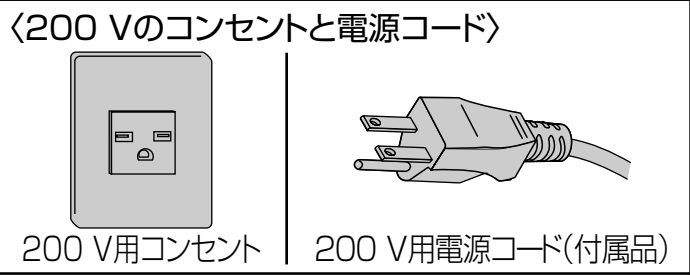
スピーカーは別売です。

■2chサウンドで楽しむときは

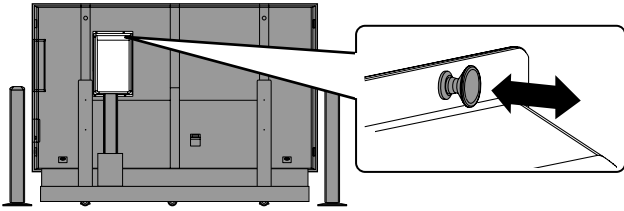
本機背面下部の接続端子にスピーカーを接続するだけで、2chサウンドをお楽しみいただけます。
推奨スピーカーシステム：Panasonic製　SB-PF800

■5.1chサウンドで楽しむときは

本機とAVアンプ(別売)をHDMI接続すると、5.1chサウンドをお楽しみいただけます。(☞87ページ)
推奨サウンドセット　　：SC-HT7000
※AVアンプと5.1chスピーカーシステムのセット

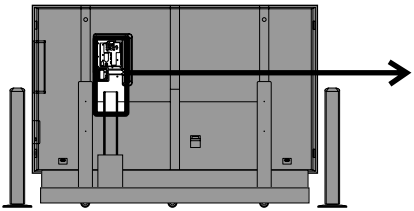
設置オプションについて

設置オプションのAVラックは、当社製DVDレコーダー(ディーガ)やAVアンプを収納できます。
品 番　TY-DW5000T

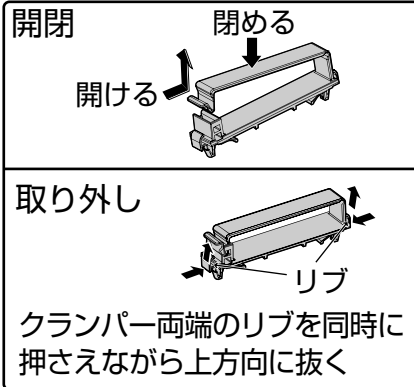
電源について

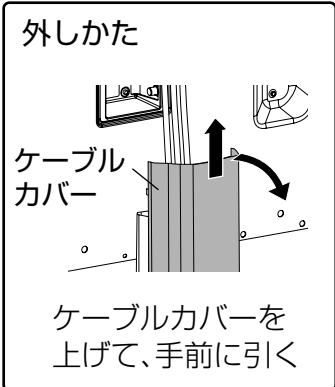
本機の電源は200 Vです。100 Vの電源では使用できません。
あらかじめ200 Vの電源工事が終了していることをご確認ください。
(電源工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。)

〈200 Vのコンセントと電源コード〉

200 V用コンセント　200 V用電源コード(付属品)

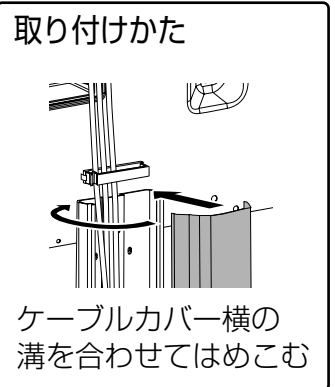
ご使用の前に

端子カバーの着脱について

着脱方法
●端子カバーのピン(4ヵ所)の先端を引いて(押して)外して(取り付けて)ください。

お願い
●端子カバー取り付け時、ピンは4ヵ所とも差し込んでください。
●ピンの抜き差しが固いことがあります。
●端子カバーを取り付けるときに、ケーブル類をはさまないようにしてください。

ケーブル類の固定について

ケーブル類の固定方法

●ケーブル類は、必要に応じてクランパーで固定し、ケーブルカバーを通してください。

クランパー

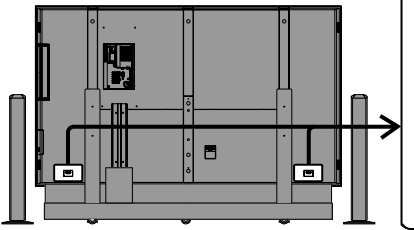
開閉

取り外し

クランパー両端のリブを同時に押さえながら上方向に抜く

ケーブルカバー

外しかた

ケーブルカバーを上げて、手前に引く

取り付けかた

ケーブルカバー横の溝を合わせてはめこむ

お願い
●画面に妨害が出る場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。
●ケーブル類を専用スタンドの下に通すときは、次のページの手順に従って通してください。

スピーカー(別売)の接続について

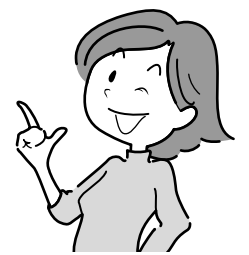
スピーカーの接続方法

レバー

1. レバーを押し下げる
2. コードを差し込む
3. レバーを戻す

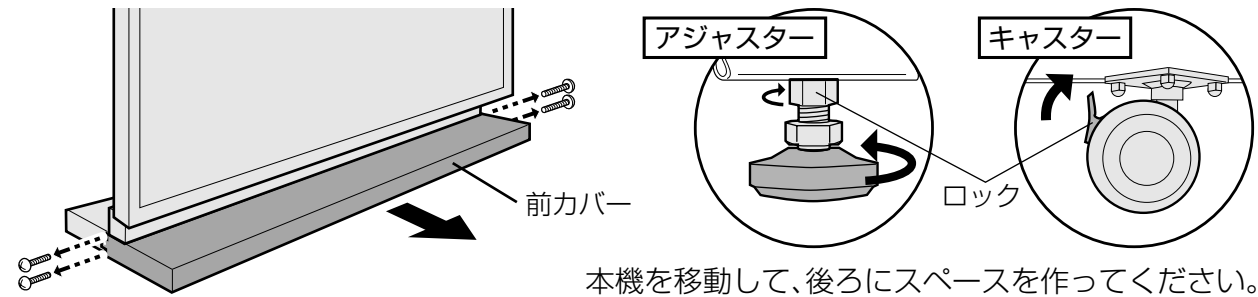
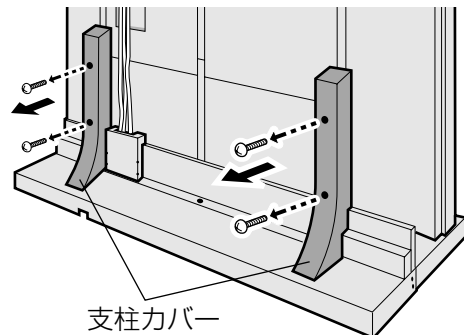
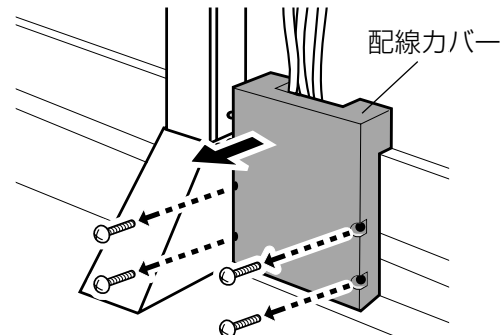
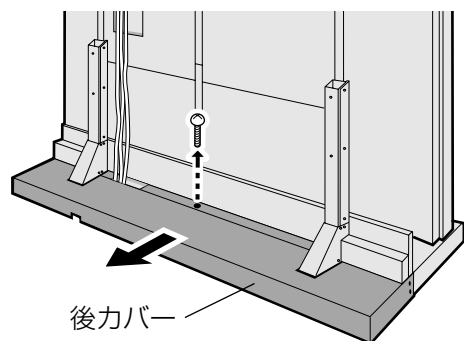
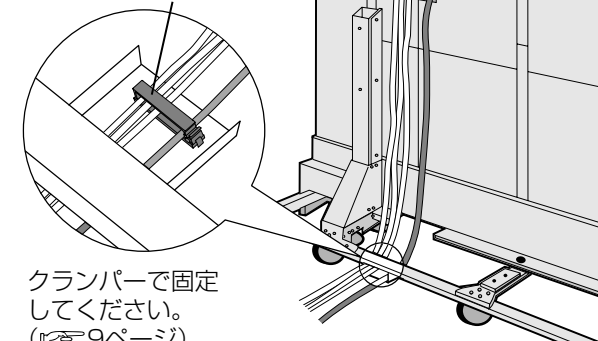
スピーカーシステム
品番：SB-PF800
※詳しくはスピーカーシステムの取扱説明書をご覧ください。

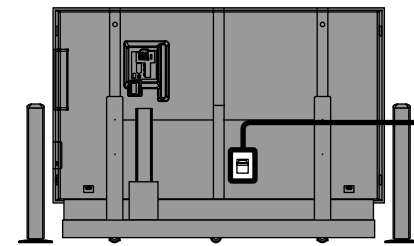
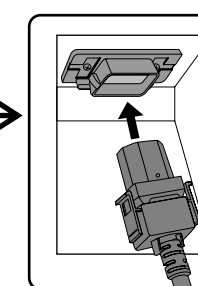
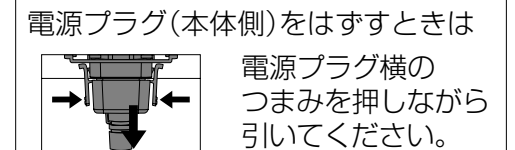
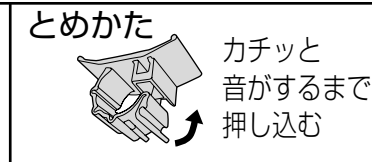
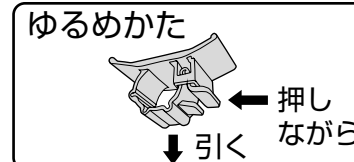
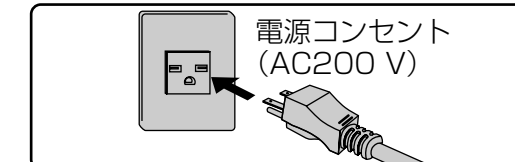
ご使用の前に（つづき）

本機背面端子に接続機器を追加するときには、ケーブル類を専用スタンドの中に通すことができます。
その際本機を移動させる必要がありますので、作業についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

ケーブル類の専用スタンドへの固定について

●ケーブル類は必要に応じて専用スタンドの下を通してください。
●本機の移動は、お買い上げの販売店にご相談ください。

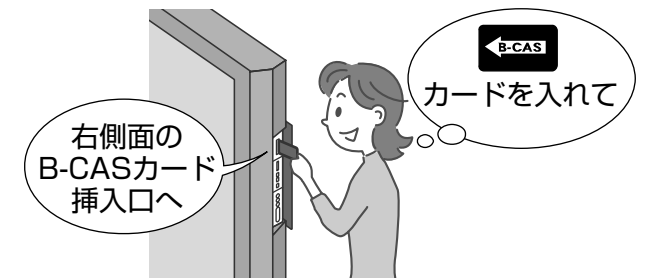
（本機の後ろに十分なスペースがない場合）
●本機をアンカーボルトで固定しているときは、アンカーボルトを外してください。
（詳しくは専用スタンドの組み立て設置工事説明書をご覧ください。）
●前カバーを外して、アジャスター（4ヵ所）とキャスターのロック（8ヵ所）を解除する

本機を移動して、後ろにスペースを作ってください。

①支柱カバーのネジを外して、支柱カバーを外す

②配線カバーのネジを外して配線カバーを外す

③後カバーをとめているネジを外して、後カバーを外す

④ケーブル類を通す

外したカバー類を、逆の手順で組み立ててください。

お願い
●専用スタンドに付属している組み立て設置工事説明書もご覧ください。
●アジャスターとキャスターのロックは、必ず固定してください。
●組み立ての際に、ケーブル類をはさみこまないようにしてください。

ご使用の前に（その他の項目）

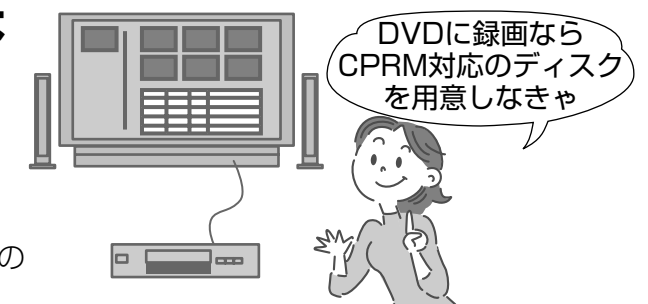
デジタル放送を見るためには

☞ 62ページ

B-CASカード（付属品）の挿入が必要です。

デジタル放送※ のデジタル録画は

☞40、124ページ

CPRMに対応したデジタル機器と記録メディアの組み合わせで、録画が可能になります。

※ただし、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」のコピー制御信号が加えられている場合。

テレビを見終わったら リモコンで電源を切る

最新の番組表や放送ダウンロードの受信のために、本体で電源を切らないことをおすすめします。（☞81、116ページ）

各部のはたらき （リモコン）

見ている番組のタイトルなどを表示する（☞20ページ）
画面のサイズを変える（☞42ページ）
本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
本機の使いかたなどを知りたいとき（☞14ページ）
アクトビラを使うとき（☞ネットワーク編）
データ放送を見るとき（☞22ページ）
SDメモリーカードを使う（☞50ページ）
ビエラリンクメニューを表示する（☞52、54ページ）
（見ている番組を録画、録画を停止する 番組キープ／再生、ディーガの操作一覧 音声をAVアンプから出す など）
番組の内容を見る（☞20、22ページ）
番組を探す（☞24ページ）
番組を予約する（☞34ページ）
番組キープ機能を使う（☞52ページ）
放送のチャンネルを選ぶ
数字や文字入力を行う
●押すと、選んだ放送を示す放送切換ボタンが点滅します。
チャンネルを順送りで選ぶ
番組に合わせて音声を選ぶ（☞44ページ）
メニュー画面などからテレビ放送の画面に戻る
3桁チャンネル番号を入力して選局するとき（☞20ページ）
デジタル放送で字幕がある場合に字幕の「オン」「オフ」を切り換える（☞46ページ）
自動的に電源を切る（☞20ページ）
当社製レコーダー（ディーガ）を操作する（☞56ページ）

ビデオやDVDなどを見るとき（☞20ページ）
画面上で指示が出たときに使う（青、赤、緑、黄のカラーボタン）
番組表を表示する（☞24ページ）
メニュー画面を表示する
画面上で選択や決定をする
1つ前の画面に戻る
見ている画面に関連した機能を表示（☞22ページ）
放送を切り換える（放送切換ボタン）
●押すとボタンが点滅します。
●数字や文字入力時に 1 ～ 12 を押したときも点滅します。
●放送切換は、前回選んだボタンを記憶しています。
●使わない放送を操作できないようにすることができます。（地上アナログ、BS、CSのみ）（☞74ページ）
音量を調整する
音を消す
●もう一度押すと解除します。
デジタル放送時、お好み選局の画面を出す（☞20、74ページ）
ステレオ/2ヵ国語など音声を切り換える（☞44ページ）
2画面の操作（☞42ページ）
●2画面にする
●2画面の左右を入れ換える
●2画面の右画面の操作をする
ふた（開けた状態）

■リモコンに電池を入れる
①ふたを開ける。 ②電池を⊖側から入れ、ふたを閉める。

単3形乾電池（付属品）

お願い
●リモコンに液状のものをかけないでください。
●リモコンを落とさないでください。
●本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
●本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

本体前面・側面

■イヤホンやヘッドホンの接続について（M3プラグ専用）

	左画面/イヤホン（ステレオ）	右画面/イヤホン（モノラル）
1画面のとき	スピーカーと同じ音（スピーカーから音は出ません）	スピーカーと同じ音（スピーカーから音は出ます）
2画面のとき	スピーカーと同じ音（スピーカーから音は出ません）「音声左右切換」（☞42ページ）を選択すると、右画面の音声が出ます。（♪マークを表示）	右画面の音が出る ・デジタル放送時：右画面操作の音声切換で設定した音声 録画中は予約の際に設定した音声（☞32ページ） ・外部入力時：右画面の右と左の合成音
音量調整	音量ボタンで調整	リモコンの「右画面操作」を押し、音量ボタンで調整

●ビエラリンク（HDMI）でAVアンプから音声を出しているときは、上側イヤホン端子から音は出ません。

リモコン受信部
正面で約7 m以内（左右各約30° 上下各約20°）
●本体上部にもリモコン受信部があります。

明るさセンサー
●明るさオート「オン」のときに、まわりの明るさに応じて見やすい映像に自動調節するための受光部
●明るさセンサーの前に物などを置かないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

回線使用中／データ取得中ランプ
●電話回線に接続時→赤色
●放送局から番組表や情報を電波を通して受信中→橙色

電源ランプ
●リモコンで、電源「入」→緑色
●リモコンで、電源「切」→赤色
・i.LINK待機「する」設定中
・電源オン連動「する」設定中
・録画予約実行中
・クイックスタート「入」設定中、電源を「切」にして24時間以内 →橙色
●本体で、電源「切」→消灯

お知らせ
●電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

本体背面・側面

電子説明書の使いかた

■本機は電子説明書(VIERA操作ガイド)を内蔵しています。

テレビの操作がわからないとき、ガイド を押すだけで、取扱説明書の内容を画面で見ることができます。

●トップページから、見たい情報を探す(☞右ページ)

テレビを見ているときに押す

ポイント

ガイド で 開く 閉じる

 で選ぶ

戻る で1つ戻る

※電子説明書の表示中は上記のボタン以外を、押さないでください。
もし、メニュー画面が表示された場合は、元の画面 を押して、電子説明書を終了して最初からやり直してください。

●電子説明書を見て、すぐに実際の操作をする(☞16ページ)

●実際の操作中、今の操作説明を見る(☞16ページ)

●紙の説明書のさらに詳しい説明を見る(☞17ページ)

■電子説明書のトップページと1つ下のページでは、音声ガイドで説明書の使いかたを案内します。

●音声ガイドを止めたいときは(☞右ページ)

●音声ガイドを聞き直したいときは 12 を押す

チャンネルボタン

※「音声ガイドを止める」が選択されたとき(☞右ページ)は、聞き直しはできません。
※音声ガイドはトップページのみ聞き直しができます。

■本機にネットワークプリンターを接続しているときは、表示している電子説明書を印刷することができます。

●電子説明書を印刷したいときは(☞ネットワーク編 50ページ)

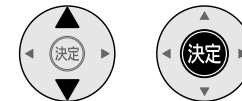
トップページから見たい情報を探す

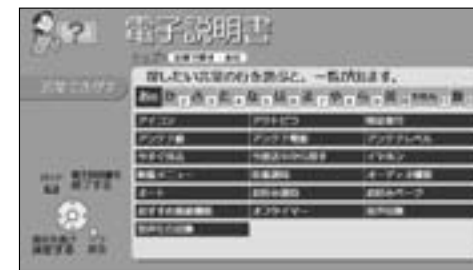
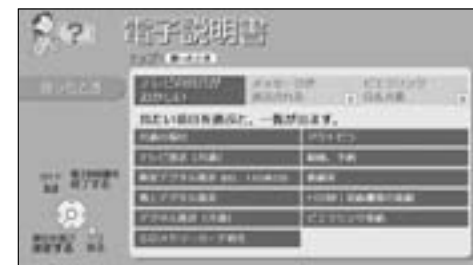
1 テレビ画面のときに

ガイド

ボタンを押す

●もう一度押すとテレビ画面に戻る

2 「目的でさがす」「言葉でさがす」「困ったとき」から調べかたを選ぶ

●音声ガイドを止めたいときは「音声ガイドを止める」を選び「決定」

目的でさがす

手順の通り覚えてからやってみましょう！

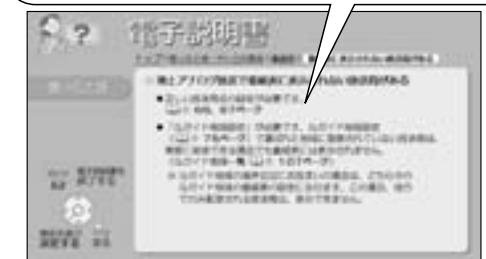
●説明手順があるときは、リモコンの数字ボタンを押して項目を選ぶこともできます。(「■準備」などの手順番号のない項目を選ぶには、リモコンの12を押す。)

言葉でさがす

探したい言葉の行を選ぶと、その行の一覧を表示します。

●リモコンの数字ボタンを押して「行」や「英」「数」を選ぶこともできます。

困ったとき

紙の説明書(本書)(☞110ページ〜)の「故障かな!?」「ビエラリンクQ&A集」「メッセージ一覧」と同様の内容が見られます。

電子説明書の使いかた(つづき)

電子説明書(VIERA操作ガイド)を見て、実際に操作してみたいときは
●テレビ画面上の「実際にやってみる」ボタンを選んで決定すると、実際の操作画面に切り換わります。

テレビを操作していて、途中でわからなくなったときは
●リモコンの ガイド[?] を押すと、今の画面に関連した説明を表示します。

紙の説明書(本書)を読んでいて、さらに詳しい説明が見たくなったときは
●電子説明書のトップページで、本書に記載されている3桁の番号を押すと、紙の説明書と関連した、さらに詳しい説明を表示します。

説明を見て実際に操作してみる

「実際にやってみる」を選び「決定」を押す

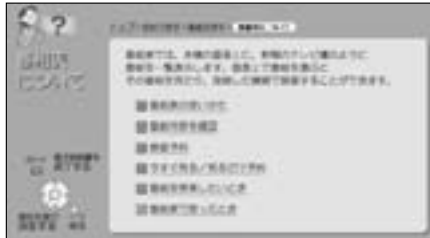
電子説明書

例：画質調整の説明

実際の操作画面

「画質の調整」画面

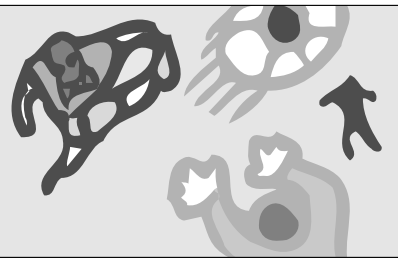
操作がわからなくなったとき

ガイド[?] を押す

実際の操作画面

例：番組表を出しているとき

電子説明書

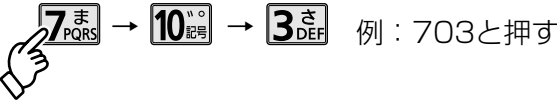
番組表に関連した説明

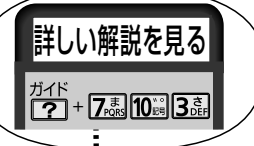
■ガイドマークについて
●本書の説明中に右のマークがある操作をしているときに ガイド[?] を押すと、今の操作に関連した説明を表示します。

エラーメッセージが表示されたとき

●エラーメッセージに [?] マークが表示されているときに ガイド[?] を押すと、詳しい説明を表示します。
(☞120ページ)

紙の説明書のさらに詳しい説明を見たいとき

1 テレビ画面のときに、ガイド[?] を押す

テレビ放送の画面

テレビ操作画面や電子説明書などが表示されている場合は、[元の画面] を押して、テレビ画面の状態に戻してから ガイド[?] を押してください

電子説明書のトップ画面を表示

2 本書に記載の20～59ページの3桁の番号を押す

[7] → [10] → [3]　例：703と押す

詳しい解説を見る
ガイド[?]＋[7][10][3]
3桁の番号

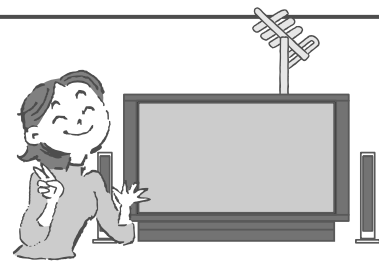
お知らせ
●3桁番号は112・115ページにも記載しています。

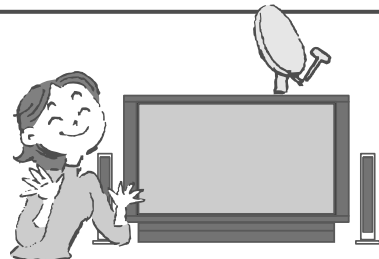
■やり直すとき
戻る ◯ を押す(1つ前の画面に戻る)

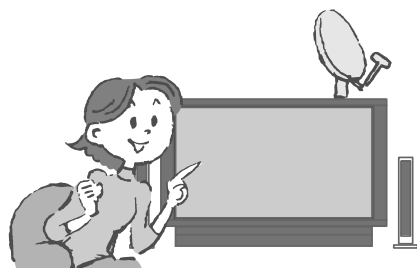
本機で楽しめる放送

B-CASカードを挿入しないとデジタル放送は映りません。

地上デジタル

●UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。（2008年7月現在）
※本機では、ワンセグ放送は受信できません。

BSデジタル

●放送衛星（ブロードキャスティング・サテライト Broadcasting Satellite）を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOW（ワウワウ）などの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

110度CSデジタル

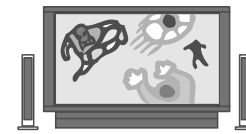
●通信衛星（コミュニケーションズ・サテライト Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
●110度CSデジタル放送の放送事業者「e2 by スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。「e2 by スカパー！」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先
●「e2 by スカパー！」カスタマーセンター
0570−08−1212（ナビダイヤル）（PHS・IP電話のかたは**045−276−7777**）
受付時間 10：00 ～20：00（年中無休）
●「e2 by スカパー！」公式ホームページ
http://www.e2sptv.jp/

地上アナログ

●従来からのVHF・UHF放送のことです。（2008年7月現在）
●地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。
●地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。
●本機では、地上アナログ放送で、電波のすきまで送られてくる文字放送（字幕）はご覧いただけません。

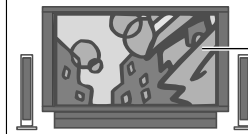
●BSアナログのWOWOW（ワウワウ）はBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー！」は「e2 by スカパー！」として110度CSデジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されている場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。（放送の内容は異なりますので、再契約をされる場合はよくご確認ください）

デジタル放送には3種類の放送（サービス）があります

テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

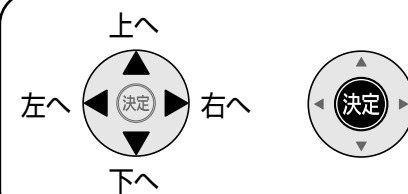
データ放送

お住まいの地域の生活情報やクイズ、天気予報、ニュースなどの放送です。

ラジオ放送

音声を主とした放送です。

●テレビ放送で データ を押すと、データ放送を表示できる場合があります。（☞ 22ページ）この場合、現在のテレビ放送に関連した情報などが表示されます。
●番組表からの選局やチャンネル選局でご覧いただけるデータ放送では データ の操作は不要です。
●ラジオ放送は、BSデジタルと110度CSデジタルの一部でのみ、実施されています。（2008年7月現在）

基本的な画面操作について

画面上で選ぶとき

中央の決定ボタンを押すと、次の画面になります

※上記のように取扱説明書上では、押すボタンを拡大しています。

■やり直すとき

戻る：1つ前の画面に戻る

元の画面：テレビ放送の画面に戻る

■数字などを入力するとき

リモコンボタン	入力文字（表示内容）
1 ～ 9	1～9
10	0
11	＊
12	＃

※この取扱説明書でのイラストや画面は、イメージであり、実際とは異なる場合があります。

画面上で灰色表示されている項目の設定や選択はできません。取扱説明書の説明用画面イラストでは灰色表示の区別はしていません。

アナログ放送時、実際の画面では灰色表示（設定できない項目です）

例）録画予約の詳細設定画面の場合

テレビを見る

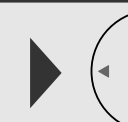
詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

省エネ設定／データ放送を見る／サブメニュー

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

省エネ設定

手順			
地上アナログ放送やビデオが終了して10分後に自動的に電源を切る（無信号自動オフ）	「無信号自動オフ」を選ぶ	「入」を選ぶ	■終わったら元の画面を押す
3時間以上操作をしないとき自動的に電源を切る（無操作自動オフ）	「無操作自動オフ」を選ぶ	「入」を選ぶ	
画面の明るさを抑えて消費電力を低減する（消費電力）	「消費電力」を選ぶ	設定する	
パネルの焼き付きを防止する（スクリーンセーバー）（無操作画面自動オフ）	「無操作画面自動オフ」を選ぶ	「入」を選ぶ	

詳しい解説を見る	関連情報
ガイド？+ 8 3 7	電源が切れる3分前から点滅表示します
ガイド？+ 8 3 8	電源が切れる3分前から点滅表示します
ガイド？+ 8 3 9	「標準」標準的な明るさ 「減1」消費電力を低減 「減2」さらに低減
ガイド？+ 8 4 10	アクトビラ画面やSDメモリーカードの写真再生時（スライド表示時を除く）5分以上操作しないと画面が灰色になります。

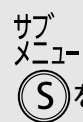
データ放送を見る

手順 ▷▷▷

手順				詳しい解説を見る	関連情報
データ放送の番組を確認する	番組ナビ デジタル放送を視聴中に押す ▶「番組の内容を見る」を選び決定	●下記アイコンが表示された番組はデータ放送があります。（アイコンが表示されない番組もあります） データ ＋dテレビ dテレビ ＋dラジオ dラジオ	■確認したら元の画面を押す	お知らせ ガイド？+ 7 8 3	データ放送とは ガイド？+ 1 9 10
データ放送を見る（データ放送）	データ d デジタル放送を視聴中に押す	見たい項目を選び決定	■テレビ画面に戻るには元の画面を押す	ガイド？+ 7 8 4	

サブメニュー

手順 ▷▷▷

手順			詳しい解説を見る	関連情報
ワンタッチで機能を呼び出す（サブメニュー）	サブメニュー S を押す ●今の画面に関連した機能が表示されます。 ●地上アナログ放送時は、表示しません。	項目を選び決定	ガイド？+ 4 6 10	

●省エネ設定／データ放送を見る／サブメニュー

番組表から見る／お好みの番組　を探す

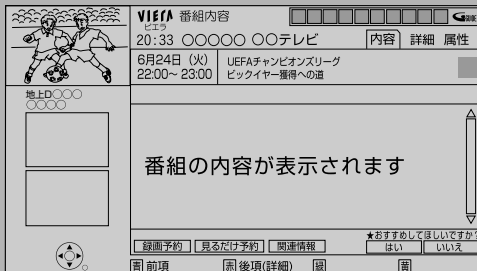
詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

番組表から見る

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

番組表 を押す（ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。）▶ 地上（アナログ・デジタル）・BS・1/2 CS 放送を選ぶ ▶ 見たい番組を選び決定（「番組内容」画面を表示）

詳しい解説を見る：ガイド ? + 7 10 3

番組内容

放送中の番組を見る（今すぐ見る）

「今すぐ見る」を選び決定
→選んだ番組が映る

放送予定の番組を見る（見るだけ予約）

「見るだけ予約」を選び決定

●テレビを見ているときに、予約時刻になると、予約番組に切り換わります。

詳しい解説を見る：ガイド ? + 9 2 10

関連情報：
番組表が映らないときは（☞116ページ）
番組表の見かたについて ガイド ? + 5 10 1

お好みの番組を探す

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

番組ナビ を押す ▶ 「番組を探す」を選び決定（詳しい解説を見る：ガイド ? + 7 10 10）

今の時間帯で放送されている番組から探す（今放送中から）

「今放送中から」を選び決定 ▶ 番組を選び決定
→選んだ番組が映る

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 2 1

おすすめされる番組を一覧で見る（おすすめ一覧）

「おすすめ一覧」を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 3 1

映画やスポーツなどジャンルで探す（ジャンル別に）

「ジャンル別に」を選び決定 ▶ メインジャンルを選び決定 ▶ サブジャンルを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 6 1

キーワードで探す（キーワードで）

「キーワードで」を選び決定 ▶ カテゴリーを選び決定 ▶ キーワードを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 7 1

出演者で探す（人名で）

「人名で」を選び決定 ▶ カテゴリーを選び決定 ▶ 読みの最初を選び決定 ▶ 名前を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 8 1

関連情報：
番組を見たいとき ガイド ? + 5 1 10

地上アナログ放送の番組表や検索機能をご利用になるときも、衛星アンテナの接続が必要です。本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組を探します。そのため、実際の放送に該当する(キーワードや人名)項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。

検索結果から

番組を選び決定 ▶ 選んだ番組の内容を表示

録画予約したいときは30ページの手順で録画予約する

お好みの番組を探す／広告の詳細　を見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

お好みの番組を探す（関連情報で探す）

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

番組表 を押す ▶ アナログ／デジタル（地上）／BS／CS（1/2） 放送を選ぶ ▶ 見たい番組を選び決定（「番組内容」画面を表示） ▶ 「関連情報」を選び決定 ▶ 関連情報メニューを表示

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

「番組内容」画面

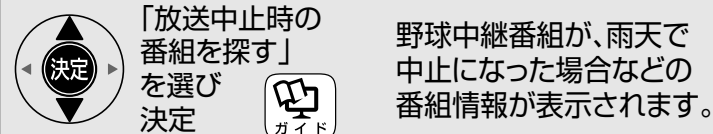
関連情報メニュー：
- 関連情報
- 放送中止時の番組を探す
- 関連番組を探す
- 関連トピックスを探す
- 人名で番組を探す
- ジャンルで番組を探す
- キーワードで番組を探す

情報のない項目は表示しません。

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 10

放送中止時の代替番組を探す（放送中止時の番組を探す）

「放送中止時の番組を探す」を選び決定 ▶ 野球中継番組が、雨天で中止になった場合などの番組情報が表示されます。

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 1

選んでいる番組に関連した番組を探す（関連番組を探す）

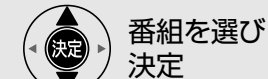
「関連番組を探す」を選び決定 ▶ 「関連番組」メニューから番組を選び決定

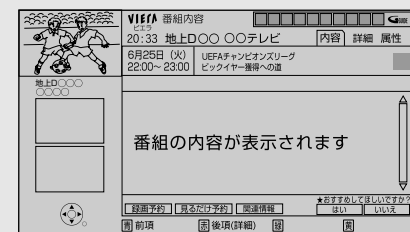
詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 2

番組に関連したトピックスを探す（関連トピックスを探す）

「関連トピックスを探す」を選び決定 ▶ 見たいトピックスを選び決定

→トピックスの詳細を表示

■テレビの画面に戻るには
元の画面 を押す

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 3

選んだ番組の内容を表示

録画予約したいときは30ページの手順で録画予約する

（番組内容が表示されれば、番組表に載っていない番組でも録画予約できます。）

関連情報：番組を見たいとき ガイド ? + 5 1 10

出演者などの人名で探す（人名で番組を探す）

「人名で番組を探す」を選び決定 ▶ 人名を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 5

映画やスポーツなどジャンルで探す（ジャンルで番組を探す）

「ジャンルで番組を探す」を選び決定 ▶ ジャンルを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 6

キーワードで探す（キーワードで番組を探す）

「キーワードで番組を探す」を選び決定 ▶ キーワードを選び決定

詳しい解説を見る：ガイド ? + 10 9 7

検索結果から（例：ジャンル検索）

番組を選び決定

関連情報：番組を見たいとき ガイド ? + 5 1 10

●「関連情報」メニューからは、地上デジタル放送局から送られてきたデータに基づいて、番組やトピックスが検索できます。
データを受信するためには、地上デジタルアンテナの接続（☞ 60ページ）が必要です。

広告の詳細を見る

手順 ▷▷▷

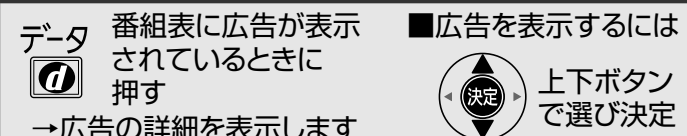
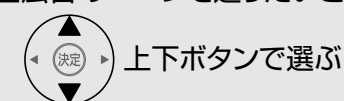
まず次の操作をする

番組表 を押す

広告の詳細を見る

データ d 番組表に広告が表示されているときに押す
→広告の詳細を表示します

■広告を表示するには
上下ボタンで選び決定

■広告のページを送りたいとき
上下ボタンで選ぶ

■テレビの画面に戻るには
元の画面 を押す

関連情報：広告に番組情報があるときは、30ページの手順で録画予約できます。

おすすめ番組機能

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

おすすめ番組機能とは…
本機がお客様のお好みを学習して、おすすめの番組を一覧にしたり、番組の開始などを自動でお知らせします。 ガイド ? + 7 1 3

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

おすすめ番組機能を使う

手順 ▷▷▷

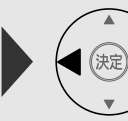
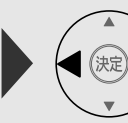
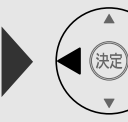
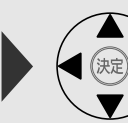
項目	手順	詳しい解説を見る	関連情報
通知されたおすすめ番組を見る（おすすめ通知）	おすすめ通知を表示中に押す ★おすすめ（おすすめ通知） ▶ おすすめ番組の紹介を表示中に押す →おすすめ番組に切り換わる ■おすすめ通知を消すには 戻る を押す	ガイド ? + 7 1 4	
「番組内容」画面から番組のお好みを登録するとき（おすすめ学習）	「番組内容」画面を表示中 「★おすすめしてほしいですか？」の「はい」「いいえ」を選び決定 ■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 1 5	

おすすめ番組の設定を変える

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする：メニュー を押す ▶ 「設定する」を選び決定 「システム設定」を選び決定 「おすすめ番組設定」を選び決定

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

項目	手順	設定		詳しい解説を見る	関連情報
おすすめ番組機能の「オフ」「オン」を設定する（おすすめ機能）	「おすすめ機能」を選ぶ ▶ 設定する	オン：おすすめ機能を使用する オフ：おすすめ機能を使用しない	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 1 6	
番組開始時のおすすめ通知を設定する（番組開始時のおすすめ通知）	「番組開始時のおすすめ通知」を選ぶ ▶ 設定する	オン：視聴中におすすめ通知をする オフ：視聴中におすすめ通知をしない		ガイド ? + 7 1 8	
選局操作時のおすすめ通知を設定する（選局操作時のおすすめ通知）	「選局操作時のおすすめ通知」を選ぶ ▶ 設定する	オン：選局時におすすめ通知をする オフ：選局時におすすめ通知をしない			
おすすめ通知させたい番組の数を設定する（通知する番組の数）	「通知する番組の数」を選ぶ ▶ 設定する	少ない：最大5番組前後まで通知 標準：最大10番組前後まで通知 多い：最大20番組前後まで通知		ガイド ? + 7 2 10	
おすすめして欲しい語句を登録する（おすすめ語句一覧（新規登録））	「おすすめ語句一覧」を選び決定 ▶ 緑 を押す 「ジャンル」「出演者」「フリーワード」から選び決定 ▶ 「おすすめする」「おすすめしない」を選び決定 ●ジャンル：メインジャンル/サブジャンルから選び決定 ●出演者：カテゴリー/読みの最初/名前から選び決定 ●フリーワード：文字を入力して「登録」を選び決定		■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 10 5 10	フリーワードの文字入力についてはネットワーク編14ページに記載
おすすめして欲しい放送を選ぶ（おすすめ対象設定）	「おすすめ対象設定」を選び決定 ▶ 各放送ごとに設定する	オン：おすすめ対象に設定するとき オフ：おすすめ対象に設定しないとき	■終わったら 元の画面 を押す		
学習をリセットしはじめからやり直すとき（学習リセット）	「学習リセット」を選び決定 ▶ 「はい」を選び決定			お知らせ ガイド ? + 7 2 4	

●おすすめ番組機能

番組表から録画予約する

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

手順 ▷▷▷

詳しい解説を見る

関連情報

まず次の操作をする

機器の接続と設定（☞ 82～100ページ）

を押す

地上 アナログ デジタル BS CS 1/2

録画したい放送を選ぶ

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

録画予約の注意点（☞ 36～41ページ）

番組表から録画予約する

ビエラリンク（HDMI）やIrシステム、i.LINKを使って録画予約ができます。

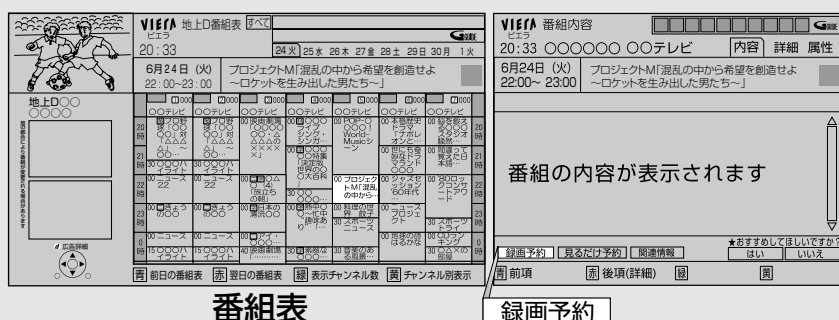
ビエラリンク（HDMI）対応機器の接続と設定（☞ 86～89ページ）

Irシステムの接続と設定（☞ 90～92ページ）

i.LINKの接続と設定（☞ 96～97ページ）

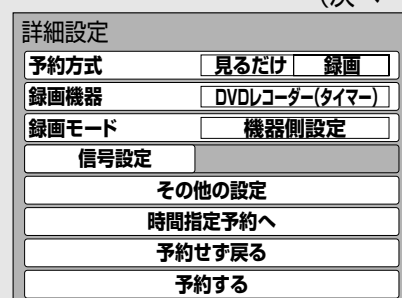
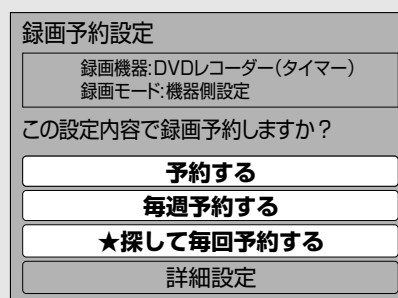
番組表から番組を選び決定

番組内容で「録画予約」を選び決定

番組表 録画予約

内容を確認し、「予約する」「毎週予約する」「★探して毎回予約する」のどれかを選び決定（詳しくは☞左ページ下記）

■設定を変更する場合

左の手順で「詳細設定」を選び決定

接続機器に応じて設定する（次ページ）

A （次ページへ続く）

●暗証番号入力画面が表示されたときは（☞ 46ページ）

■終わったら 元の画面 を押す

詳細設定画面の「予約方式」について

ガイド ? + 7 9 6

録画についてのご注意事項は（☞ 40ページ）

すでに予約設定されている番組を変更するときは、「番組内容」画面で「設定変更」を選びます。

● 番組表から録画予約する

予約する

選んでいる番組だけを予約する場合に選びます。

毎週予約する

連続ドラマなどを予約する場合に選びます。
（同じチャンネル・曜日・時間に放送される番組を自動で予約設定）

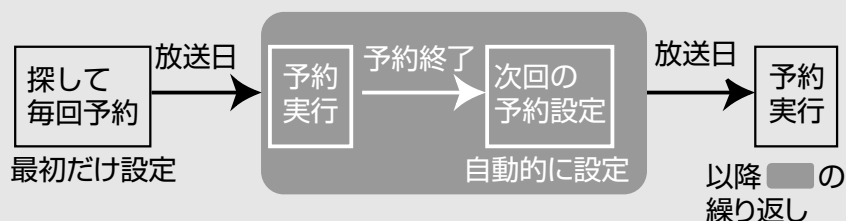
予約時の注意点

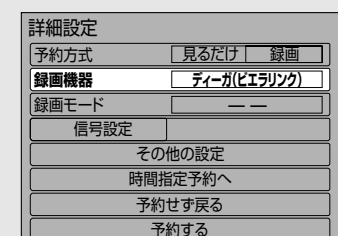
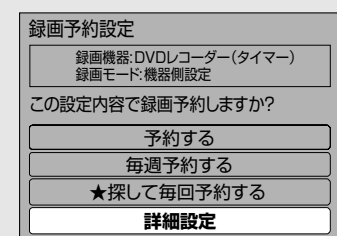
・ビエラリンク（HDMI）での予約以外は番組の放送時間が変更された場合、対応できません。

★探して毎回予約する

●放送日や放送時間が一定ではないシリーズものの番組を、一度「探して毎回予約する」に設定すると、次回以降の放送は本機が自動的に毎回、予約設定します。
（番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索）

予約時の注意点について

ガイド ? + 7 9 9

■ビエラリンク（HDMI）で録画予約するときは

録画機器については
①「詳細設定」の画面にする
②「録画機器」を「ディーガ（ビエラリンク）」にする

予約の詳細設定

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

予約の詳細設定

手順 ▷▷▷

Irシステムまたはビエラリンク(HDMI)を使って録画する

連動予約（Irシステムのみ可能）

前ページの Ⓐ の画面で「録画機器」を選び
「ビデオ(連動)」または「DVDレコーダー(連動)」を選ぶ
「予約する」を選び決定
■終わったら 元の画面 を押す
録画機器側で録画の準備をする（☞36ページ）

タイマー予約（ビエラリンク(HDMI)、Irシステム共に可能）

前ページの Ⓐ の画面で「録画機器」を選び
「ビデオ(タイマー)」または「DVDレコーダー(タイマー)」または「ディーガ(ビエラリンク)」を選ぶ
「録画モード」を選び設定する
（「ディーガ(ビエラリンク)」のときは選べません。）
「予約する」を選び決定
■終わったら 元の画面 を押す

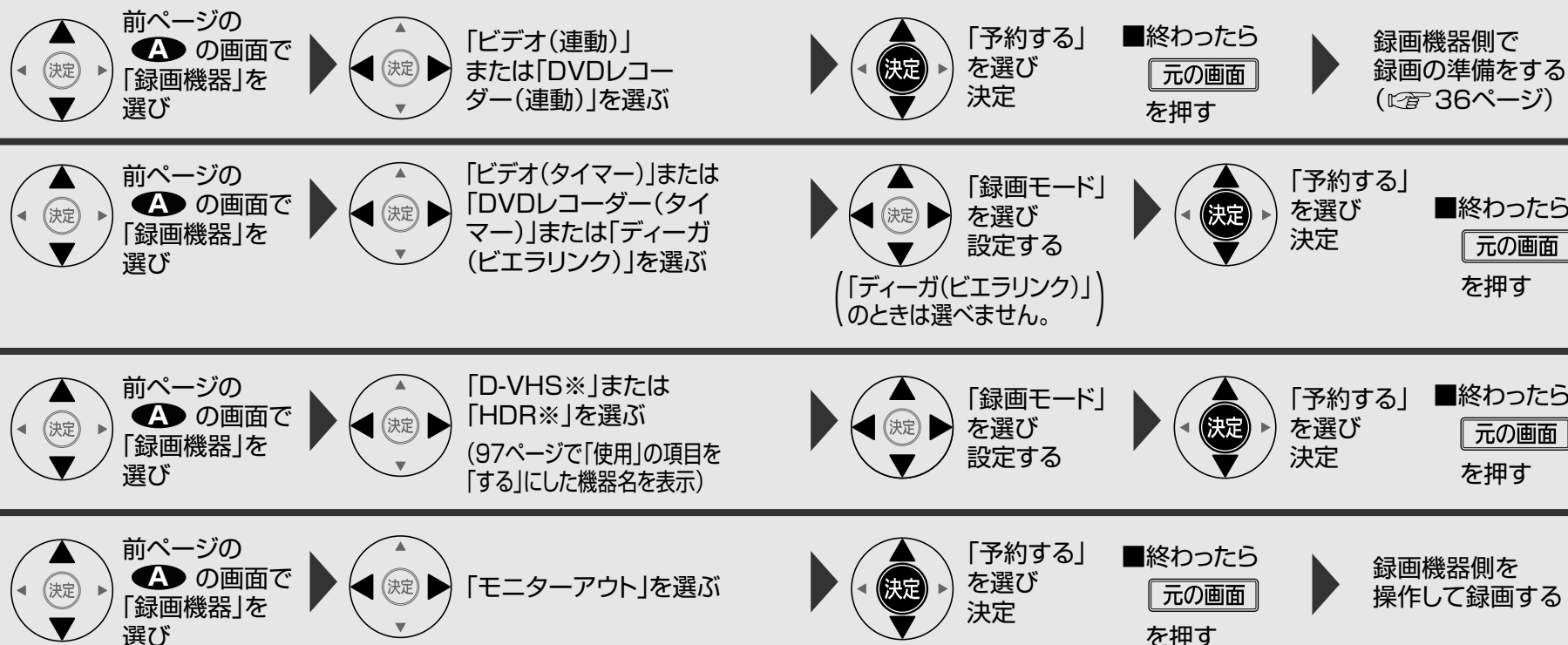
※タイマー予約と連動予約を混在させないでください。予約が実行されない場合があります。

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキなど)に録画する

i.LINKで予約

前ページの Ⓐ の画面で「録画機器」を選び
「D-VHS※」または「HDR※」を選ぶ
(97ページで「使用」の項目を「する」にした機器名を表示)
「録画モード」を選び設定する
「予約する」を選び決定
■終わったら 元の画面 を押す

Irシステムやビエラリンク(HDMI)が使えない機器に録画する

前ページの Ⓐ の画面で「録画機器」を選び
「モニターアウト」を選ぶ
「予約する」を選び決定
■終わったら 元の画面 を押す
録画機器側を操作して録画する

詳しい解説を見る

「録画機器」について ガイド ? + 7 9 1

「録画モード」について ガイド ? + 7 9 2

お知らせ ガイド ? + 7 9 4

関連情報

「録画機器」で選べる項目はビエラリンク(HDMI)設定やIrシステム設定の内容で変わります。（☞88、92ページ）

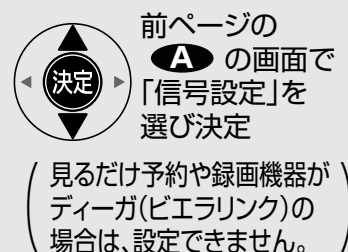
録画モードは録画機器側で設定してください。

予約の詳細設定（さらに詳しい設定）

手順 ▷▷▷

複数の映像、音声がある番組で録画する信号を選ぶ（デジタル放送時のみ）

信号設定

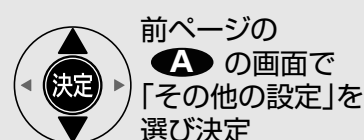
前ページの Ⓐ の画面で「信号設定」を選び決定
（見るだけ予約や録画機器がディーガ(ビエラリンク)の場合は、設定できません。）

信号設定

マルチビュー	主番組
映像	映像1
音声	日本語
二重音声	
データ	
字幕	オフ　オン
字幕言語	日本語　英語

各項目ごとに録画する信号（映像、音声）を選ぶ

番組追従/開始時刻修正/終了時刻修正/サイドカット

その他の設定

前ページの Ⓐ の画面で「その他の設定」を選び決定

その他の設定

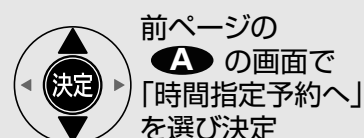
番組追従	する　しない
開始時刻修正 16:03	±0分
終了時刻修正 16:49	±0分
サイドカット	する　しない

各項目ごとに設定する

設定したら 戻る
を押す
「予約する」を選び決定
■終わったら 元の画面 を押す

日時を指定して予約する

時間指定予約

前ページの Ⓐ の画面で「時間指定予約へ」を選び決定

時間指定予約への変更確認
毎週予約の設定や時間指定予約で予約すると
・番組追従が行えません
・信号設定やその他の設定が反映されません
よろしいですか?
はい　いいえ

「はい」を選び決定
時間指定予約の設定画面が出ます（☞34ページ）

詳しい解説を見る

設定内容について ガイド ? + 8 10 5

設定内容について ガイド ? + 8 10 7

関連情報

日時を指定して予約する／確認・変更・取り消し／番組追従・探して毎回予約

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

手順 ▷▷▷ | 詳しい解説を見る | 関連情報

まず次の操作をする

番組ナビを押す ▶ 「番組を予約する」を選び決定 ▶ 時間指定予約で／予約一覧／録画・視聴設定　各項目を選んで設定する（下欄参照）

日時を指定して予約する　時間指定予約

「時間指定予約で」を選び決定

ガイドを押すと、電子説明書でご覧になれます。

予約方式	見るだけ　録画
放送種別	BS
予約チャンネル	200
曜日/日	10月23日(日)
開始時刻 10月23日	20:00
終了時刻	ーー
録画機器	ビデオ(連動)
録画モード	標準
信号設定	音声:日本語
その他の設定	
予約せず戻る	
予約する	

各項目ごとに設定する ▶

「予約する」を選び決定

●暗証番号入力画面が表示されたときは（☞ 46ページ）

■終わったら 元の画面を押す

詳しい解説：設定内容について ガイド ? + 8 10 1　お知らせ ガイド ? + 8 10 10

予約の確認や変更、取り消しをする

（地上アナログ放送でのタイマー予約以外のとき）予約一覧／予約変更／予約取り消し

※ビエラリンク（HDMI）でのタイマー予約の場合は、履歴の確認と削除ができます。

「予約一覧」を選び決定

「予約一覧」画面から変更や取り消したい予約を選び決定

（確認のみの場合、元の画面で終了）

予約一覧

■探して毎回予約の取り消し
①赤ボタンを押して探して毎回予約の一覧を出す
②取り消したい予約の項目を選び決定
③「はい」を選び決定

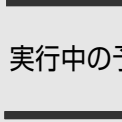
実行前の予約の変更

「設定変更」を選び決定 ▶

設定変更画面で内容を修正し、「修正する」を選び決定

実行前の予約の取り消し

「取り消し」を選び決定

実行中の予約の変更

実行中の予約は本機からは変更できません

実行中の予約の取り消し（中止）

「取り消し」を選び決定（詳細は40ページ）

実行済の予約履歴削除

「履歴削除」を選び決定

■終わったら 元の画面を押す

詳しい解説：予約件数について ガイド ? + 8 10 2　探して毎回予約について ガイド ? + 7 9 8　お知らせ ガイド ? + 8 10 3

関連情報：
タイマー予約の変更・取り消し
「タイマー予約」を変更したり、取り消したい場合、録画機器側でも変更や取り消しの操作が必要です。

探して毎回予約の取り消し
「探して毎回予約」を取り消すには、本機側での取り消し操作（左ページ）と、録画機器側での取り消し操作が必要です。

放送時間が変わったとき自動で予約を変更する　番組追従

（デジタル放送のみ）

探して毎回予約の自動検索を一時的に止める　探して毎回予約

「録画・視聴設定」を選び決定

録画・視聴設定		
番組追従	する	しない
探して毎回予約	オフ	オン

「番組追従」を選び「する」に設定する

「探して毎回予約」を選び「オフ」に設定する

■終わったら 元の画面を押す

詳しい解説：設定内容について ガイド ? + 7 9 5

関連情報：Irシステムのタイマー予約、時間指定予約時は働きません。

録画予約の注意点

本機から録画機器に予約設定します。（本機に録画機能はありません。）

Irシステムでタイマー予約

Irシステムで連動予約

予約の方法について

■ 番組表から予約する

●（番組表）を押して番組表を出し、録画したい番組を選べば、簡単に予約設定できます。（番組表は最大8日分を表示）

ここでは次の5種類の予約方法について説明しています。

●Irシステムを使って予約

タイマー予約

連動予約

（☞ 右ページ）

●i.LINKケーブルを使って予約

i.LINKで予約 （☞ 38ページ）

●HDMIケーブルを使って予約

ビエラリンク（HDMI）でタイマー予約

（☞ 38ページ）

●IrシステムやビエラリンK（HDMI）が使えない録画機器への予約

Irやビエラリンク（HDMI）が使えない機器への予約 （☞ 38ページ）

■ 日時を指定して予約する（時間指定予約）

●1週間以上先の番組予約もできます。

●毎日、毎週などのくり返しの予約ができます。（☞ 34ページ）

「タイマー予約」「連動予約」対応機器（2008年7月現在）

■ Irシステムの対応機器…対応機器は以下のとおりです。

予約方式＼対応機器	当社製 1995年製以降の ビデオデッキ または DVDレコーダー	左記以前の 当社製 ビデオデッキ	他社製の ビデオデッキ	他社製の DVDレコーダー
タイマー予約	○ ※1	×	×	×
連動予約	○	○	○ ※2	○ ※3

×印（対応外）の機器の場合は、テレビと録画機器の両方で通常の録画予約をしてください。

※1：NV-WV1、NV-WV10、NV-HV61、NV-H4K、DMR-E700BDを除く

※2：対応メーカー/ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC
（ただし上記メーカーでも、一部使用できない機種あり）

※3：対応メーカー/パイオニア、三菱
（ただし上記メーカーでも、一部使用できない機種あり）

■ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

●本機とHDMIケーブル（別売品）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。
※すべての操作ができるものではありません。

●ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。

●ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その取扱説明書をご確認ください。

●本機はビエラリンク（HDMI）Ver.3に対応しています。
ビエラリンク（HDMI）Ver.3とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2007年12月現在）

お知らせ

●ハイビジョン画質での録画に対応しているDVDレコーダーなどに録画予約する場合でも、本機のモニター出力からの録画（Irシステムケーブルを用いた録画など）では、ハイビジョン画質ではなく、地上アナログ放送と同程度の画質で録画されます。

当社製のビデオデッキやDVDレコーダーの録画予約設定を本機から行う

タイマー予約

※他社製の録画機器ではお使いいただけません。

詳しくはIrシステムケーブルの設定方法をご覧ください。（☞ 92ページ）

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	まず右の録画機器側の操作（①、②）を行う ❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「タイマー予約」の設定を行う（詳しくは☞ 32ページ）	本機側の操作（❶、❷、❸、❹）のまえに ①リモコンで電源を入れる ②テープやディスクを入れる （本機側の操作❶、❷、❸、❹のあと自動的に電源が切れる）
予約時刻になると	デジタル放送予約時は予約した番組の映像と音声を本機が出力します	・地上アナログ放送の予約時は録画機器側のチューナーより録画が実行されます ・デジタル放送の予約時は本機からの映像・音声信号により録画が実行されます

●深夜番組など日付をまたいで放送される番組は、正しく録画されない場合があります。また、24時間以上の録画はできません。このような場合は、デジタル放送では連動予約をお使いください。

●予約の変更と取り消しは、録画機器側でも実施してください。

●番組の時間変更に合わせて録画したい
●他社製の機器にも録画予約したい

連動予約

（デジタル放送のみ）

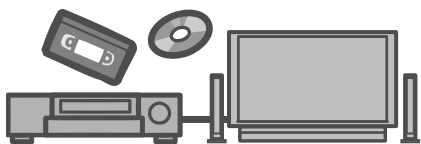
※当社製の録画機器にもお使いいただけます。

詳しくはIrシステムケーブルの設定方法をご覧ください。（☞ 92ページ）

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「連動予約」の設定を行う（詳しくは☞ 32ページ）	①テープやディスクを入れる ②本機から接続した外部入力に切り換える ③録画モードを設定する ④録画可能状態であることを確認し、リモコンで電源を切る（切らないと、録画開始できません）
予約時刻になると	電源「入／切」・録画開始の信号および、予約した番組の映像と音声を出力します（終了時刻には停止信号を出力します）	電源が入り、録画が実行されます（終了時刻には電源が切れます）

●他社製の録画機器をお使いの場合や、デジタル放送番組の放送時間が変更になったときでも自動的に追従して録画させたい場合などにご利用ください。（放送局から情報のあるときのみ）

録画予約の注意点(つづき)

ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約
i.LINKで予約
Irやビエラリンク(HDMI)が使えない機器への予約

ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製レコーダー(ディーガ)の録画予約設定を本機から行う

ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約

※他社製のHDMI機器ではお使いいただけません。

詳しくはビエラリンクの接続・設定をご覧ください。(☞85～89ページ)

すべてのアンテナ
・地上アナログ
・地上デジタル
・BSデジタル
をレコーダー(ディーガ)にも接続

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「タイマー予約」の設定を行う(詳しくは☞32ページ)	機器によっては、録画用のディスクを入れる必要があります
予約時刻になると		録画が実行されます

●予約した番組はレコーダー(ディーガ)側のチューナーで受信して録画されます。(本機のHDMI端子から、予約した番組の映像や音声は出力しません。)
●有料番組や視聴制限、録画予約の重複については録画機器側の設定に依存します。詳しくは、録画機器側の説明書をご覧ください。

D-VHSビデオデッキなどの録画予約設定を本機から行う

i.LINKで予約

(デジタル放送のみ)
(使用できる機器 ☞ 96ページ)

詳しくはD-VHSビデオデッキなどの接続・設定をご覧ください。(☞ 96～97ページ)

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
	まず、右の録画機器側の操作(①、②)を行う	本機側の操作(❶、❷、❸)のまえに
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「i.LINKで予約」の設定を行う(詳しくは☞32ページ)	①リモコンで電源を入れる ②テープを入れる(D-VHSビデオデッキの場合) 本機側の操作❹のあとに ③リモコンで電源を切る
予約時刻になると	予約した番組の映像と音声を出力します	録画が実行されます

●本機のi.LINK端子から地上アナログ放送は出力しません。
アナログ放送を録画予約される場合は、VHF／UHFアンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。

Irシステムやビエラリンク(HDMI)が使えないとき

Irやビエラリンク(HDMI)が使えない機器への予約

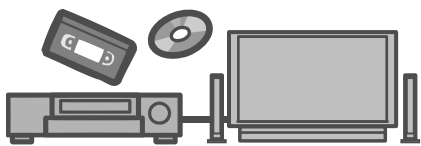
(デジタル放送のみ)

番組表
○月○日○○ch
○○時○○分～
○○時○○分
モニター出力端子から
この番組を予約

映像、音声コードを接続
(☞94ページ)

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で録画機器を「モニターアウト」にする(詳しくは☞32ページ)	①テープやディスクを入れる ②本機から接続した外部入力に切り換える ③録画モード、録画開始、終了時刻を設定する
予約時刻になると	予約した番組の映像と音声を出力します	録画が実行されます

●アナログ放送を録画予約される場合は、VHF／UHFアンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。
●デジタル放送のチューナーを内蔵している録画機器をご使用の場合、デジタル放送はデジタル放送用アンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。

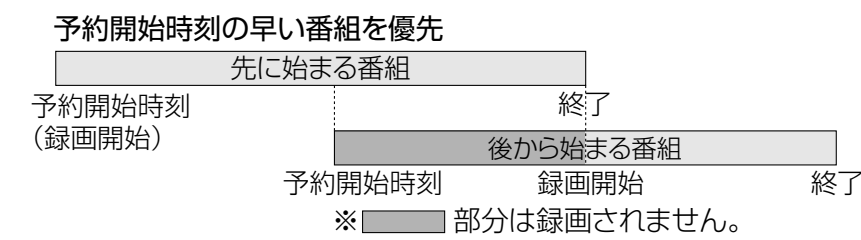
録画予約の注意点（つづき）

録画についてのご注意事項

録画機器の事前設定	●予約の日時、入力（チャンネルなど）以外の機能は、あらかじめ録画機器で設定してください。（例えば、HDD内蔵のDVDレコーダーでのDVDとHDDの切り換えなど）
録画機器の電源	●放送中または、開始直前の番組を録画予約した場合は録画機器は、電源「入」後、録画可能になるまで準備時間が必要です。（当社製品での一例） ●ビデオデッキ：約15秒　●DVDレコーダー：約90秒 ●ハードディスクビデオレコーダー：約30秒
視聴制限時	●年齢制限時は、暗証番号の入力が必要です。（☞ 46ページ）
録画予約後の電源	●電源はリモコンで「切」にしてください。 デジタル放送の予約時に本体の電源を「切」にすると、録画予約は実行されません。 （地上アナログ放送のタイマー予約時やビエラリンク（HDMI）での予約時は「切」にしても録画予約が実行されます）
デジタル放送番組の開始／終了時刻変更	●連動予約で放送局から番組開始が遅れる情報があった場合には、本機の予約開始時刻は情報に追従して遅れます。（3時間まで） タイマー予約時は、録画機器は遅れに追従しませんので最初の予約時刻から録画が始まります。
実行中の録画予約の中止	●地上アナログ放送のタイマー予約やビエラリンク（HDMI）での予約は録画機器側で中止してください。 ●デジタル放送の予約実行中は、2画面表示中に右画面操作で別のデジタル放送を選び、「CHロック」を「解除する」にすると予約中止されます。 ●デジタル放送のタイマー予約は、本機および録画機器側でも中止してください。
録画中のテレビ画面	●録画中は、2画面の右画面は録画中の番組に固定されることがあります。
デジタル放送録画の制限	●デジタル放送には、**「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号**が加えられ、CPRMに対応したデジタル録画機器と記録メディアとの組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。 （ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します） 本機は個数制限コピー可能なダビング10には対応していません。 ●当社製レコーダー（ディーガ）の場合はCPRM対応のディスクの組み合わせで録画が可能になります。詳細は録画機器の取扱説明書をご覧ください。 ●アナログ方式のビデオデッキでは、個人的に利用される場合に限って、これまでどおりに録画可能です。（☞ 124ページ）
ハイビジョン放送の録画画質	●当社製のi.LINK録画機器では、ハイビジョン画質での録画ができます。 ●ハイビジョン放送の録画に対応しているDVDレコーダーなどを接続しても、本機のモニター出力から録画した場合は、地上アナログ放送と同程度の画質となります。
地上アナログ放送の録画方法	●地上アナログ放送の録画予約は当社製のDVDレコーダーやビデオデッキによる「タイマー予約」のみ可能です。他社製のDVDレコーダーやビデオデッキには本機から録画できません。（録画機器側で設定してください。）
地上デジタルや110度CSデジタル放送のi.LINK機器での録画	●地上デジタルやCSデジタルに対応していない録画機器では、予約時などに放送（地上デジタルやCSデジタル）やチャンネル番号が正しく表示されない場合があります。 （当社製NV-HDR1000、NV-DH1/DHE10、NV-DH2/DHE20、NV-HVH1など）

●録画機器の取扱説明書もあわせてよくお読みください。

予約の優先順位

●予約した番組の放送開始時刻が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約開始時刻の早い番組を優先

●上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。
●タイマー予約と連動予約を混在させないでください。
予約が実行されない場合があります。

予約時のメッセージ

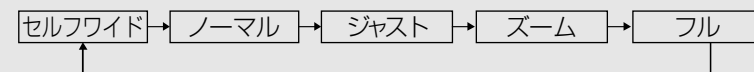
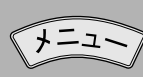
この番組は契約されていません。予約できません。	●契約が必要なチャンネルです。 放送事業者に問い合わせて、契約を行ってください。
予約がいっぱいです。予約を削除してからやり直してください。	●実行前の予約は50件までです。 「探して毎回予約する」で、まだ次回分が予約されていない項目がある場合、その分の予約数は実行前の予約可能件数（50件）からあらかじめ差し引かれます。 予約一覧で不要な実行前の予約を取り消してください。（☞ 34ページ）
予約が完了しました。予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。	●すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約しています。 ●地上アナログ放送の「タイマー予約」やビエラリンク（HDMI）での予約では、このメッセージは出ませんので録画機器側でご確認ください。
予約できませんでした。	●過去の時間帯を予約しようとした場合などに表示されます。

画面サイズを変える/画面位置やサイズの微調整/画面の設定/2画面で楽しむ

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

画面サイズを変える

	ボタン	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
（ハイビジョン映像以外のとき）自動で拡大画面にする	セルフワイド	画面モード 自動的に違和感の少ない映像に拡大します	ガイド ? + 3 2 10	お知らせ ガイド ? + 8 2 5
手動で画面モードを切り換える	画面モード	画面モード 画面モードを表示中に押す（押すたびに切り換わる） セルフワイド → ノーマル → ジャスト → ズーム → フル	ガイド ? + 3 2 3 / お知らせ ガイド ? + 8 2 7	画面サイズの情報があるとき（D端子・S2映像・ID-1・ED2）（☞123ページ）
（ハイビジョン映像のとき）自動で拡大画面にする	サイドカット セルフワイド	画面モード 1回押す（「フル」と表示） ▶ 画面モード 「フル」と表示中に再度押して切り換える（約7秒間メッセージを表示）	ガイド ? + 3 2 4	お知らせ ガイド ? + 8 2 8
手動で画面モードを切り換える	画面モード（サイドカット）	画面モード 画面モードを表示中に押す（押すたびに切り換わる） フル → サイドカット セルフワイド → サイドカット ノーマル → サイドカット ジャスト → サイドカット ズーム → サイドカット フル	ガイド ? + 3 2 7	外部入力時は「サイドカットセルフワイド」に切り換わりません。

画面位置やサイズの微調整/画面の設定

まず次の操作をする — 手順 ▷▷▷：メニュー 調整したい画面のときに押す ▶ 決定「設定する」を選び決定 ▶ 決定「画面の設定」を選び決定（ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。）

	ボタン	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
垂直の位置やサイズを細かく調整する（画面モードがノーマルおよび2画面以外のとき）	垂直位置/サイズ	決定「垂直位置／サイズ」を選び決定 ▶ 決定 画面を見ながら調整する	ガイド ? + 3 3 4	お知らせ ガイド ? + 8 3 10
水平表示領域の調整（2画面以外のとき）	水平表示領域	決定「水平表示領域」を選び設定する	ガイド ? + 3 3 7	お知らせ ガイド ? + 8 3 1
1080iや1080pのとき画面サイズを調整する（2画面以外のとき）	HD表示領域	決定「HD表示領域」を選び設定する	ガイド ? + 3 4 7	

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

設定項目	ページ
セルフワイド	1/3
ID-1検出	1/3
ED2検出	1/3
3次元Y/C分離	2/3
480p色マトリックス	2/3
ブランク輝度設定	2/3
サイドカット固定	2/3
NR（ノイズリダクション）	3/3
HDオプティマイザー	3/3
デジタルシネマリアリティ	3/3
24pフィルムダイレクト	3/3

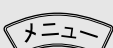
決定 各項目を選び設定する（画面の設定は3ページ構成です。▼を繰り返し押すと、次のページになります）

■終わったら 元の画面 を押す

詳しい解説を見る：ガイド ? +

キー	項目
8 5 5	セルフワイド
8 4 9	ID-1検出
8 5 10	ED2検出
8 4 8	3次元Y/C分離
8 5 2	480p色マトリックス
8 5 3	ブランク輝度設定
8 5 7	サイドカット固定
8 4 7	NR、HDオプティマイザー
8 5 1	デジタルシネマリアリティ
8 5 8	24pフィルムダイレクト

2画面で楽しむ

	ボタン	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
2画面にする	2画面	2画面 を押す　もう一度押すと1画面に戻る ●PC画面、SDメモリーカード再生（写真、動画）、電子説明書、アクトビラは2画面になりません。	ガイド ? + 8 3 5	
画面モードを選ぶ	画面モード	画面モード 2画面のときに押すたびに切り換わる	ガイド ? + 3 4 1	
左右の画面を入れ換える	左右入換	左右入換 2画面のときに押すたびに切り換わる	ガイド ? + 3 4 2	
左右の画面の音声を切り換える	音声左右切換	メニュー 2画面のときに押す ▶ 決定「音声左右切換」を選び決定 ■終わったら 戻る を押す	ガイド ? + 3 4 4	
右画面のチャンネルを変える／ビデオなどに切り換える	右画面操作	右画面操作 ▶ の表示中に操作する（約10秒間） ●右画面の入力切換や選局操作などができます。	ガイド ? + 3 4 3	■右画面操作を継続したいとき（☞46ページ）

画質や音質をお好みで調整する／パソコンの画面を調整する

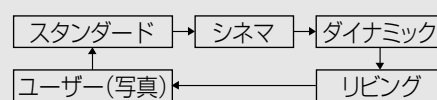
詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

画質をお好みで調整する

手順 ▷▷▷　｜　詳しい解説を見る　｜　関連情報

まず次の操作をする
［メニュー］調整したい画面のときに押す ▶ ［決定］「画質を調整する」を選び決定
ガイド［?］を押すと、電子説明書でご覧になれます。

番組に合わせて映像を選ぶ　映像メニュー
［決定］「映像メニュー」を選び設定する
スタンダード → シネマ → ダイナミック → リビング → ユーザー(写真) → スタンダード
ガイド ? + 8 1 10

映像メニューをお好みに調整する（明るさや、色あいなど）　映像メニューの調整
上記の手順で調整したい映像メニューを選ぶ ▶ ［決定］各項目ごとに調整する（映像メニューの調整は2ページ構成です）
ガイド ? + 8 1 1

映像メニューが「ユーザー(写真)」「シネマ」「リビング」のとききめ細かく画像を調整する　テクニカル
［決定］「テクニカル」を選び「入」にする ▶ ［決定］「テクニカル」画面にする ▶ ［決定］各項目ごとに調整する
ガイド ? + 8 1 2

■テレビ画面に戻るには［元の画面］を押す

●スタンダード：一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。
●SDメモリーカード写真表示中は、「ユーザー」は「写真」と表示されます。

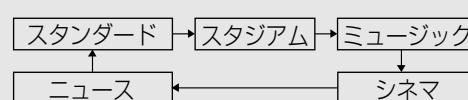
デジタル放送を見ているとき番組内の映像を切り換える　信号切換
サブメニュー［S］デジタル放送を視聴中に押す ▶ ［決定］「信号切換」を選び決定 ▶ ［決定］項目を選び設定する
ガイド ? + 3 1 7
お知らせ ガイド ? + 8 2 1

音質をお好みで調整する

手順 ▷▷▷　｜　詳しい解説を見る　｜　関連情報

まず次の操作をする
［メニュー］調整したい放送や外部入力のときに押す ▶ ［決定］「音声を調整する」を選び決定　［ガイド］

番組に合わせて音声を選ぶ　サウンド
［決定］「サウンド」を選び設定する
スタンダード → スタジアム → ミュージック → シネマ → ニュース → スタンダード
ガイド ? + 8 1 5

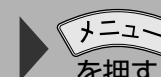
サウンドの切り換えは［サウンド］ボタンでも可能です。

サウンドをお好みに調整する　サウンドの調整
上記の手順で調整したいサウンドを選ぶ ▶ ［決定］各項目ごとに調整する（音声の調整は2ページ構成です）
ガイド ? + 8 1 7
お知らせ ガイド ? + 8 1 6

■テレビ画面に戻るには［元の画面］を押す

音声を切り換える　音声切換
［音声切換］1回押すと、現在の音声を表示 ▶ ［音声切換］現在の音声を表示中に押すたびに切り換わる（切り換えのできる音声があるときのみ）
お知らせ ガイド ? + 8 2 10

パソコンの画面を調整する

手順 ▷▷▷　｜　詳しい解説を見る　｜　関連情報

まず次の操作をする
パソコンの接続（☞93ページ） ▶ ［入力切換］「PC」を選び決定 ▶ ［画面モード］調整したい画面にする ▶ ［メニュー］を押す ▶ ［決定］「設定する」を選び決定 ▶ ［決定］「画面の設定」を選び決定
ガイド ? + 3 7 3
お知らせ

接続したパソコンに合わせて調整する　PC画面調整
［決定］「PC画面調整」を選び決定　［ガイド］ ▶ ［決定］各項目ごとに調整する
■調整したら 戻る を数回押す
ガイド ? + 8 6 10

システム設定

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

システム設定

	手順 ▷▷▷		詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	メニューを押す ▶ 「設定する」を選び決定 ▶ 「システム設定」を選び決定 ガイドを押すと、電子説明書でご覧になれます。			
デジタル放送の字幕や文字スーパーがある場合に表示する 字幕の設定	「字幕の設定」を選び決定 ▶ 各項目を選び設定する	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 8 7 10	字幕の「オフ」「オン」は 字幕 ボタンでも可能です。
デジタル放送で押して順送りできるチャンネルを選ぶ 選局対象	「選局対象」を選び設定する お好み → テレビ → ラジオ → データ → すべて → お好み		ガイド ? + 8 7 1	
2画面のとき 右画面の操作を継続する 右画面操作	「右画面操作」を選び「ロック」にする		ガイド ? + 8 7 2	
選局時に番組のタイトル表示のオン/オフを設定する タイトル表示	「タイトル表示」を選び設定する		ガイド ? + 8 7 4	「オフ」設定時でもチャンネル番号は表示されます。
メニューなどの表示スタイルを変える 表示スタイル	「表示の設定」を選び決定 ▶ 「表示スタイル」を選び、設定する		ガイド ? + 3 9 4	
メニュー表示にアニメーションを使う アニメーション	「表示の設定」を選び決定 ▶ 「アニメーション」を選び、設定する			「表示スタイル」が「スタンダード」のときは設定できません。

※ 文字入力設定 は「おすすめ語句一覧」(☞ 28ページ)やアクトビラで使用します。詳しくはネットワーク編(☞ 14ページ)をご覧ください。

システム設定(制限項目設定)

	手順 ▷▷▷		詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	メニューを押す ▶ 「設定する」を選び決定 ▶ 「システム設定」を選び決定 ▶ ガイド ▶ 「制限項目設定」を選び決定 ▶ 画面上の指示に従って暗証番号を入力する(4桁) ●初めて入力するときは、番号を2回入力して登録する。(番号は必ずメモしておく)		ガイド ? + 3 8 7 お知らせ ガイド ? + 8 7 6	制限項目設定について ガイド ? + 8 7 5
視聴できる年齢を制限する 視聴可能年齢	「視聴可能年齢」を選び設定する	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ? + 8 7 8	設定した年齢を超える番組を選んだとき ガイド ? + 3 9 2
制限を超える番組を見るときの暗証番号を変更する 暗証番号変更	「暗証番号変更」を選び決定 ▶ 新しい暗証番号を入力して決定 ▶ 画面に従って再度暗証番号を入力		ガイド ? + 3 9 10	
暗証番号を取り消す 暗証番号削除	「暗証番号削除」を選び決定 ▶ 「はい」を選び決定		ガイド ? + 3 9 1	

※ ブラウザ制限 はアクトビラで使用します。詳しくはネットワーク編(☞ 7ページ)をご覧ください。

SD（エスディー）メモリーカードを使う

■ビデオの再生について

本機にSDメモリーカードを挿入することで、SDメモリーカードに記録されたビデオデータを再生できます。

- ●本機で再生できる動画は、SD-Video規格Ver1.2[MPEG-2(PS形式)※1]に対応していて音声フォーマットがMPEG-1／Layer-2形式またはドルビーデジタル※2形式のファイル、またはAVCHD規格に対応していて音声フォーマットがドルビーデジタル形式のファイルです。
  - ※1 MPEGとはカラー動画像のフォーマットの名称です。PSは(Program Stream)の略称です。
  - ※2 ドルビー、ドルビーデジタルはドルビーラボラトリーズの商標です。
- ●パソコンで編集したビデオデータは意図通り再生できないことがあります。

■写真の再生について

本機の画面で、デジタルカメラやデジタルビデオカメラで撮影された写真データを見たり、写真現像店に出すプリント枚数を設定することができます。（ただし、プリント枚数が設定できるのはファイル名が半角8文字以下の画像データに限ります。）

■パソコンなどを使って下記の条件で編集した静止画データも見ることができます

- ●JPEG形式の静止画データを見ることができます。拡張子は「.JPG」にしてください。また、長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます。
- ●本機では最小160×120画素～最大約1200万画素までの写真データの表示を確認しています。(2008年7月現在)
  例：4224×2376（10,036,224画素）
  3648×2736 （9,980,928画素）
- ●JPEG形式以外の静止画(TIFF形式など)、音声、MOTION JPEG、プログレッシブJPEG、JPEG2000などのデータは再生できません。
- ●当社製デジタルカメラ「LUMIX」シリーズなどに付属している編集ソフト以外で編集した写真データは正しく再生できない場合があります。
- ●SDメモリーカードのフォーマットはデジタルカメラなどの撮影機器で行うか、パソコンで行う場合はSDメモリーカード専用フォーマットソフトを使ってください。
- ●パソコンなどを使って編集・コピーした画像は、日付順に表示されない場合があります。

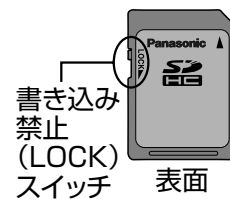
■作成されたファイルについて

- ●作成した機器によっては、ビデオや写真ファイルが本機で正しく再生されない場合があります。
- ●ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかる場合があります。
- ●ご使用のデジタルカメラなどによっては、編集後の画像を再生できない場合があります。詳しくは、デジタルカメラなどの取扱説明書をご覧ください。

■SDメモリーカード(別売品)について

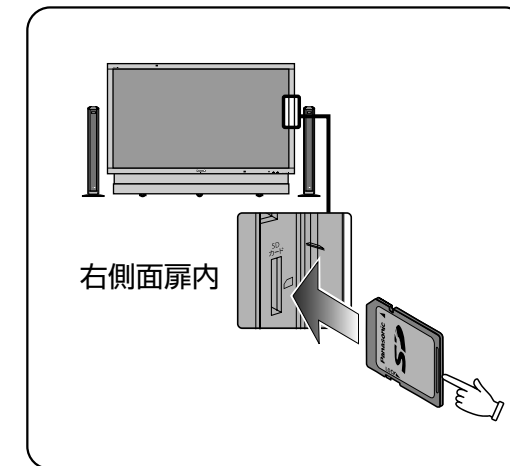
- ●24 mm×32 mm×2.1 mmの、切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーです。
- ●miniSDカードやmicroSDカードを本機にて使用する場合は、専用のアダプターに必ず装着してご使用ください。
- ●マルチメディアカードのご使用については保証いたしません。
- ●本機では、当社製の2 GB※3までのSDメモリーカードおよび32 GB※4までのSDHCメモリーカードを動作確認しています。最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/tv(2008年7月現在)
  - ※3 使用可能領域は2 GBより少なくなります。
  - ※4 使用可能領域は32 GBより少なくなります。
- ●最大転送速度が、10 MB/秒に満たないSDメモリーカードでビデオ撮影した場合、本機で正しく再生できない場合があります。

■プロテクトについて

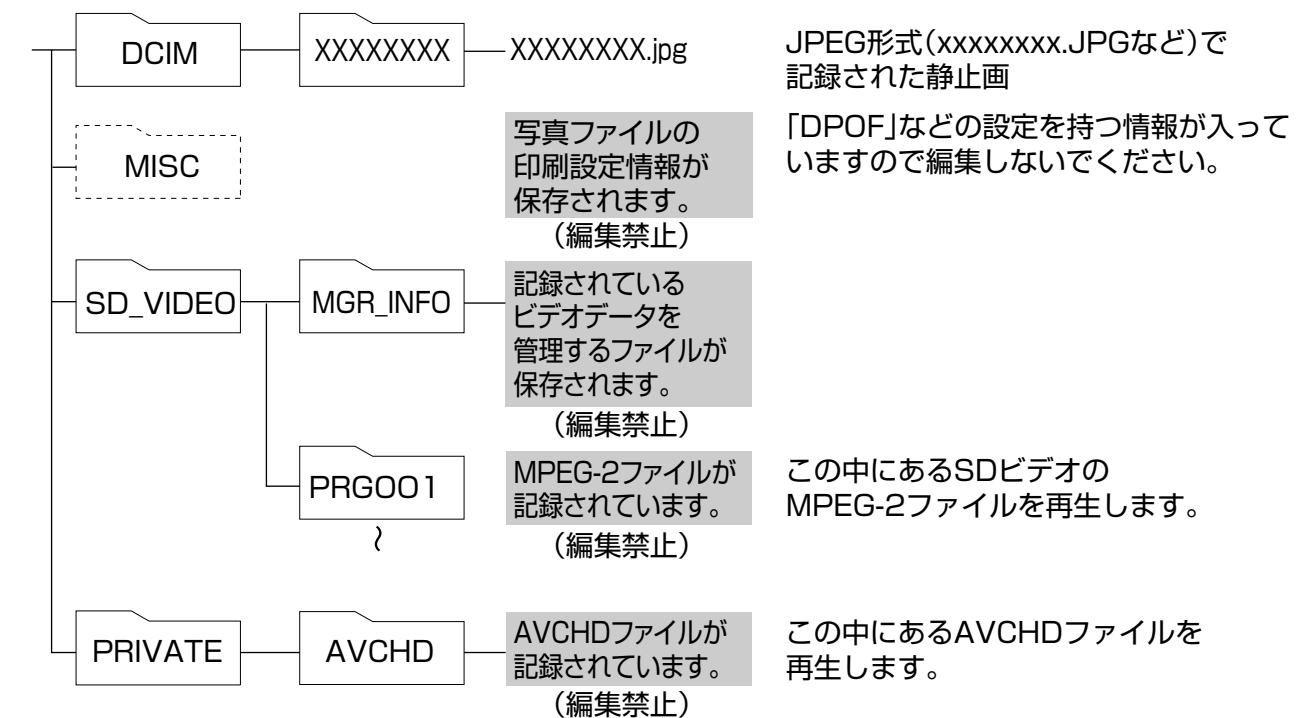
- ●スイッチを「LOCK」側にすると、誤消去や上書きを防止できます。写真現像店に出すときのプリント枚数設定(DPOFプリント設定)をするときは書き込み禁止(LOCK)スイッチを「LOCK」と逆側にしてください。

SDメモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い

パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■SDメモリーカードの出し入れ

- ●本編50～51ページおよび、ネットワーク編12～13、48～49ページの操作中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。データが破壊されたり、本体が正常に動作しなくなる場合があります。
- ●miniSDカードやmicroSDカードを使用の場合はアダプターごと出し入れしてください。
- ●SDメモリーカード以外の物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

入れるとき
SDメモリーカードのラベル面を上に向けて、奥までゆっくりと差し込む

取り出すとき
部分（左図）を押す

■フォルダ構造について[フォルダ(ディレクトリー)構造の例]

お知らせ

- ●本機は全フォルダ内のJPEGファイルを探して表示します。（ただし、DPOFプリント設定はファイル名が半角8文字以下の画像データのみ設定できます。）
- ●ファイル名やフォルダ名を変更すると、動画が再生できなくなる場合があります。

：フォルダ　XXXXXXXX.jpg ：ファイル名　X：半角文字

ビデオ・写真

SD(エスディー)メモリーカードの再生／プリント枚数の設定

写真現像店などに出す

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

SDメモリーカードのビデオを再生する（MPEG-2/AVCHD動画再生）

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

SDメモリーカードを挿入する（☞49ページ） ▶ SDカード を押す ▶ 「ビデオ一覧を見る」を選び決定

ガイド を押すと、電子説明書でご覧になれます。

関連情報：※SDメモリーカードの使用上のご注意（☞48ページ）

ビデオを再生する SDビデオ再生

再生したい映像を選び決定 ▶ 再生が始まります

■停止するには 「SDビデオ一覧」に戻る

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

詳しい解説を見る：ガイド＋7 6 6

SDメモリーカードの写真を再生する

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

SDメモリーカードを挿入する（☞49ページ） ▶ SDカード を押す ▶ 「写真を見る」※を選び決定

※スライドショーのときは「スライドショー開始」を選ぶ（下記）

詳しい解説を見る：お知らせ ガイド＋7 5 6

関連情報：アクトビラでSDメモリーカードの静止画を見るときは（☞ネットワーク編13ページ）

写真を連続して見る スライドショー開始

上記手順で「スライドショー開始」を選び決定 ▶ 再生が始まります

■止めるとき ■再開するとき

■終了するとき 戻る を押す

関連情報：※SDメモリーカードの使用上のご注意（☞48ページ）

スライドショーの設定を変える スライドショー設定

「スライドショー設定」を選び決定 ▶ 「画像表示間隔」を設定する

ガイド＋1 2 4

■DPOF自動再生ファイルがあるときは、まず再生方法を選ぶ

■スライドショーを見るには 「スライドショー開始」を選び決定

■止めるとき

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

詳しい解説を見る：ガイド＋1 2 4

写真を12枚ずつ見る 写真一覧

「写真一覧」を選び決定 ▶ 写真を12枚ずつ表示します

■画像を拡大するには 拡大したい写真を選び決定→シングル表示へ

詳しい解説を見る：ガイド＋1 2 2

写真を1枚ずつ見る シングル表示

「シングル表示」を選び決定 ▶ 押すたびに画像が切り換わる

■画像を回転するには 押すたびに90°ずつ時計回りに回転

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

詳しい解説を見る：ガイド＋1 2 3　お知らせ ガイド＋7 5 8

写真一覧

BGMを再生する BGM再生

「BGM設定」を選び決定 ▶ 「BGM再生」を選び設定する

BGMを選択する BGMタイプ

「BGM設定」を選び決定 ▶ 「BGMタイプ」を選び設定する

■終了するとき 戻る を押す

詳しい解説を見る：ガイド＋1 3 8

写真現像店に出す プリント枚数を設定する

手順 ▷▷▷

写真のプリント枚数を設定する DPOFプリント設定

※設定が可能な写真については（☞49ページ）

黄 上記「写真一覧」画面で押し、プリントしたい写真を選び決定 ▶ サブメニュー S を押し、「枚数設定」を選び決定 ▶ 枚数を設定し、「設定」を選び決定

■続けて別の写真のプリント枚数を設定するには 左の手順を繰り返す

■終わったら 戻る を押す

詳しい解説を見る：ガイド＋1 2 5　お知らせ ガイド＋7 6 1

関連情報：SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると設定できません。（☞48ページ）

ビエラリンク(HDMI)を使う

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず ご確認ください	ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定 (☞85～89ページ)		ビエラリンク(HDMI)とは ガイド[?]+[9][2][5]
本機のリモコンで **レコーダー(ディーガ)のメニュー画面を操作する** [ディーガ(操作一覧)]	[ビエラリンク]を押す ▶ (決定) 「ディーガの操作一覧」を選び決定 ▶ レコーダー(ディーガ)の電源「切」時は自動的に「入」になります (決定) レコーダー(ディーガ)の画面に従い操作する ■終わったら [元の画面]を押す	ガイド[?]+[4][8][1]	レコーダー(ディーガ)の画面で使えるボタンについて ガイド[?]+[4][8][2]
レコーダー(ディーガ)の操作時に **テレビ画面をレコーダー(ディーガ)の画面に切り換える** [自動入力切換]	レコーダー(ディーガ)の再生やメニュー操作などを始める ▶ 自動的にレコーダー(ディーガ)の画面に切り換わります。	ガイド[?]+[4][8][4]	
本機で予約設定してレコーダー(ディーガ)へ転送する [録画予約]	番組表や検索結果などから予約したい番組を選び決定 ▶ 32ページの手順で「タイマー予約」の設定をする ※「ディーガ(ビエラリンク)」を選ぶ ▶ 予約の設定内容がレコーダー(ディーガ)へ転送されます。	ガイド[?]+[2][5][1]	
本機のリモコンで **今見ている番組の録画を始める** [見ている番組を録画]	[ビエラリンク]を押す ▶ (決定) 「見ている番組を録画」を選び決定 ▶ レコーダー(ディーガ)の電源が入り録画が始まります。 ■録画を停止させるときは [ビエラリンク]を押して「録画を停止する」を選び決定 ●番組が終了しても、録画は自動停止しません。	ガイド[?]+[4][8][5]	
一時的にテレビから離れるときなどに **番組の視聴を一時停止／再生する** [番組キープ／再生]	[番組キープ]を押す ／ [ビエラリンク]を押す ▶ (決定) 「番組キープ／再生」を選び決定 ▶ 見ていた番組が一時停止し、「再生操作パネル」を表示します。 ▶ (決定) 「決定」を押す (番組の一時停止状態が解除されます) (「番組キープ」ボタンでも一時停止状態を解除できます) ■番組キープを停止するときは 再生操作パネルを表示中に押す (再生操作パネルが消えているときは「サブメニュー」ボタンを押す。)	ガイド[?]+[5][4][10]	

■ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

- ●本機とHDMI ケーブル(別売品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
- ●ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- ●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応しています。
  ビエラリンク(HDMI)Ver.3とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。
  (2007年12月現在)

お知らせ

- ●「番組キープ／再生」メニューは、ビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応したレコーダー(ディーガ)をHDMI端子に接続しているときのみ操作できます。
- ●番組キープの内容は、レコーダー(ディーガ)のハードディスクに一時的に記録されますが、再生を停止すると消去されます。

ビエラリンク(HDMI)を使う(つづき)

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

	手順 ▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず ご確認ください	ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定(☞85〜89ページ)		
本機のリモコンで **音声をAVアンプから出す** [AVアンプ]	[ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「音声をAVアンプから出す」を選び決定 ▶ 本機の音声が消え、AVアンプの電源が入ります。 ■テレビの音声に戻すには左ページの操作で「音声をテレビから出す」を選び決定 ■音量を調節するときは本機リモコンの音量ボタンで調整する	ガイド [?]+[4][8][8]	
AVアンプのサウンドを **番組情報に応じて自動的に切り換える** [サウンド(オート)]	[サウンド]を数回押して、サウンドを「オート」に切り換える ▶ 自動的に番組情報に応じた最適なサウンドに切り換わります。(オートサウンド連携)		AVアンプがビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応している場合に、本機リモコンのサウンドボタンで「オート」に切り換えられます。
AVアンプのリモコンで **DVDを再生させる** [ワンタッチ再生]	AVアンプのリモコンをレコーダー(ディーガ)に向けて「ワンタッチ再生」ボタンを押す ▶ 各機器の電源が入りDVD再生が始まります。(音声はAVアンプから出ます)	ガイド [?]+[4][9][1]	
本機のリモコンで **パソコンを操作する** [パソコンを操作する]	HDMI2または3端子に接続したパソコンの電源を入れる ▶ [ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「パソコンを操作する」を選び決定 ▶ パソコンの操作画面に切り換わります。 ■本機のリモコンでパソコンの画面を操作できます。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照ください。 ■テレビ画面に戻るには[元の画面]を押す	ガイド [?]+[4][9][5]	
本機のリモコンで **ケーブルテレビを操作する** [ケーブルテレビを見る]	[ビエラリンク]を押す ▶ [決定]「ケーブルテレビを見る」を選び決定 ▶ CATVデジタルSTBの電源が入り、画面が切り換わります。 ■テレビ画面に戻るには[ビエラリンク]を押して「テレビに戻る」を選び決定 ■CATVデジタルSTBのメニュー画面を表示するには[ビエラリンク]を押して「ケーブルテレビの操作一覧」を選び決定 ※CATVデジタルSTBを操作する場合は、CATVデジタルSTB側の設定が必要です。詳しくはCATVデジタルSTBの取扱説明書をご覧ください。	ガイド [?]+[5][3][10]	CATVデジタルSTBの画面で使えるボタンについて ガイド [?]+[5][3][3]
本機のリモコンで **デジタルビデオカメラを操作する** [ビデオカメラを操作する]	HDMI4端子に接続したデジタルビデオカメラの電源を入れる ▶ デジタルビデオカメラの画面に切り換わります。 ■本機のリモコンでデジタルビデオカメラの画面を操作できます。詳しくはデジタルビデオカメラの取扱説明書を参照ください。	ガイド [?]+[4][9][2]	

お願い

●DVDなどを再生中、手動でAVアンプの電源を「入」にした場合もアンプからの音声に自動的に切り換わりますが、本機のリモコンでの音量調整はできません。この場合、アンプ側で音量調整してください。

お知らせ

●ビエラリンクメニューには、くらし機器設定で設定された項目も表示されます。
→ネットワーク編(☞25、34〜37ページ)をご覧ください。

●「ケーブルテレビを見る」「ケーブルテレビの操作一覧」メニューは、ビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応したCATVデジタルSTBをHDMI端子に接続しているときのみ表示します。

お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)でDVDなどを見たりAVアンプから音声を出しているときに、手動でレコーダー(ディーガ)やアンプの電源を「切」にしても、本機の電源は「入」のままです。

●AVアンプがビエラリンクVer.2に対応している場合は「オート」を除く5つ、ビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応している場合は「オート」を含めた6つのサウンドに切り換えられます。

●「パソコンを操作する」メニューは、ビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応したパソコンをHDMI端子に接続しているときのみ表示します。対応したパソコンの最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/tv/(2008年7月現在)

接続した機器で楽しむ

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

詳しい解説を見る ／ 関連情報

まず次の操作をする

i.LINKの接続と設定（☞ 96～97ページ）

を押す

「機器を操作する」を選び決定

本機のリモコンで当社製 D-VHSビデオデッキなどを操作する　i.LINK操作表示

操作したい機器を選び決定

i.LINK操作表示に従い操作する

■i.LINK操作表示を消すときは
戻る を押す
■テレビ画面に戻るには
元の画面 を押す

詳しい解説を見る：ガイド ? + 4 7 10
お知らせ：ガイド ? + 9 1 6

手順▷▷▷

詳しい解説を見る ／ 関連情報

まず各機器の接続と設定をご確認ください

レコーダー（ディーガ）の接続と設定（☞ 84、94～95ページ）
オーディオ機器の接続と設定（☞ 100～101ページ）
パソコンの接続と設定（☞ 93ページ）

本機のリモコンで当社製 レコーダー（ディーガ）を操作する　レコーダー（ディーガ）

入力切換 を押す ▶

切り換えたい入力を選び決定

本機リモコンふた内のレコーダー（ディーガ）操作用ボタンで操作する

ディーガ 電源　停止 ■　一時停止 ❚❚　再生 ▶

関連情報：リモコン設定については下記をご覧ください

オーディオ機器から画面の音声を出す　オーディオ機器

消音 を押す ▶ オーディオ機器を操作する（電源を入れ本機の音声入力に切り換える）

パソコンの画面に切り換える　PC（パソコン）

入力切換 を押す ▶

PC（パソコン）の項目を選び決定

パソコンを操作する

■画面モードを切り換えるには
画面モード を押す
（押すたびに切り換わる）

お知らせ：ガイド ? + 7 5 3

●接続した機器で楽しむ

■本機リモコンでレコーダー（ディーガ）が操作できない場合
本機リモコンのディーガボタンには３種類のリモコン設定があります。
動かない場合は、次の手順でリモコン設定を変えて動作を確認してください。
① ディーガ 電源 を押したまま、1 ▶ 2（または 1 ▶ 3）の順に押す
② ディーガ 電源 をはなす
③本機リモコンをレコーダー（ディーガ）へ向けて動作を確かめる

リモコン設定	
設定するボタン	1 と 1（初期設定）
	1 と 2
	1 と 3

お知らせ
●当社製レコーダー（ディーガ）／プレーヤーのみ操作できます。
●録画操作や特殊な機能には対応していません。
●電池を抜いたまま放置すると、設定は 1・1 に戻ります。

いろいろな情報を見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

●いろいろな情報を見る

アンテナ線の接続

●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。(☞78ページ)
●アンテナレベルを確認するときは(☞78ページ)

●アンテナ電源を「オフ」にしてください。(☞78ページ)

お知らせ
●本機には、2つのアンテナ端子がありますので、間違えないように接続してください。
●映像や音声が乱れる場合は、お求めの販売店にご相談ください。
●レコーダー(ディーガ)などの録画機器を接続される場合は、録画機器を経由してアンテナ接続してください。(詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。)
●接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの(ケーブル、分配器、分波器、アンテナプラグなど)は変わります。詳しくは販売店にご相談ください。

■地上デジタル放送について

●受信するためには、地上デジタル放送の送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。
●専用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要になる場合があります。
●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
●放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
●放送出力が増大された場合に、受信設備(ブースターなど)の再調整、変更が必要になる場合があります。

■ケーブルテレビ(CATV)を受信する場合

●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
●さらにスクランブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。
●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで「CATVパススルー方式」により配信されている場合は「受信帯域選択」を確認して設定してください。(☞68ページ)

■衛星(BS・110度CS)放送について

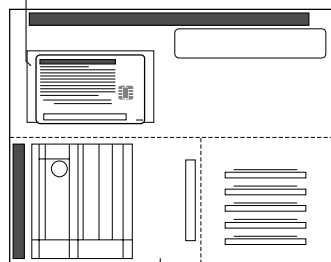
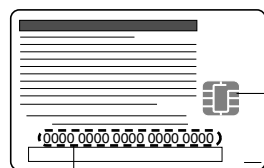
●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は78ページを参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。
レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

B-CAS(ビーキャス)カードの挿入

- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- **挿入しないとデジタル放送が映りません。**
- 「使用許諾約款」を、よくお読みください。

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2008年7月から「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて

B-CASカード(添付)
- デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

ユーザー登録はがき
- はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。(登録は無料です)

B-CASカード番号
- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

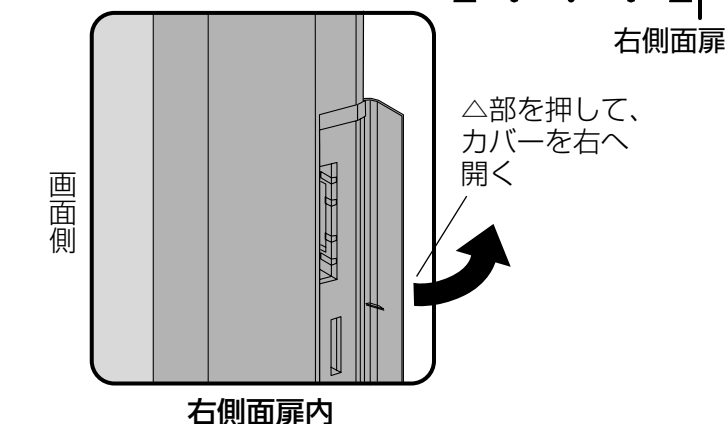
■B-CASカード取り扱い上の留意点

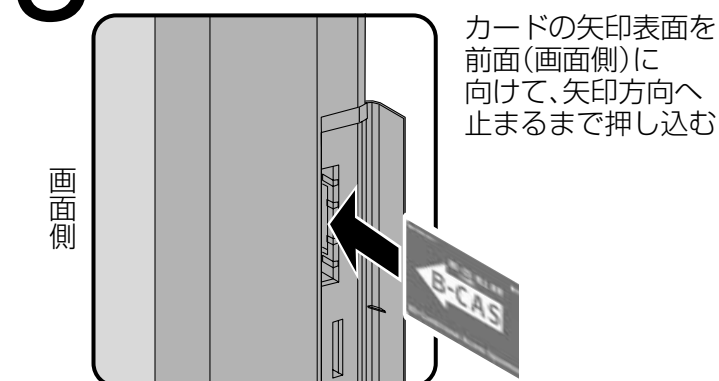
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■B-CASカードについてのお問い合わせ(紛失時など)は

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る

2 右側面の扉を開ける

右側面扉内

3 B-CASカードを挿入し、扉を閉める

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをするときは

(☞80ページ)

■B-CASカードを抜くとき

➡ (1)本体の電源ボタンを「切」にする。
(2)B-CASカードを抜く。

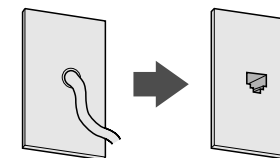
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(☞120ページ)
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(☞80ページ)

電話回線の接続

双方向サービスのあるデータ放送や視聴者参加番組を楽しむときに必要です。

■まず、電話回線コンセントを確認してください

- モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。

例:埋込み型プレートのとき

■工事をされる場合は

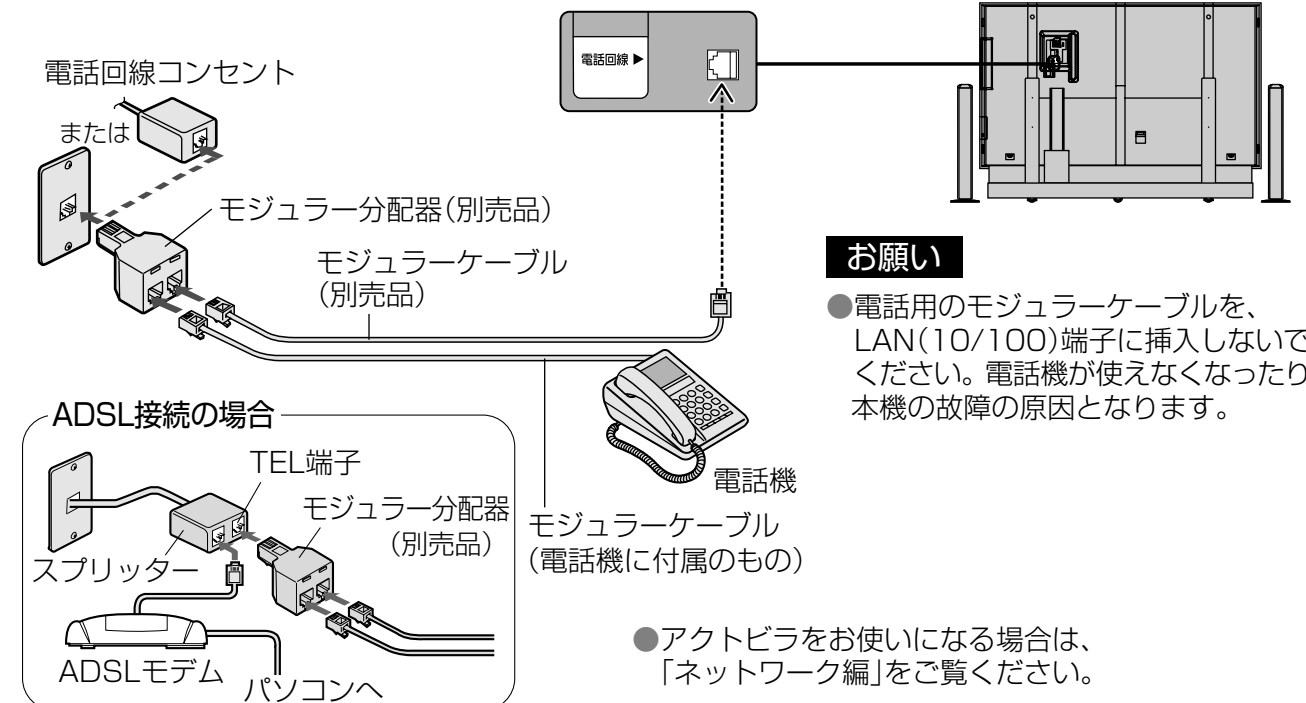
- 電話回線に関する工事は資格を受けた人(工事担任者)でなければ行えません。ご購入の販売店もしくはNTT営業所へご相談ください。

■次の電話回線には接続できません

- ISDN回線(ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます)
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- 「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。
- ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。(主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続)

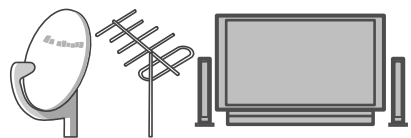
■光IP電話をお使いの場合

- 光IP電話では、データ放送の双方向サービスが利用できない場合があります。詳しくは、ご契約のIP電話業者に問い合わせください。

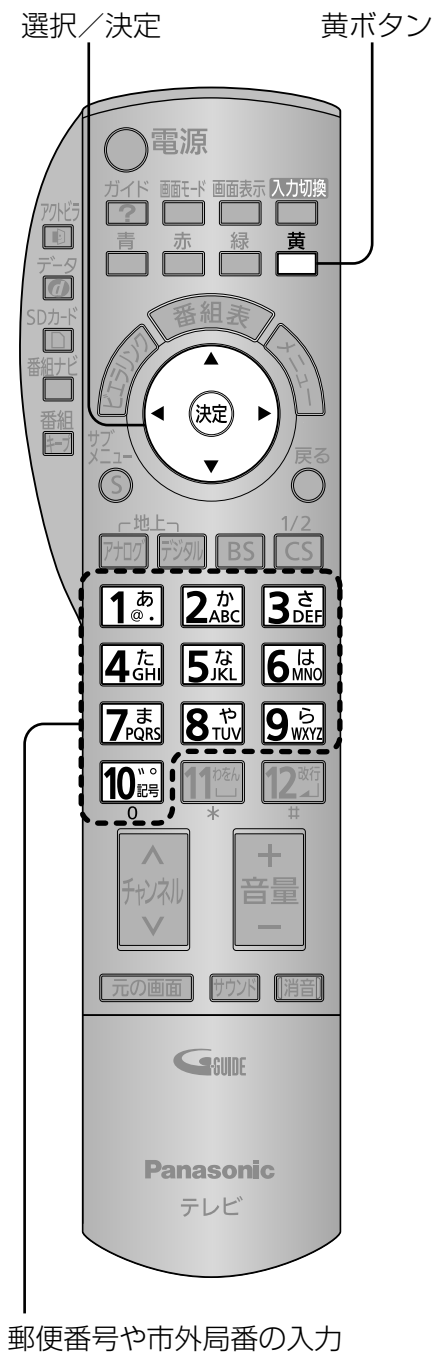
■接続するときは

お願い
- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN(10/100)端子に挿入しないでください。電話機が使えなくなったり、本機の故障の原因となります。

- アクトビラをお使いになる場合は、「ネットワーク編」をご覧ください。

■接続上のお願い

- モジュラー分配器について
  - 本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
  - 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。
- モジュラーケーブルについて
  - 設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。
  - 市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合は、「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。(☞79ページ)

かんたん設置設定

まず ご確認ください。

- ●アンテナの接続はお済みですか？（☞60ページ）
- ●B-CASカードは挿入されていますか？（☞62ページ）
- ●電話回線の接続はお済みですか？（☞63ページ）
- ●リモコンの電池は入っていますか？（☞12ページ）

ご購入後初めて電源を入れたときは

画面の指示に従って、設置設定を行ってください

●引っ越しなどでやり直すときは（☞71ページ）

1 本体の電源を入れる

かんたん設置設定
お買い上げありがとうございます。
正しくお使いいただくために各種設定を行います。

2 「決定」を押す

かんたん設置設定
以下の準備はお済みですか？
お済みでない場合は、一旦電源を切り、準備を終えた後、再度電源を「入」にしてください。
・アンテナ線の接続
・電話回線の接続
・B-CASカードの挿入
・接続機器の電源をお切りください

■本体操作部で設定するときは
（右側面扉内）
設置設定 を押して、画面上の指示に従い操作してください。
（リモコンは使えません。）

3 アンテナを接続済みのときは「決定」を押す

■アンテナが接続されていないときは
➡本体の電源を「切」にしてアンテナを接続する。
（☞60ページ）

（右ページへ続く☞）

「かんたん設置設定」は最後の手順まで終了させてください。終了させないと、次回電源を入れたときにも「かんたん設置設定」の画面が表示されることがあります。

地域の情報を受信するために 地域を登録する 地域設定

4 お住まいの地域の郵便番号を入力し、「決定」を押す

かんたん設置設定
お住まいの地域の郵便番号を入力してください。データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
100－0011

●間違えたときは ➡ 黄 を押す。

数字「0」は、10 を押します。

5 お住まいの都道府県を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
お住まいの都道府県を選択してください。データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
県域設定 東京都（島部除く）

●伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
●南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

6 お住まいの地域の市外局番を入力し、「決定」を押す

（一覧表☞102ページ）

かんたん設置設定
お住まいの市外局番を入力してください。地域に合った地上アナログチャンネル設定、地上アナログ放送と地上デジタル放送の番組データの受信を行うために必要です。
03－－－－

●間違えたときは ➡ 黄 を押す。

- ●ご購入後に初めて電源を入れられた場合は、表示内容をご確認の上「決定」を押してください。
- ●メニューからかんたん設置を実行された場合は、表示内容をご確認の上「はい」を選び、「決定」を押してください。
- ●「1111」と入力すると工場出荷時（下記）のチャンネル設定になり手順**7**へ。

（次ページへ続く☞）

■工場出荷時の地上アナログ放送のチャンネル設定

リモコンボタン	受信チャンネル	表示チャンネル	放送局名	リモコンボタン	受信チャンネル	表示チャンネル	放送局名
1	1	1	----	予備5	52	スキップ0	----
2	2	2	----	予備6	62	スキップ0	----
3	3	3	----	予備7	C16	スキップ0	----
4	4	4	----	予備8	C22	スキップ0	----
5	5	5	----	予備9	C24	スキップ0	----
6	6	6	----	予備10	C25	スキップ0	----
7	7	7	----	予備11	C35	スキップ0	----
8	8	8	----	予備12	C36	スキップ0	----
9	9	9	----	予備13	C37	スキップ0	----
10	10	10	----	予備14	C38	スキップ0	----
11	11	11	----	予備15	C39	スキップ0	----
12	12	12	----	予備16	55	スキップ0	----
予備1	13	スキップ0	----	予備17	56	スキップ0	----
予備2	38	スキップ0	----	⟆	⟆	⟆	
予備3	48	スキップ0	----	予備23	62	スキップ0	----
予備4	50	スキップ0	----				

かんたん設置設定（つづき）

地上アナログ放送のチャンネルを確認する　受信チャンネルの確認・修正

7 地上アナログ放送の受信設定を確認する

■入力した市外局番の設定（102ページ）で良い場合
➡「次へ」を選び、「決定」を押す

（☞ 68ページ手順**9**へ）

共同受信でチャンネルがずれているときなど
■修正したい場合 ➡「修正する」を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ
5	16	16	放送大学

8 修正・変更する方法を選ぶ

受信できる放送局を自動で探して「予備」に追加したい場合

※「リモコン」の1～12に「スキップ0」が設定されている場合は、「スキップ0」に先に上書き追加します。（「スキップ0」については☞ 右ページ）

青ボタンを押す

青

オートサーチの画面になり数分程度乱れた映像になります。

順番に受信内容を確認する

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

■この設定で良い場合 戻る を押す
（☞ 68ページの手順**9**へ）
■リモコンの行を入れ換えたいときや個々に修正したいときは下欄参照

行（リモコン）を入れ換えたいとき

緑

を押す　（73ページ「マニュアル」の項目を参照）

「CH」「表示」「放送局名」個々に修正したい場合

① 修正したい行（リモコン）を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

例 リモコン1の修正
●リモコンの番号は修正できません。

② 修正したい「CH」「表示」「放送局名」のいずれかを選ぶ

例 表示を選んだ場合

（右ページへ続く ☞）

受信チャンネルの確認・修正（つづき）

「CH」「表示」「放送局名」個々に修正する（つづき）

CHの修正

③ リモコンのチャンネルボタンに割りあてられたCH（チャンネル番号）を修正する

で、チャンネルを選ぶ

1～62→C13～C63 の順に変化。

➡ 終わったら 戻る を押す
●続けて他の「CH」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

表示の修正

③ 選局時、画面に表示されるチャンネル番号を修正する

で、番号を選ぶ

スキップ0〈飛び越し〉→1～99→C13～C63
表示なし←BS1～BS15←VTR1～VTR9←VTR←
の順に変化。

●うまく受信できなかったチャンネルは「スキップ0」が設定され、順送り選局時は飛び越し（スキップ）ます。

➡ 終わったら 戻る を押す
●続けて他の「表示」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

放送局名の修正

③ 放送局名を修正する

で、修正したい放送局を選ぶ

●正しい放送局名が設定されていない場合は番組表で表示されません。
●Gガイド地域一覧表でお住まいの地域にない放送局名は設定しても番組表に表示されません。（☞ 107ページ）

➡ 終わったら 戻る を押す
●続けて他の「放送局名」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

■放送局コード（106ページ）を入力して修正するとき

（1）左記手順②で「放送局名」の欄を選んだ後、「決定」を押す（入力モードになります）

（2）放送局コードを入力する

10 5 2 4　0524

例：「0524」テレビ東京

（3）入力したら、「決定」を押す
手順②の画面に戻り、放送局名を表示します。

修正が終わったら

④ 手順①の画面で、「戻る」を押して終了する

戻る

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

（次ページへ続く ☞）

かんたん設置設定（つづき）

B-CASカードテスト

9 「決定」を押す（B-CASカードテストが開始される）

かんたん設置設定
B-CASカードテストを行います。
これは、デジタル放送を視聴するために
必要です。B-CASカードが挿入されているか
確認してください。

10 「OK」の表示を確認し、「決定」を押す

かんたん設置設定
テストが正しく終了しました。
デジタル放送やデータ放送を利用することができます。
次へお進みください。
B-CASカードテスト：OK

■「NG」が出たときは

➡ B-CASカードを正しく挿入し（☞62ページ）「はい」を選び、再度テストを行ってください。
- ●再度テストしない場合は「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押し手順**11**へ。
- ●「NG」では、デジタル放送をご覧いただけません。

地上デジタル放送を受信する　受信チャンネル設定

11 「はい」を選び、「決定」を押す

●設定しないときは
➡「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押し手順**15**へ

12 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域設定
地域にあった地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。
地域設定を変更すると、これまでの地上デジタルチャンネル設定が
削除されます。
これよりチャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になります
ので、ご注意ください。
地域選択　東京

13 「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

- ●通常は「UHF」を選択してください。
- ●ケーブルテレビをお使いの場合で、ケーブルテレビ局からの信号が「CATVパススルー」方式の場合は「全帯域」を選んでください。（VHF、UHF、C13〜C63の帯域をスキャンします）

▼

お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを調べて設定しますので、しばらくお待ちください。

VHF帯などは、現在地上アナログ放送で使用されておりますが、2011年7月に地上アナログ放送は終了し、テレビ放送以外の用途に使用されることが国の方針で決定されています。
このため、UHF帯以外で地上デジタル放送の受信を継続される場合に受信障害が発生する可能性があります。

■地上デジタル放送について

●物理チャンネルについて
地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13〜62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

●3桁チャンネル番号
デジタル技術により、1つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。例えば、ある放送は物理チャンネルの25chを使って「101」〜「103」の3つの放送を提供します。この「101」「102」「103」を3桁チャンネル番号と呼びます。この内、下位1桁が「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。（この場合「101」）

●リモコンのチャンネルボタン
テレビ放送の場合、3桁チャンネル番号の上位2桁（上記の場合は「10」）は、リモコンのチャンネルボタンの番号と同じとする割り当てになります。（本機はできる限り自動でこの割り当てを行います）
即ち、この場合であれば 10 を押すと、3桁チャンネル番号の「101」（その放送局の代表チャンネル）が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。（☞104ページ）

●3桁チャンネル番号に枝番がつく場合
多くの地域で地上デジタル放送が開始され、同じチャンネル番号に割り当てる放送が複数受信できた場合に枝番がつきます。例：「011-0」、「011-1」、「011-2」

●地上デジタル放送の送信状況が変わったとき
「地上デジタル放送の送信状況が変わりました。」という放送メール（☞58ページ）が届くことがあります。このときは、地上デジタル放送のチャンネル修正（☞75ページ）の「再スキャン」を実施してください。実施後のチャンネル割り当てが、お好みでないときなどは「初期スキャン」を実行してください。

●代表チャンネル以外の選局
下の手順**14**で「修正する」を選ぶと代表チャンネル以外の放送を設定できます。
また、チャンネル設定してない場合でも、チャンネル∧∨やチャンネル番号入力で、選局できます。

受信チャンネル設定（つづき）

14 設定内容を確認しない場合は、修正確認画面で「次へ」を選び、「決定」を押す

■設定内容を確認する場合は
①「修正する」を選び、「決定」を押す
②▲▼で内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	―――――	―――
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ

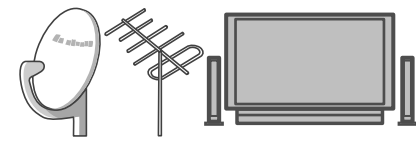
放送局名
3桁チャンネル番号
放送サービスの種類（テレビ、データなど）
リモコンの選局ボタン（13〜36に設定のチャンネルは、チャンネル∧∨や お好み選局 で選局）

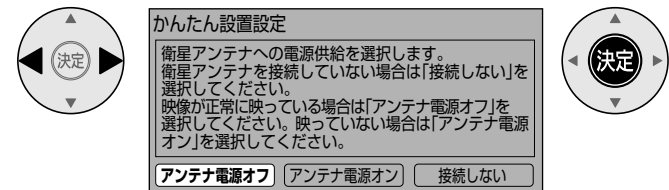
●受信エリア外の場合などは受信できません（☞61ページ）

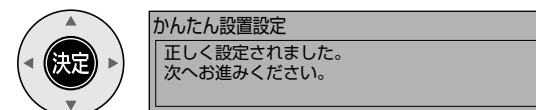
■修正をしたいときは
75ページの「マニュアル」の項目を参照

■入れ換えをしたいときは
(1) 左図の画面で緑ボタンを押す
(2) ▲▼で入れ換えたい行(リモコン)を選び、「決定」を押す
(3) ▲▼で入れ換え先の行(リモコン)を選び、「決定」を押す
(4)「戻る」を押す

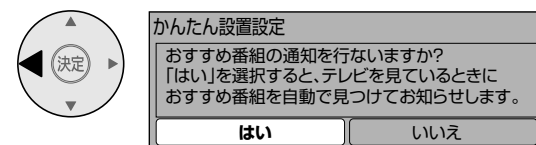
（次ページへ続く☞）

かんたん設置設定（つづき）

衛星アンテナへの電源を選択する　衛星アンテナ設定

15 衛星アンテナへの電源供給を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
衛星アンテナへの電源供給を選択します。
衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択してください。
映像が正常に映っている場合は「アンテナ電源オフ」を選択してください。映っていない場合は「アンテナ電源オン」を選択してください。
アンテナ電源オフ　アンテナ電源オン　接続しない
16 「正しく設定されました」の表示を確認し、「決定」を押す

かんたん設置設定
正しく設定されました。
次へお進みください。

■正しく設定されない場合は
●「衛星アンテナのレベルが不足しています。」または「衛星アンテナのレベルが取得できません。」と表示されます。アンテナの接続や調整を確認し、「再設定」を選び、「決定」を押して再確認してください。（再設定しない場合は「次へ」を選び、「決定」を押してください。）

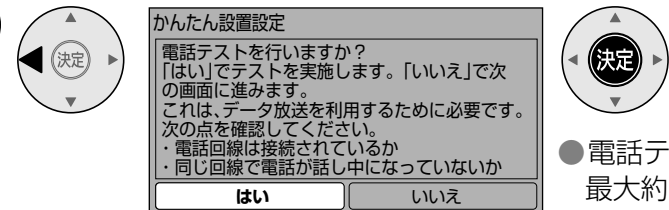
おすすめ通知

17 「はい」を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
おすすめ番組の通知を行いますか？
「はい」を選択すると、テレビを見ているときにおすすめ番組を自動で見つけてお知らせします。
はい　いいえ
※この設定画面は64ページの手順**1**から操作時のみ表示します。

●テレビを見ているときおすすめ番組の開始を自動的にお知らせします。
●設定後でも、「番組開始時のおすすめ通知」「選局操作時のおすすめ通知」で設定を変更できます。（☞ 28ページ）
●「はい」に設定した直後はおすすめ番組の通知はしません。
視聴状態にもよりますが、おすすめ通知するまで数日かかる場合があります。

（お知らせ）
●「おすすめ通知」はおすすめ番組機能の中の1つの設定です。
おすすめ番組機能を便利にお使いいただくには（☞ 28ページ）をご覧ください。

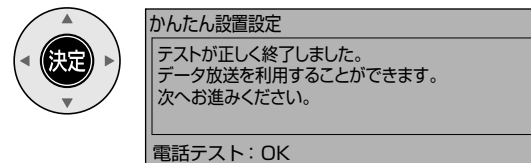
電話回線の接続を確認する　電話テスト

18 「はい」を選び、「決定」を押す（電話テストが開始される）

かんたん設置設定
電話テストを行いますか？
「はい」でテストを実施します。「いいえ」で次の画面に進みます。
これは、データ放送を利用するために必要です。
次の点を確認してください。
・電話回線は接続されているか
・同じ回線で電話が話し中になっていないか
はい　いいえ
●電話テストの画面が表示され最大約3分間かかります。

●電話回線を接続していない場合は、「いいえ」を選び、「決定」を押してそのまま手順**20**に進んでください。

電話テスト（つづき）

19 「OK」の表示を確認し、「決定」を押す

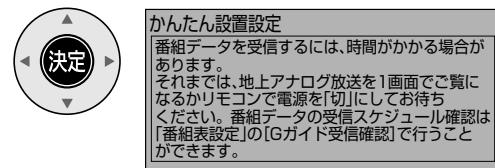
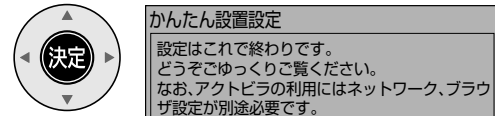
かんたん設置設定
テストが正しく終了しました。
データ放送を利用することができます。
次へお進みください。
電話テスト：OK

■「NG」が出たときは
➡ そのまま「決定」を押して手順**20**に進み、手順**21**終了後に電話設定を行う。（☞ 79ページ）
●視聴者参加番組や双方向のデータ放送を利用しないときは、電話回線接続は不要です。
このときは、「NG」が出ますが問題ありません。

「かんたん設置設定」を終了する

20 番組表の注意事項を確認し、「決定」を押す

かんたん設置設定
番組データを受信するには、時間がかかる場合があります。
それまでは、地上アナログ放送を1画面でご覧になるかリモコンで電源を「切」にしてお待ちください。番組データの受信スケジュール確認は「番組表設定」の[Gガイド受信確認]で行うことができます。

21 「決定」を押して、終了する

かんたん設置設定
設定はこれで終わりです。
どうぞごゆっくりご覧ください。
なお、アクトビラの利用にはネットワーク、ブラウザ設定が別途必要です。

●実行結果によっては、追加のメッセージが表示される場合があります。表示された場合は、表示内容を確認の上、その内容に従ってください。

●「衛星デジタル放送の受信ができないため、地上アナログ番組表データが受信できません。」と表示された場合は、まず衛星アンテナの電源（☞ 78ページ）を「オフ」にしてアンテナ線の接続（☞ 60ページ）をご確認ください。

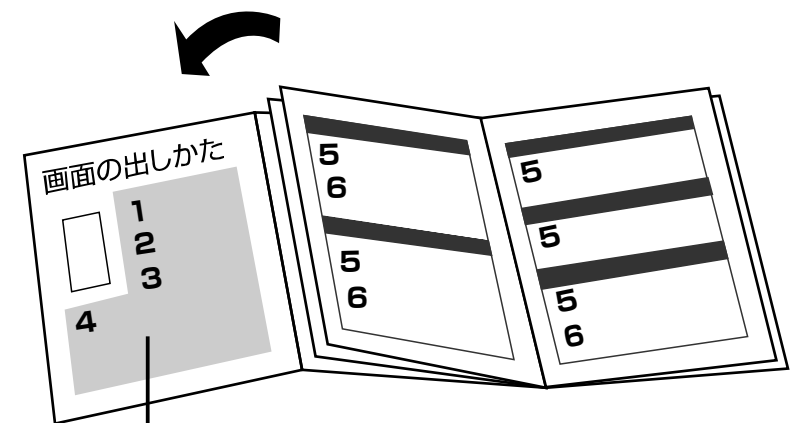
引っ越しなどで「かんたん設置設定」をやり直したいとき

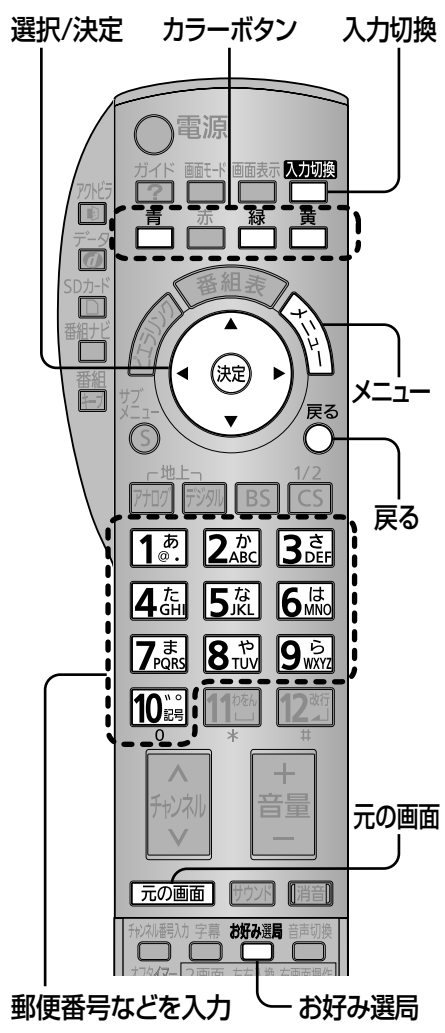
■メニューから「かんたん設置設定」をする
➡ (1)「メニュー」を押す。
(2)「設定する」を選び、「決定」を押す。
(3)「初期設定」を選び、「決定」を押す。
(4)「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す。
(5)65ページの手順**4**に続く。

右側面扉内の設置設定ボタンを3秒以上押しても、かんたん設置設定ができます。このときは、画面上の指示に従って操作してください。（リモコンは使えません。）

■メニューから一部の項目を設定する
➡ やり直したい項目を選ぶ。（☞ 72〜80ページ）

■電源「入」時で「かんたん設置設定」を最初からやり直すには（お買い上げ時の状態にしたいとき）
➡ (1)上記の『メニューから「かんたん設置設定」をする』の手順(1)〜(5)を行う。
(2)65ページ手順**6**の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
(3)確認の画面で「はい」を選び、「決定」を押す。
(4)電源を「切」にし、再度「入」にする。（64ページの「かんたん設置設定」手順**1**の画面を表示）
※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

このページの裏面には
次ページ以降の項目で設定画面を出すための共通手順を記載しています。

「設置設定」・「接続機器関連設定」画面の出しかた

次のような場合は、下記の手順で設定をしてください。
- 引っ越しでテレビ放送の受信地域が変わったとき
- ブロードバンド環境の接続状況などが変わったとき
- 接続している機器を変更したとき

1 「メニュー」を押して、「設定する」を選び、「決定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「設置設定」、「接続機器関連設定」、「自動更新設定」または「設定リセット」を選び、「決定」を押す

「設置設定」「設定リセット」の場合、「決定」を3秒以上押す

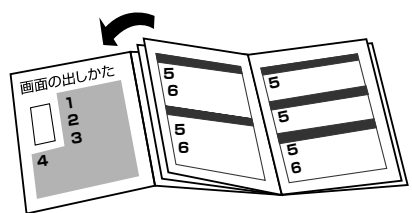
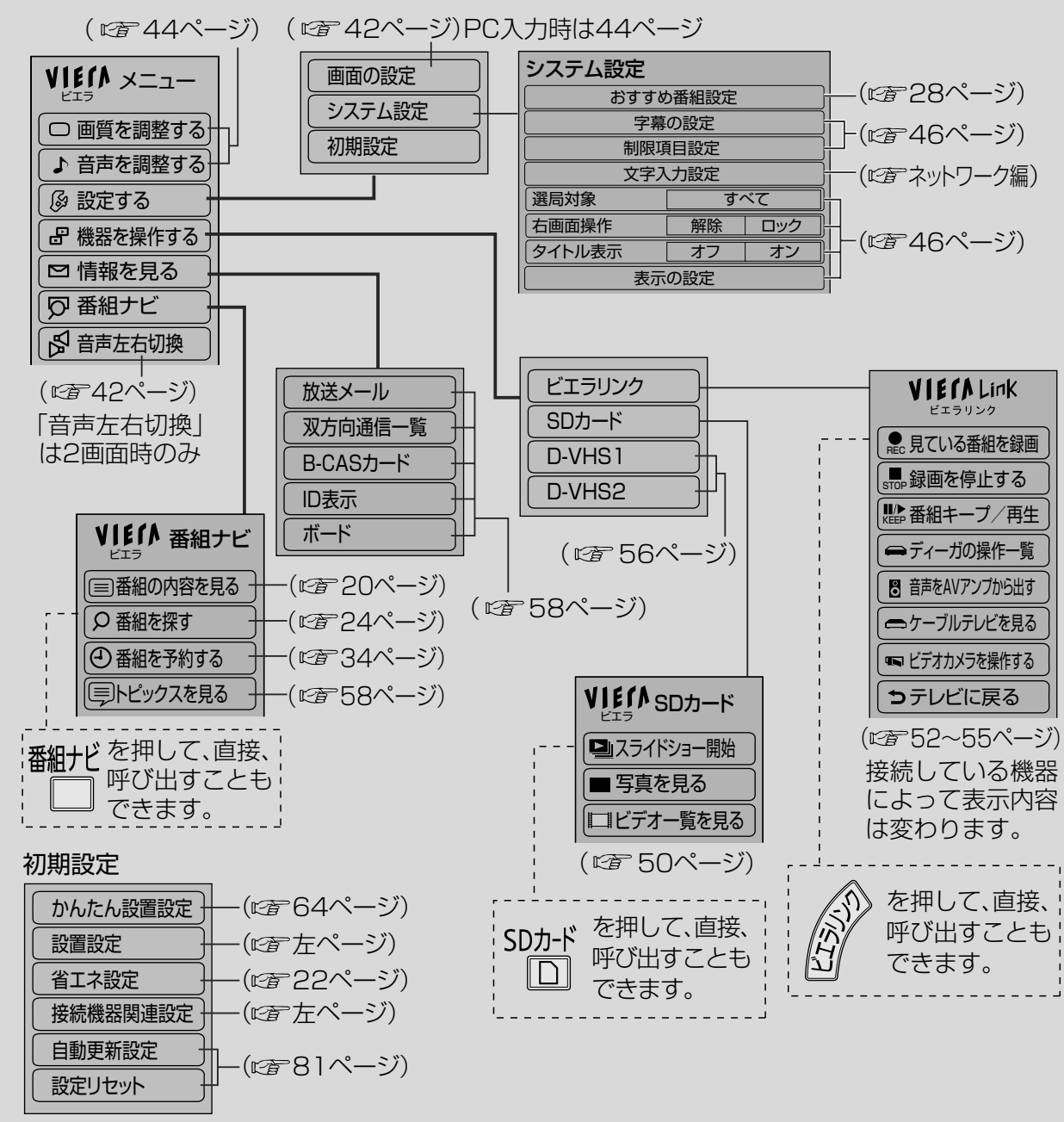
4 設定したい項目を選び、「決定」を押す（または◀▶で設定する）

■「設置設定」画面

■「接続機器関連設定」画面

接続機器関連設定 1/2	
ビエラリンク(HDMI)設定	（☞88ページ）
i.LINK接続設定	（☞97ページ）
Irシステム設定	（☞92ページ）
ビデオ入力接続設定	（☞84,97ページ）
ビデオ入力表示書換	（☞95ページ）
デジタル音声出力設定	（☞101ページ）
i.LINK待機 する しない	（☞97ページ）
デジタル音声予約録画連動 する しない	（☞100ページ）

接続機器関連設定 2/2	
モニター出力停止設定	（☞95ページ）
入力自動スキップ オフ オン	（☞99ページ）
PCスキップ オフ オン	（☞93ページ）
HDMI1スキップ オフ オン	（☞84ページ）
HDMI2スキップ オフ オン	（☞84ページ）
HDMI3スキップ オフ オン	（☞84ページ）
HDMI4スキップ オフ オン	（☞84ページ）
i.LINK自動切換 する しない	（☞97ページ）

以降の操作（手順**5**～）は、各ページをご覧ください。

73ページの手順5へ、つづく

地上アナログ放送のチャンネル修正

- 引越しなどで放送局を設定したいときは、左ページの手順**3**で「かんたん設置設定」を選び、65ページの手順**4**で設定してください。
- チャンネルを修正したいときは、下記の「マニュアル」の手順で、修正してください。（地上デジタル放送の普及で地上アナログ放送の受信状況が変わったときなどは、「オート」の手順で再設定してください。）

チャンネル設定を修正したいとき マニュアル　映りが悪いとき 微調整

72ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

6 「マニュアル」を選び、「決定」を押す

7 修正したい行（リモコン）を選び、「決定」を押す

地上アナログチャンネル設定			
リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

8 66・67ページの手順②③を行う

9 修正が終わったら 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

■リモコン番号ごとに設定した項目（「CH」や「表示」など）を行ごと全て入れ換えたいときは
（1）手順**7**の画面で緑ボタンを押す。
（2）▲▼で入れ換えたい行（リモコン）を選び、「決定」を押す。
（3）▲▼で入れ換え先の行（リモコン）を選び、「決定」を押す。
（4）「戻る」を2回押して、終了する。

■映りが悪いときは（微調整）
（1）手順**7**の画面で、微調整したいチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
（2）◀▶で見やすくなるように調整する。（約10秒間、ボタン操作しないと手順**7**の画面に戻ります。）
（3）「戻る」を押すと、手順**7**の画面に戻ります。

地上アナログ放送の受信状況が変わったとき 受信できる局を自動で探す オート

72ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

6 「オート」を選び、「決定」を押す

オートサーチの画面になり数分程度、乱れた映像になります。

- 「オート」を選ぶとこれまでの設定をリセットし、受信可能な放送局を設定しなおします。
※別途、放送局名の設定が必要です。（☞67ページ）

7 内容を確認する

地上アナログチャンネル設定			
リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	―
2	14	14	―
3	3	3	―
4	4	4	―

8 確認したら 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送の チャンネル修正／受信対象設定／お好み設定

●BS、CS1、CS2は工場出荷時に設定されますが、お好みに合わせて変更することもできます。
●よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンや、お好み選局に登録すると便利です。
●チャンネル設定のリモコン1～12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1～12で選局できます。また、お好み選局の1ページ目に表示します。（同様にリモコン13～24はお好み選局の2ページ目、リモコン25～36は3ページ目に表示します）

リモコンのボタンに割り当てられた 衛星デジタルのチャンネルを変える　チャンネル設定（デジタル放送）　（BS・CS1・CS2）

72ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で、「BS」または「CS1」または「CS2」を選び、「決定」を押す

6 「変えたい」行（リモコン番号）を選び、「決定」を押す

BSチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ
5	151	BS朝日	テレビ
6	161	BS-iテレビ	テレビ
7	171	BSジャパン	テレビ

7 「CH」のチャンネル番号を変えて、「戻る」を押す

戻る

●リモコンの13～36に設定したチャンネルは、お好み選局表に登録され、その表から選局できます。
●選局対象（☞ 46ページ）を「お好み」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

（終わったら 元の画面 を押す）

使わない放送を操作できないようにする　受信対象設定　（地上アナログ BS・CS）

※テレビ本体とリモコンの両方で設定が必要です。

72ページの手順1～4で「受信対象設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信対象設定

5 テレビ本体の設定
受信しない放送を選び、「使わない」に設定する

受信対象設定

地上アナログ	使う	使わない
BS	使う	使わない
CS	使う	使わない

●「使わない」に設定した放送は、放送切換ボタンで、その放送を選べません。

（テレビ本体の設定が終わったら 元の画面 を押す）

6 リモコンの設定
リモコンの「電源」と放送切換ボタン、順送り選局ボタンの下側を同時に約3秒間押す

電源 ＋ アナログ BS CS ＋ チャンネル∨
使わない放送のボタンを選ぶ

●リモコンの設定が完了すると、リモコンの放送切換ボタンが3回点滅します。
●この操作を行うと、設定した放送へのリモコンを使った放送切換や、選局の操作ができなくなります。
●設定を解除するときは、∨の代わりに∧を押してください。

お好み選局 でお好みのチャンネルを登録するとき　チャンネル設定（お好み設定）　（BS・CS1・CS2 地上デジタル）

1 登録したいチャンネルを受信中に
お好み選局 を3秒間押して「お好み設定」画面にする

2 登録したい場所を選び、「決定」を押す

●受信中のチャンネルが選んだ場所に登録されます。
●登録したチャンネルを削除するとき
→▲▼◀▶で選び 黄 を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定

●地上デジタル放送用UHFアンテナの接続はお済みですか？（☞ 60ページ）

引っ越しなどで受信地域が変わって再設定したいときや、新しく地上デジタル放送をご覧になりたいとき 改めて自動で受信設定する　初期スキャン

放送局とチャンネル番号の組み合わせは（☞ 104ページ）

72ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン
7 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択　東京
8 「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

UHF　全帯域

●通常は「UHF」を選んでください。
（受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します）
（今までの設定はすべてリセットされます）
●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
●10分程度かかり、乱れた映像になることがあります。

9 設定内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3			
4	041	日本テレビ	テレビ

戻る

■修正したいときは（☞ マニュアルの手順7へ）

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル修正

●地上デジタル放送の受信状況が変わったときなどにチャンネル修正をしてください。

地上デジタル放送の受信状況が変わったとき 受信できる局を自動で追加　再スキャン

72ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「再スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン
●10分程度かかり、乱れた映像になることがあります。

●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

7 設定内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3			

戻る

■修正したいときは（☞ マニュアルの手順7へ）

（終わったら 元の画面 を押す）

自動で設定したチャンネル設定を 修正したいとき　マニュアル

72ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「マニュアル」を選び、「決定」を押す

7 修正したいチャンネルを選び、「決定」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3			
4	041	日本テレビ	テレビ

8 修正したいチャンネル番号に変えて、「戻る」を2回押す

戻る
2回押す

■設定した項目（「放送局名」や「CH」など）を他のリモコン番号と入れ換えたいときは（☞ 69ページ手順14の(1)～(4)へ）

（終わったら 元の画面 を押す）

番組表設定／地域設定

●番組表を使うために必要な設定です。
●Gガイド地域設定と地域設定は、「かんたん設置設定」を実行すると自動的に設定されます。
変更が必要な場合のみ設定してください。

番組表設定　お住まいの地域に合った 番組表を表示させる　Gガイド地域設定

72ページの手順1～4で「番組表設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 番組表設定

5 「Gガイド地域設定」を選び、お住まいの地域を選ぶ

●設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。表示されなくなった場合は、かんたん設置設定を最初からやり直してください。（☞64ページ）

お願い
●選んだ地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも番組表に表示されません。Gガイド地域一覧表（☞107ページ）で必ずお確かめください。

（終わったら 元の画面 を押す）

番組表設定　番組表データの受信スケジュールを確認する　Gガイド受信確認

72ページの手順1～4で「番組表設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 番組表設定

5 「Gガイド受信確認」を選び、「決定」を押す

●地上デジタル放送のGガイド受信スケジュールが表示された後、衛星デジタル放送のGガイド受信スケジュールが表示されます。
結果の表示に最大で6分かかります。

●受信スケジュールが表示されないときは（「番組データの受信ができません」と表示）アンテナの接続および上記の設定をご確認ください。

（終わったら 元の画面 を押す）

地域設定　データ放送でお住まいの地域の情報を受信するために 地域を変更する　地域設定

72ページの手順1～4で「地域設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 地域設定

5 「県域設定」を選び、お住まいの地域を選ぶ

お知らせ
●伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
●南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

6 「郵便番号」を選び、「決定」を押す

郵便番号を入力し、「決定」を押す

●間違えたときは➡ 黄 を押す。

7 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

■「県域設定」と「郵便番号」を削除するには
（1）▼で「地域設定削除」を選び、「決定」を押す。
（2）◀で「はい」を選び、「決定」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

受信設定（地上デジタル）

●アンテナを調整するときに受信設定をしてください。

地上デジタルアンテナ（UHF）が個別のとき アンテナのレベルを最大にする　アンテナレベル（地上デジタル）

●共同アンテナのときは不要。

72ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

5 「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「決定」を押す

物理チャンネルについて
●地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13～62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

アンテナレベルについて
●アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
●アンテナレベルは天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって、変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。

7 「物理チャンネル」を入力し、「決定」を押す

例 受信帯域選択が「UHF」の場合

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

●間違えたときは➡ 黄（黄ボタン）を押す。
●CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。例えば、「全帯域」（68、75ページ）を選んで、CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、

緑 2 10 と入力します。

（「C」は、リモコンの 緑（緑ボタン）で入力／削除）

8 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

受信設定(衛星)

●アンテナを調整するときに受信設定をしてください。

衛星アンテナが個別のとき
アンテナのレベルを最大にする

アンテナ電源 / アンテナレベル(衛星)

●共同アンテナのときは不要。

72ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

5 「衛星」を選び、「決定」を押す

6 「アンテナ電源」を選び、「オン」を選ぶ

●「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。(ブースターなどからコンバーターへの電源を供給しているときは「オフ」にしてください。)

7 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

お知らせ

●アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

アンテナレベルについて

●アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。

●アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。

「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

●BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定

●双方向通信を利用した番組を楽しむために必要な設定です。
●電話回線の接続はお済みですか?(☞63ページ)

電話設定　電話回線を設定する

回線設定 / トーン検出

72ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「回線設定」または「トーン検出」を選び、設定する

トーン検出
●通常ご使用のとき→「する」
●受話器を上げても『ツー』音が聞こえないとき→「しない」

回線設定
●電話テストで自動的に選ぶとき→「自動」
●自動でうまく設定できないとき→
- ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合は「プッシュ」
- 出ない場合は「ダイヤル20(20pps)」か「ダイヤル10(10pps)」を選ぶ。

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定　外線使用時に 0発信などが必要な電話のとき

内線設定

72ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「内線設定」を選び、「決定」を押す

0発信の電話のときは「0」を入力し、決定を押す

6 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

●間違えたときは➡ 黄 (黄ボタン)を押す。
●0発信の後、外線につながるまで時間のかかる電話のとき
➡ 青 (青ボタン)を押す。
(画面に「,」を表示。1つで3秒の待ち時間)

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定　電話設定が正しく設定されているか 確認する

電話テスト

72ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「電話テスト」を選び、「決定」を押す

OK	正常終了。
NG	画面の指示に従ってください。
テスト中	テスト中。(最大約3分間かかります)

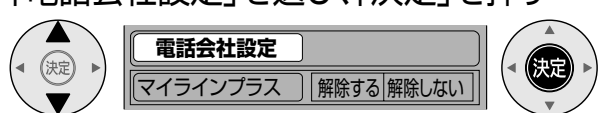
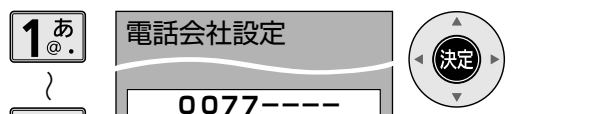
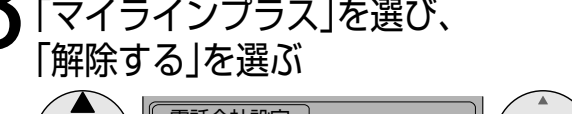
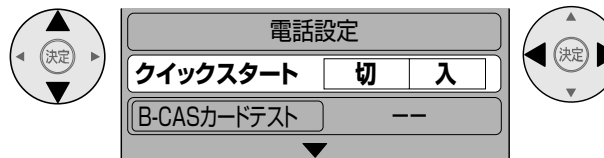
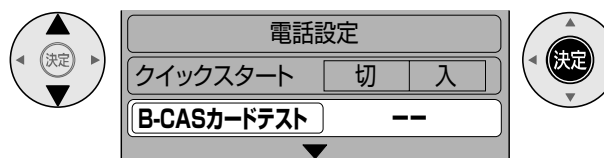
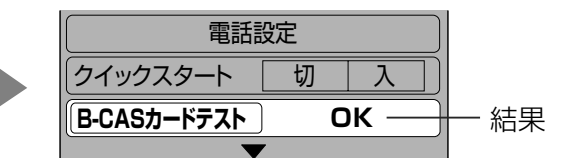
(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定　相手に電話番号を通知するか決める

発信者番号通知

72ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「発信者番号通知」を選び、設定する

通知する	相手に常に通知する。
通知しない	相手に常に通知しない。
指定なし	電話会社との契約に従う。

※この設定が有効になる放送(サービス)は、2008年7月現在ありません。

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定(つづき)

電話設定　本機から電話をかけるときのみ 電話会社を変えたいとき

電話会社設定※　マイラインプラス※

72ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5「電話会社設定」を選び、「決定」を押す

6 電話会社の番号を入力し、「決定」を押す

●間違えたときは ➡ 黄 (黄ボタン)を押す。

7 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

8 マイラインプラスを契約のとき、「マイラインプラス」を選び、「解除する」を選ぶ

電話会社設定
マイラインプラス　解除する　解除しない

※この設定が有効になる放送(サービス)は、2008年7月現在ありません。　(終わったら 元の画面 を押す)

クイックスタート／B-CASカードテスト

電源を入れてからの出画時間を早める　クイックスタート

72ページの手順1～3で「設置設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定

4「クイックスタート」を選び、「入」にする

入	リモコンで電源「切」のとき、出画時間が早くなります。 ●1日以上本機を使用しなかったときは、通常の出画時間となります。
切	通常の出画時間となります。

(終わったら 元の画面 を押す)

B-CASカードの動作を確認する　B-CASカードテスト

※B-CASカードを挿入(☞62ページ)して3秒以上たってから行ってください。

72ページの手順1～3で「設置設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定

4「B-CASカードテスト」を選び、「決定」を押す

●「NG」が出たら、B-CASカードの挿入を確認してください。(☞62ページ)

(終わったら 元の画面 を押す)

自動更新設定／設定リセット

自動更新設定
●デジタル放送で送られる新しい情報のダウンロード方法を選びます。

設定リセット
●本機を初期状態にするための設定です。

自動更新設定　デジタル放送で送られる新しい情報の 放送ダウンロードの方法を選ぶ

ダウンロード予約

72ページの手順1～3で「自動更新設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 自動更新設定

4「自動」または「手動」を選ぶ

自動更新設定
ダウンロード予約　自動　手動

放送ダウンロードについて
●デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

自動	通常は「自動」をおすすめします。 情報が届いた場合は、リモコンで電源「切」時に自動的にダウンロードを実行します。
手動	情報が届いた場合、メールでお知らせします。 ➡ メールを確認し、「ダウンロード予約」を「する」か「しない」を選ぶ。 (☞「放送メール」58ページ)

(終わったら 元の画面 を押す)

設定リセット　アンテナ電源(衛星デジタル)、電話設定の設定値を 工場出荷状態に戻す

設定項目リセット

72ページの手順1～3で「設定リセット」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設定リセット

4「設定項目リセット」を選び、「決定」を押す

5「はい」を選び、「決定」を押す

●「アンテナ電源(衛星デジタル)」「電話設定」の各項目が、工場出荷状態に戻ります。

(終わったら 元の画面 を押す)

設定リセット　本機を廃棄されるときなどに 情報をすべて削除する

個人情報リセット

72ページの手順1～3で「設定リセット」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設定リセット

4「個人情報リセット」を選び、「決定」を押す

設定リセット
設定項目リセット
個人情報リセット

3秒以上押す

5「はい」を選び、「決定」を押す

●本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(アクトビラ有料サービスの購入情報やメール、データ放送のポイント、暗証番号など)が、すべて削除されます。
●本操作後は、本体の電源を「切」にしてください。

(終わったら 元の画面 を押す)

お願い
●廃棄などで本機を手放される以外には、実行しないでください。
●双方向データ放送やアクトビラをご利用の場合、本機からの操作により、放送局やインターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作(退会手続きなど)を行ってください。

いろいろな機器との接続

本体背面

アンテナ

●接続時は（☞60ページ）

BS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

地上アナログ放送用VHF/UHFアンテナ

地上デジタル放送用UHFアンテナ

（右側面扉内）

デジタルカメラ

ビデオカメラ

電源コンセントAC200 V

すべての接続完了後、電源プラグを差し込む

●どれか1台つなげます。

●接続時は（☞98ページ）

HDMI対応機器/ビエラリンク(HDMI)対応機器

●接続時は（☞84～89ページ）

デジタル音声入力付きオーディオ機器

●接続時は（☞100ページ）

パソコン

●接続時は（☞93ページ）

外部機器

ブロードバンドルーター

●接続時は（☞「ネットワーク編」）

i.LINK対応機器の場合

録画機器へ接続

●接続時は（☞96ページ）

D端子付き機器の場合

●接続時は（☞94ページ）

DVDプレーヤーなど

●接続時は（☞98ページ）

D端子がない場合

●接続時は（☞94ページ）

映像/音声出力

外部入力

録画機器

（ビデオデッキ、DVDレコーダーなど）本機からの録画機器用の「モニター出力」は、1組のみ。

アイアール Irシステム対応機器の場合

●接続時は（☞91ページ）

HDMI対応機器/ビエラリンク(HDMI)対応機器

●接続時は（☞84～89ページ）

通信端末用アース端子※

電話回線

視聴者参加番組を楽しみたいとき

接続時は（☞63ページ）

モジュラー分配器（別売品）

ご家庭の電話機またはファクスへ

パソコン入力

※通信の安定性向上のため、市販のアース線を使用して本機のアース端子を接続することをおすすめします。（本アース端子は、電気通信事業法に基づくものです。）

お願い 接続機器の接続・ご使用方法については、接続される機器側の取扱説明書もご確認ください。

録画・再生機器の接続の前に

接続のご注意

●本機への入力接続について

アナログビデオ入力は3種類あります。一般的に画質の優れている順番は下記の通りです。
お使いの状況に合わせてお選びください。

高画質

ビデオ入力端子 ▶ S2映像入力端子 ▶ D端子（D4映像入力端子）

●本機からのモニター出力について

- 地上アナログ放送は、本機のS2映像出力端子からは、出力されません。地上アナログ放送を録画される場合は、本機のS2映像出力端子を録画機器に接続しないでください。
- コピーガードがかかっている番組の映像を本機の映像出力端子から出力し、録画機器を経由して他の録画機器およびテレビを接続した場合、正常に録画・視聴できないことがあります。

●ハイビジョン放送の録画について

i.LINKをご使用時にのみハイビジョン画質で録画が可能になります。その他の場合は、地上アナログ放送と同程度の画質で録画されます。

接続コード（別売品）

●接続コードは本機の接続端子と接続機器の間の長さを考え、長さに余裕があるものをお選びください。

例：別売のAVラックを本機右側に置いて使用する際には約4 m必要です。

●映像／音声コード（長さ5 m）

品番：RP-CVP3G50

●ステレオ音声コード（長さ5 m）

品番：RP-CAP3G50

●映像コード（長さ5 m）

品番：RP-CVP0G50

●D端子映像コード（長さ5 m）

品番：RP-CVDG50A

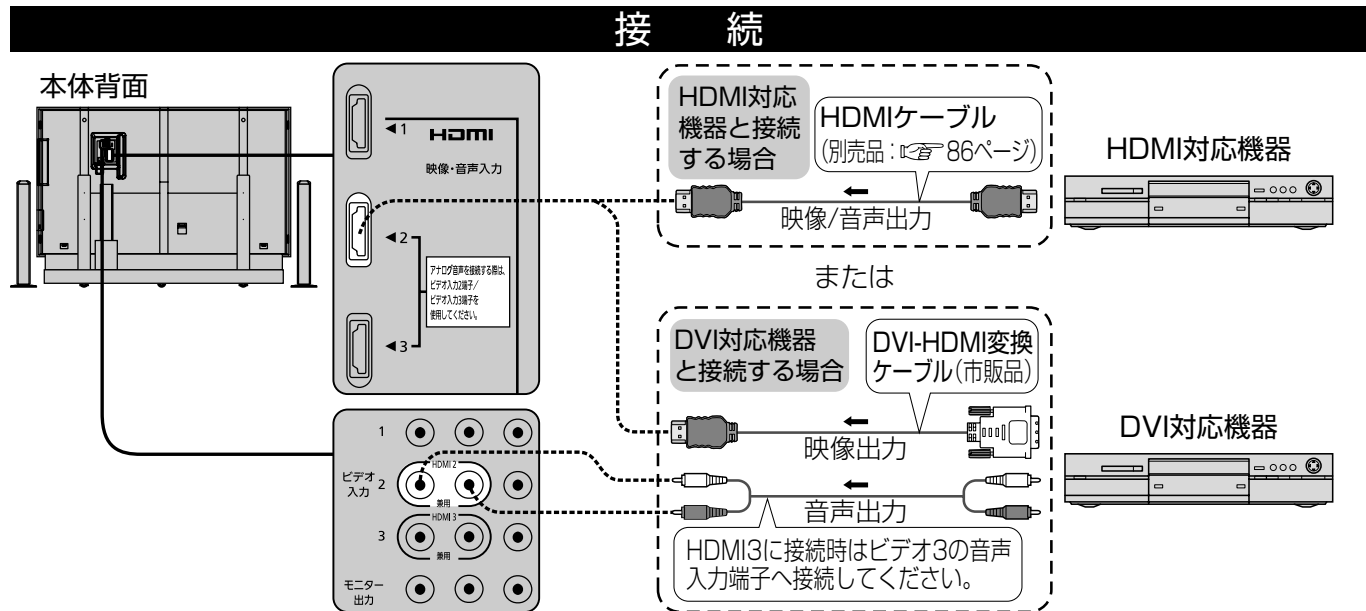
●S映像コード（長さ5 m）

品番：RP-CVS0G50

●HDMIケーブル（☞86ページ）

HDMI対応機器の接続と設定

●➡は、信号の流れを示します。

接　続

■HDMI端子
●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。
●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。
アナログ音声をお使いになる場合、HDMI2に接続時はビデオ入力2の音声入力端子、HDMI3に接続時はビデオ入力3の音声入力端子に、HDMI4に接続時はビデオ入力4の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」が必要です。
●対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p(24 Hz/59.94 Hz/60 Hz)
●対応している音声信号
種類：リニアPCM、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

お知らせ

●本機はHDMIおよびDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
●HDMI1端子では、アナログ音声を使用できません。
●HDMI4端子(本体右側面)にHDMI機器を接続しているとき、本機の入力をHDMI4以外に切り換えると、HDMI接続機器が正常に動作しなくなることがあります。この場合は、入力をHDMI4にすると直ります。

お願い

●HDMIケーブルは、HDMIロゴのついているケーブルをご使用ください。
●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、アナログ音声端子に音声コードを接続してください。

HDMI対応機器と接続したとき　HDMI音声入力設定

72ページの手順1～4で「ビデオ入力接続設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ ビデオ入力接続設定

5 設定したいHDMI入力を選び、設定する

HDMI2 音声入力設定	HDMI
HDMI3 音声入力設定	HDMI
HDMI4 音声入力設定	HDMI

HDMI …HDMI対応機器に接続するとき
(工場出荷時)
アナログ …DVI対応機器に接続するとき
●HDMI1端子はHDMI音声入力設定ができません。
(終わったら 元の画面 を押す)

入力切換ボタンを押したとき HDMI入力を飛ばす　HDMIスキップ

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 設定したいHDMI入力を選び、「オン」を選ぶ

PCスキップ	オフ	オン
HDMI1 スキップ	オフ	オン
HDMI2 スキップ	オフ	オン
HDMI3 スキップ	オフ	オン
HDMI4 スキップ	オフ	オン

オン … 入力切換 を押しても、HDMI入力には切り換わりません。
オフ … 入力切換 を数回押してHDMI入力を選択できます。
(工場出荷時)
(終わったら 元の画面 を押す)

ビエラリンク(HDMI)について

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

●本機とHDMI ケーブル(別売品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコンで簡単に操作できる機能です。
※すべての操作ができるものではありません。
●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
●ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その取扱説明書をご確認ください。
●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応しています。ビエラリンク(HDMI)Ver.3とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2007年12月現在)

接続／設定方法は☞86～89ページ

ビエラリンク(HDMI)の簡単操作とは…

●本機のリモコン１つでレコーダー(ディーガ)の操作ができます。
●簡単再生(画面をレコーダー(ディーガ)に切り換え、再生します)
●レコーダー(ディーガ)のメニューの操作
●今見ている番組を簡単録画
●本機の番組表から録画予約
●本機の電源を「切」にするとレコーダー(ディーガ)やAVアンプの電源も連動して「切」にできます。
●本機のリモコンでAVアンプの音声に切り換え、音量調整ができます。
●AVアンプのリモコンで簡単シアター再生ができます。
(ワンタッチでレコーダー(ディーガ)の映像、AVアンプの音声に切り換え、再生します)

詳しい操作方法は☞52～55ページ

ご使用の際のご注意点

●電源オフ連動を「する」に設定しても録画中など、接続機器の状態によっては、すべての機器の電源が「切」にならない場合があります。
●電源オン連動を「する」に設定時は、リモコンで本機の電源を「切」にするとテレビ本体の電源ランプは橙色になります。これは、電源オン連動の機能が待機状態であることを示すためで、消費電力は電源ランプが赤色のときとほとんど変わりません。
(回線使用中／データ取得中ランプ点灯時は除く)
●ビエラリンク(HDMI)が正しく動作しなかった場合は、下記をご覧ください。

ビエラリンク(HDMI)に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、**HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認の上**、下記の操作をしてください。

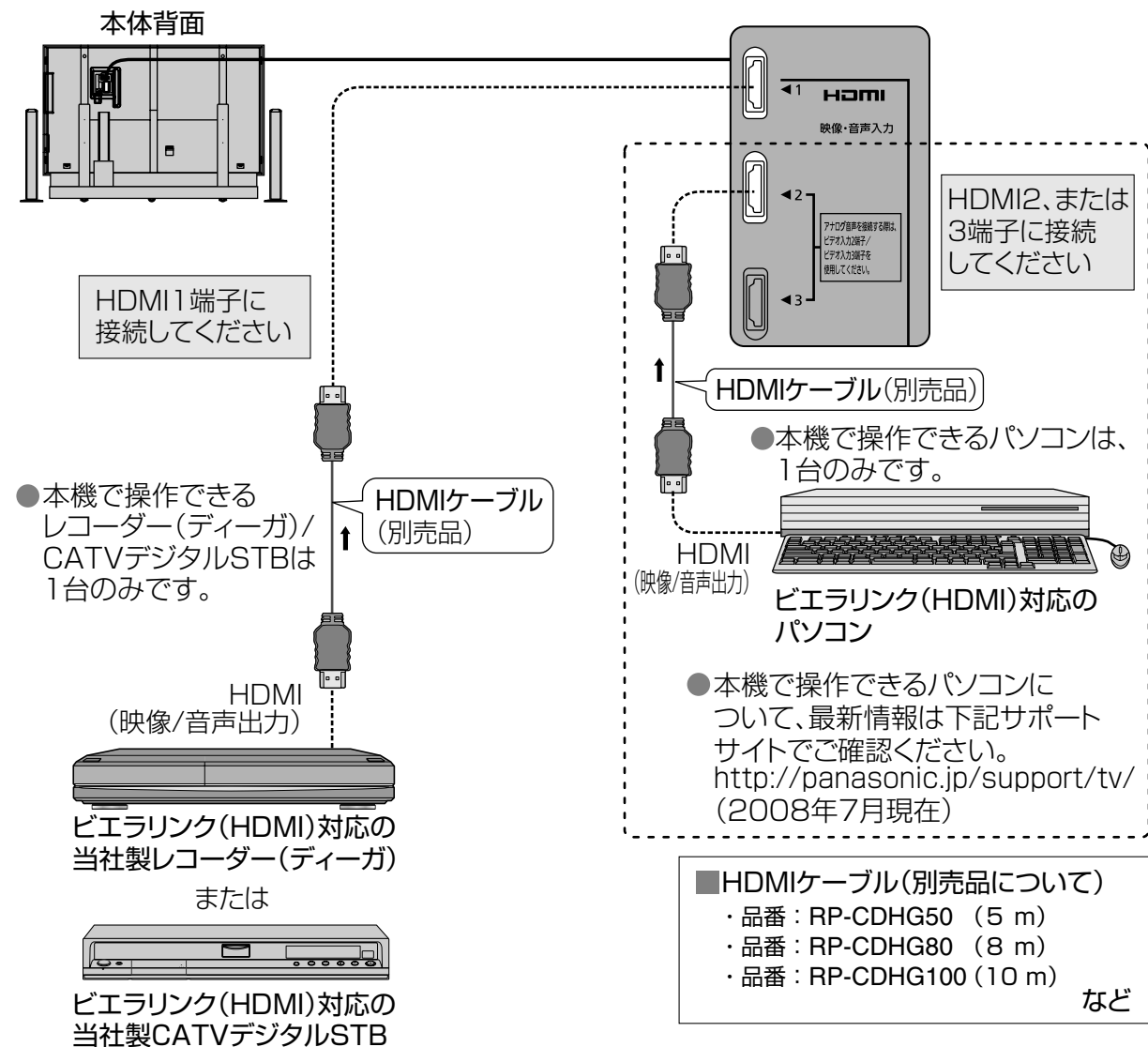
①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す。
② 入力切換 を押して入力を切り換え(☞20ページ)、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する。
③52～55ページの手順で機器が操作できることを確認する。

ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続

レコーダー(ディーガ)、CATVデジタルSTB、AVアンプ、パソコン

■本機とレコーダー(ディーガ)または CATVデジタルSTB、パソコンを接続する場合

■HDMIケーブル(別売品について)
- 品番:RP-CDHG50 (5 m)
- 品番:RP-CDHG80 (8 m)
- 品番:RP-CDHG100 (10 m)

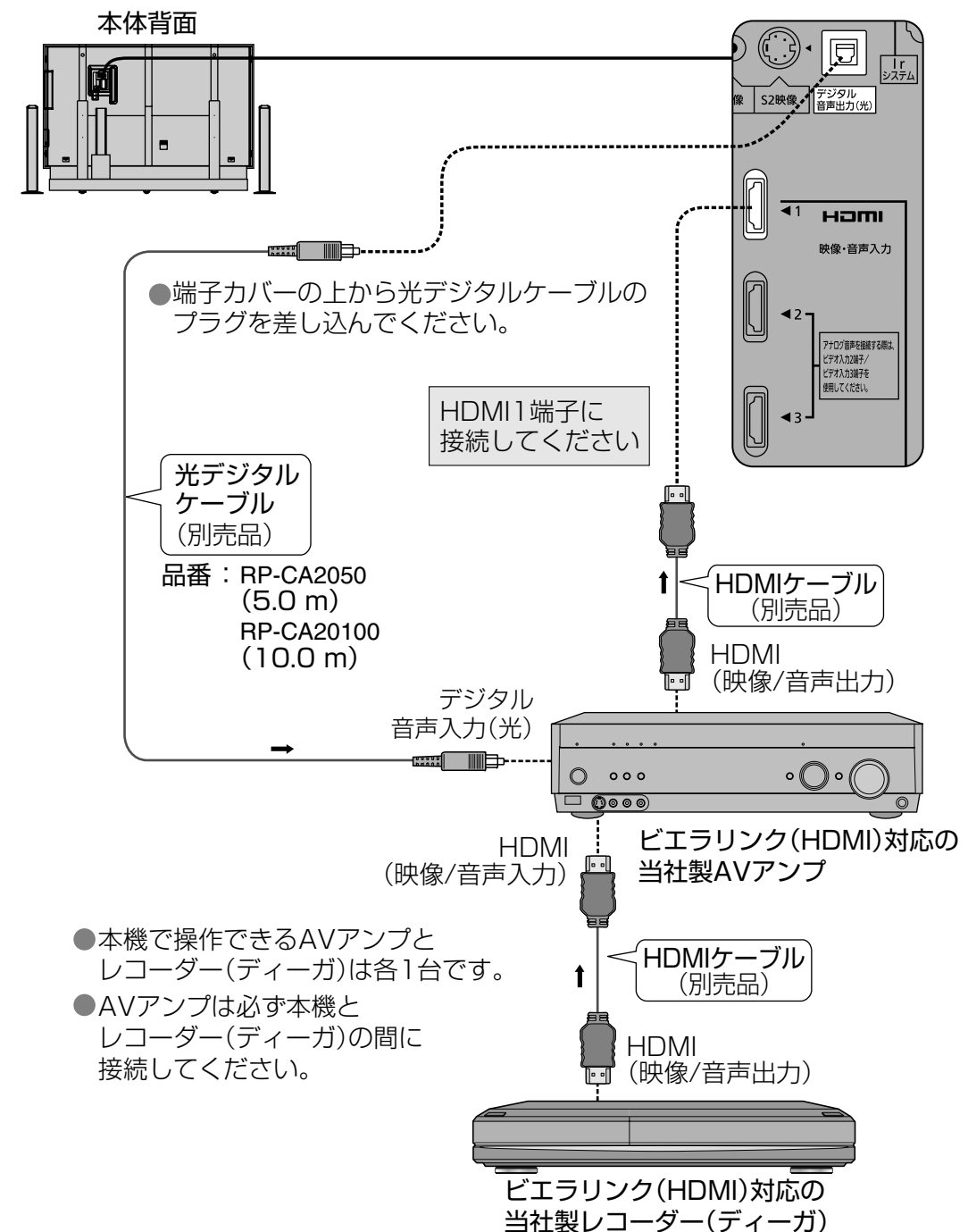
など

接続後の本機の設定(☞88ページ)

●上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定してください。
●レコーダー(ディーガ)や、CATVデジタルSTBを操作したときに連動して本機の電源を「入」にしたいときは「電源オン連動」を「する」にしてください。

お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)対応機器を最初に接続したときは、[入力切換]を押して接続したHDMI入力に切り換えてください。
●当社製HDMIケーブルを推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したレコーダー(ディーガ)側、CATVデジタルSTB側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器 [レコーダー(ディーガ)など] を何台か接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器がビエラリンク(HDMI)の操作対象になります。

●➡は、信号の流れを示します。

■本機とレコーダー(ディーガ)とAVアンプを接続する場合

接続後の本機の設定(☞88ページ)

●上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」と「電源オン連動」を「する」に設定してください。

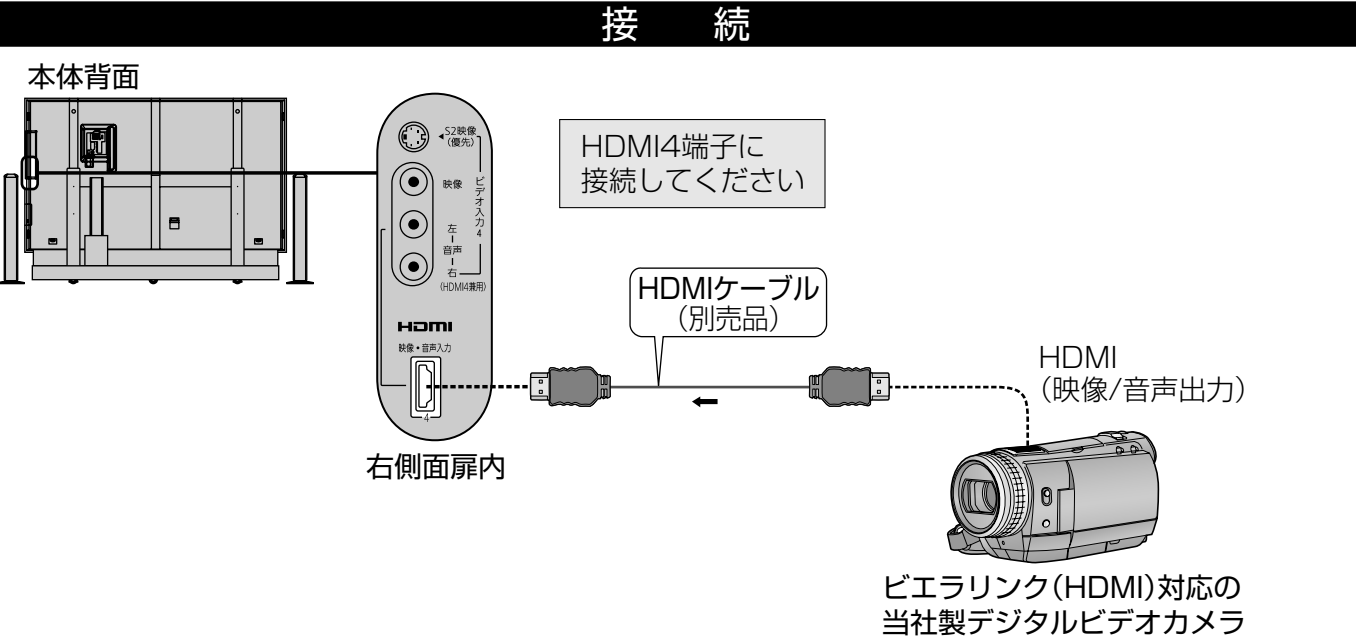
お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したAVアンプ側とレコーダー(ディーガ)側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●ビエラリンク(HDMI)で本機とAVアンプを接続時、ビエラリンク(HDMI)で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル光音声出力端子より、5.1chで出力します。
(レコーダー(ディーガ)はビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応している機種のみ対応)

ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続 ／ビエラリンク(HDMI)の設定

デジタルビデオカメラ

接　続

ビエラリンク(HDMI)対応の
当社製デジタルビデオカメラ

接続後の本機の設定

- 上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定してください。
- デジタルビデオカメラを操作したときに連動して本機の電源を「入」にしたいときは「電源オン連動」を「する」にしてください。

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)対応機器を最初に接続したときは、入力切換を押して接続したHDMI入力に切り換えてください。
- 当社製デジタルビデオカメラを接続するHDMIケーブルについては、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したデジタルビデオカメラ側の設定も必要です。
詳しくは、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

ビエラリンク(HDMI)制御を有効にする　ビエラリンク(HDMI)制御

72ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定
ビエラリンク(HDMI)制御　する　しない
電源オフ連動　する　しない

する (工場出荷時) … ビエラリンク(HDMI)を使うとき
しない … 使わないとき

(終わったら 元の画面 を押す)

本機の電源を「切」にしたとき
レコーダー(ディーガ)やAVアンプの電源も「切」にする　電源オフ連動

72ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「電源オフ連動」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定
ビエラリンク(HDMI)制御　する　しない
電源オフ連動　する　しない

する (工場出荷時) … 本機の電源オフに連動して レコーダー(ディーガ)や AVアンプの電源も「切」させる
しない … 連動させないとき

(終わったら 元の画面 を押す)

本機の電源が「切」のとき
ビエラリンク(HDMI)の制御信号で電源を「入」にする　電源オン連動

72ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「電源オン連動」を選び、「する」を選ぶ

電源オフ連動　する　しない
電源オン連動　する　しない
電源オン時の音声出力　テレビ　AVアンプ

する … 本機の電源が「切」のときでもレコーダー(ディーガ)やAVアンプの操作に連動して本機の電源を「入」させるとき
しない (工場出荷時) … 連動させないとき

(終わったら 元の画面 を押す)

本機の電源を「入」にしたとき
AVアンプに音声を出力する　電源オン時の音声出力

72ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「電源オン時の音声出力」を選び、「AVアンプ」を選ぶ

電源オフ連動　する　しない
電源オン連動　する　しない
電源オン時の音声出力　テレビ　AVアンプ

テレビ (工場出荷時) … 本機の電源を「入」にしたとき、音声をテレビから出力する
AVアンプ … 本機の電源を「入」にしたとき、音声をAVアンプに出力する

(終わったら 元の画面 を押す)

本機の電源を「入」にしたとき
CATVデジタルSTBの電源も「入」にする　ケーブルテレビ電源オン連動

72ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ケーブルテレビ電源オン連動」を選び、「する」を選ぶ

ケーブルテレビ電源オン連動　する　しない
テスト(ディーガ電源オン)
テスト(ディーガ電源オフ)

する … 本機の電源を「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源も「入」にする
●ケーブルテレビを主にお使いの場合におすすめします。
しない (工場出荷時) … 連動させないとき

(終わったら 元の画面 を押す)

接続したレコーダー(ディーガ)の
動作を確認する　テスト(ディーガ電源オン)　テスト(ディーガ電源オフ)

72ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「テスト(ディーガ電源オン)」または「テスト(ディーガ電源オフ)」を選び、「決定」を押す

レコーダー(ディーガ)の電源が「入」または「切」すれば、正常です。※動作しない場合は、接続をご確認ください。

(終わったら 元の画面 を押す)

本機のビエラリンク(HDMI)バージョンを確認する　ビエラリンク(HDMI)バージョン表示

72ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 ビエラリンク(HDMI)のバージョンを確認する

テスト(ディーガ電源オン)
テスト(ディーガ電源オフ)
バージョン　ビエラリンク(HDMI)Ver.3

●本機のビエラリンク(HDMI)のバージョン情報を表示します。

(終わったら 元の画面 を押す)

便利な録画予約をするために(Irシステム)

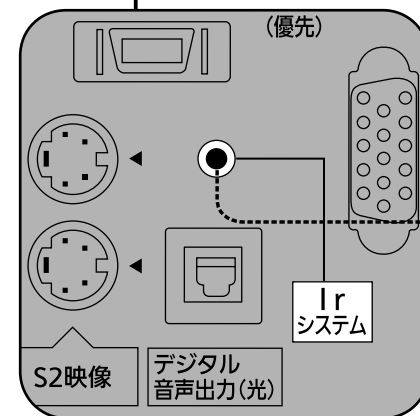
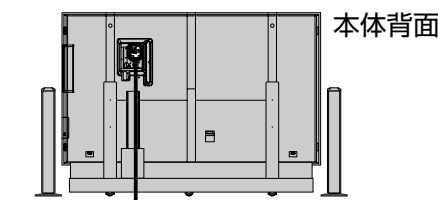
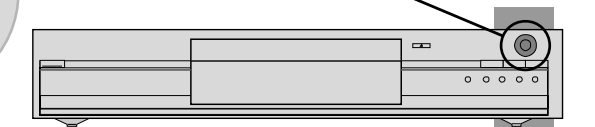
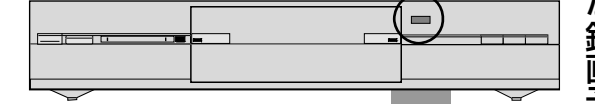
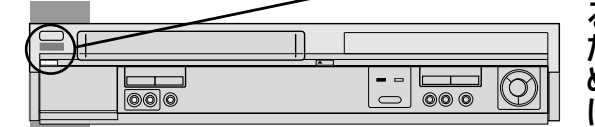
便利なIrシステムのしくみについて

Irシステムを使うと

※録画時間やチャンネルなどの基本以外の設定はDVDレコーダー(またはビデオデッキ)側で設定が必要です。(HDD付きDVDレコーダーでの、DVDとHDDの切り換えなど)

「番組タイトル情報」について

- 当社製のDVDレコーダーで録画予約を行うと録画予約情報の他に番組タイトルの情報が送られます。(番組表で番組タイトルが取得できていない場合は送られません)
  〈対応機種〉
  当社製DVDレコーダー(含むHDD／ビデオ複合機)の機種すべて。
  ただし、2002年以前に発売されたレコーダーおよび以下の機種については、Irシステムでの番組タイトル受け付けはできません。(2008年7月現在)
  ・DMR-E90H(2003年モデル)
- 番組タイトルが、正しく表示されないときは(☞116ページ)

Irシステムケーブルの接続について

- 貼り付ける個所のゴミやほこりは、しっかり取り除いてください。
- 別売のIrシステムケーブルに付属の両面テープは接着力が強いため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷めることがありますので、ご注意ください。

Irシステムケーブル、Irシステムの延長ケーブルは販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。
Pana Sense http://www.sense.panasonic.co.jp/

Irシステムの設定

(アイアール)

Irシステムで接続した機器を使えるように設定する　Irシステム設定

72ページの手順1～4で「Irシステム設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ Irシステム設定

5 「Irシステム」を選び、「オン」にする

6 「メーカー」を選び、接続した機器のメーカーを選ぶ

Irシステム設定
Irシステム　オフ　オン
メーカー　パナソニック

設定できるメーカー（録画機器）
ビデオデッキ：パナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC
DVDレコーダー：パナソニック、パイオニア、三菱

※一部、使用できない商品もあります。

7 「リモコン種別」を選び、種別を選ぶ

メーカー　パナソニック
リモコン種別　ビデオ1
外部入力　外部入力1

●メーカーによってはリモコン種別が複数あります。手順**9**のテストを実行しても機器が動作しない場合は、他のリモコン種別に切り換えてみてください。

●当社製DVDレコーダーの場合は、「DVDレコーダー1」の設定から、お試しください。

8 「外部入力」を選び、設定する

当社製の録画機器で「タイマー予約」をするときのみ設定してください

※他メーカーの機器では設定できません

→接続したビデオデッキやDVDレコーダー側の外部入力の番号（1、2、3）に合わせる。

9 「テスト」を選び、「決定」を押す

リモコン種別　ビデオ1
外部入力　外部入力1
テスト

●「送信中」と表示され、電源「入」「切」のリモコン信号がくり返し送信されます。
（録画機器の電源が「入」「切」するか、確認する）

■正しく動作したときは
→●「決定」を押して設定終了（くり返し送信が終了）

■録画機器の電源が「入」「切」しないときは
→●Irシステムケーブルの接続、取り付けを確認する。（☞91ページ）
→●リモコン種別を変える。（手順**7**）

（終わったら 元の画面 を押す）

●タイマー予約を行うときは録画機器の時刻とチャンネル設定は、本機に合わせてください。
●「Irシステム設定」を変更する場合は、事前に予約を全て取り消してください。（☞34ページ）
●DVDレコーダーとビデオデッキの複合機の場合、「DVDレコーダー1」に設定すると、ビデオ機能に対してはIrシステムを使っての予約はできません。
※2003年以降発売の当社製DVD／ビデオ／（HDD）複合機すべて
（2008年7月現在）

パソコンの接続と設定

※パソコンは接続例です。
●➡は、信号の流れを示します。

接　続

パソコン
音声出力のあるパソコンの場合
ピンプラグ
パソコンの音声出力端子に合うケーブルで接続（市販品）
市販の変換アダプター（必要なときのみ）
ミニD-sub15Pケーブル（市販品）
本体背面

音声はビデオ入力3の音声端子に接続
※ビデオ入力3に他の機器を接続すると、入力をパソコンに切り換え時、ビデオ入力3に接続している機器の音声が出ますのでご注意ください。

■本機が対応しているパソコン信号（単位：水平周波数 kHz、垂直周波数 Hz）

信号名	表示解像度	水平周波数	垂直周波数	ビデオクロック	信号名	表示解像度	水平周波数	垂直周波数	ビデオクロック
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	25.18	WVGA60	852 × 480	31.44	59.89	33.54
VGA70	640 × 400	31.47	70.07	25.18	XGA60	1024 × 768	48.36	60.00	65.00
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	31.50	XGA70	1024 × 768	56.48	70.07	75.00
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	30.24	XGA75	1024 × 768	60.02	75.03	78.75
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	40.00	XGA85	1024 × 768	68.68	85.00	94.50
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	49.50	MAC21	1152 × 870	68.68	75.06	100.00
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	56.25	SXGA60	1280 ×1024	63.98	60.02	108.00
MAC16	832 × 624	49.73	74.55	57.28	WXGA60	1366 × 768	48.39	60.04	86.71

●一覧表の信号以外の入力信号は画面が映っても適正な状態で映すことができない場合があります。
●WXGA（WVGA）については「PC画面調整」で「入力解像度」の設定が必要です。（☞44ページ）

■本機の画面モードによる表示画素数

画面モードが「ノーマル」のとき	画面モードが「フル」のとき
1440×1080	1920×1080（16：9画面）

●パソコンからの入力信号は、左記の画素数に拡大表示されます。

■パソコン入力端子（ミニD-sub15P）の信号名

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
①	R	⑥	GND（アース）	⑪	GND（アース）
②	G	⑦	GND（アース）	⑫	NC（無接続）
③	B	⑧	GND（アース）	⑬	HD
④	GND（アース）	⑨	NC（無接続）	⑭	VD
⑤	GND（アース）	⑩	GND（アース）	⑮	NC（無接続）

パソコン入力端子のピン配列

お知らせ
●パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
●D-sub15P端子のパソコンと接続する場合は、必要に応じて変換アダプター（市販品）をお使いください。
※パソコンのミニD-sub15P端子がDOS/Vに対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
●MACを接続する場合は、変換アダプター（市販品）の取扱説明書をご覧のうえ接続してください。
●ミニD-sub15Pケーブルは確実に取り付けてください。
●接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。

入力切換ボタンを押したとき PC入力を飛ばす　PCスキップ

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

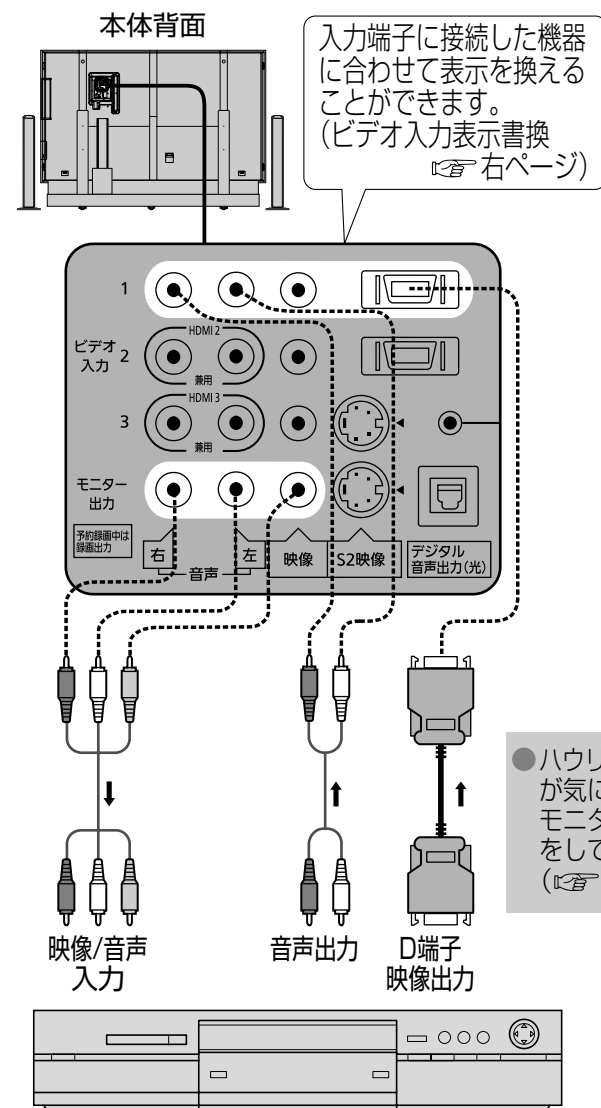
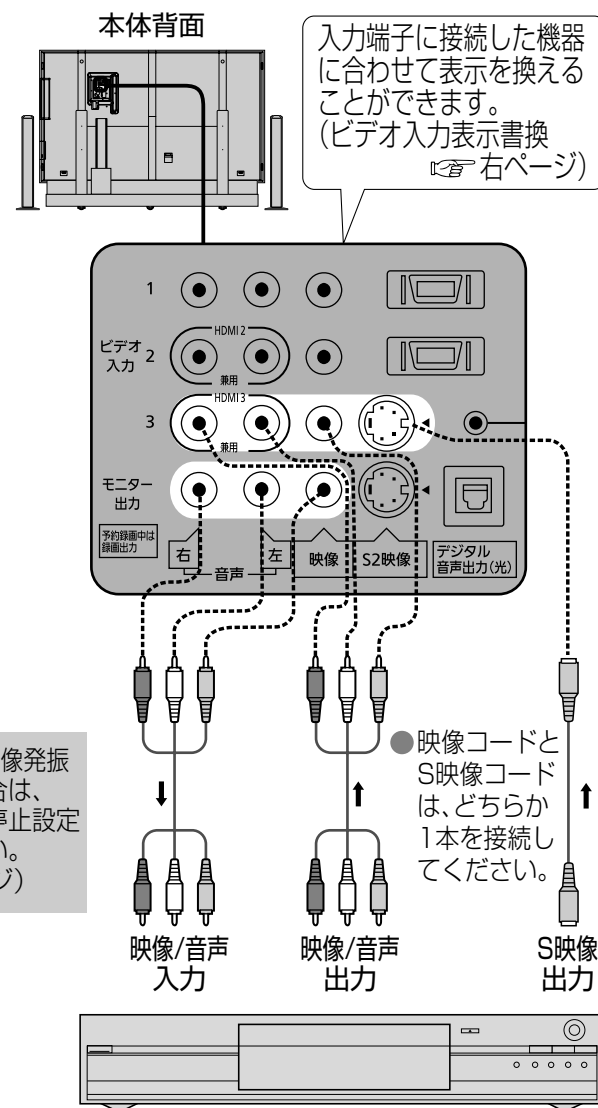
4 「PCスキップ」を選び、「オン」を選ぶ

接続機器関連設定 2/2
モニター出力停止設定
入力自動スキップ　オフ　オン
PCスキップ　オフ　オン
HDMI1スキップ　オフ　オン

オン … 入力切換 を押したときPC（パソコン）には切り換わりません。
オフ（工場出荷時）… 入力切換 を押したときPC（パソコン）へ切り換わります。

（終わったら 元の画面 を押す）

ディーブイディー
DVDレコーダーなどの接続

●➡は、信号の流れを示します。
●接続コードは別売です。(☞83ページ)
●音声コードは必ず接続してください。

例：DVDレコーダー

例：VHSビデオデッキ

■モニター出力端子(1組)
- ●ビデオデッキなどの「映像」と「音声」の入力端子に接続します。
- ●以下の信号を視聴時に出力します。
  - ●本機で受信できる放送(ハイビジョン放送はアナログ放送と同程度の画質になります)
  - ●ビデオ入力に接続した機器の映像、音声
  - ●i.LINK端子に接続した各機器の映像、音声
  - ●D端子に接続した機器の音声(映像信号は出ません)
  - ●HDMI入力に接続した機器の音声(映像信号は出ません)
  - ●SDビデオの映像、音声
- ●デジタル放送の録画予約の実行中は、そのチャンネルの映像、音声を出力します。

お願い

●**S2映像出力端子からは、地上アナログ放送およびビデオ入力の「映像」端子に入力した信号は出力されません。これらを録画される場合は、本機のS2映像出力端子を録画機器に接続しないでください。**(デジタル放送時はID-1信号を重畳したS出力となります)

お知らせ

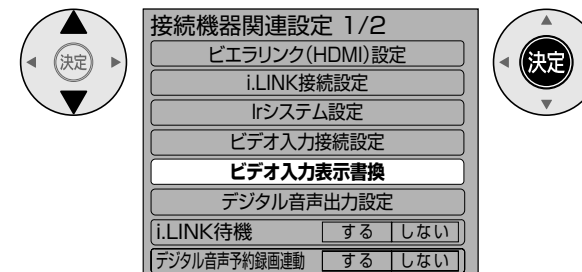
●SDメモリーカードの写真を見ているときは、映像信号は出力されません。
●地上アナログ放送の予約は録画機器側のチューナーで録画されます。
●ハイビジョン放送も地上アナログ放送と同程度の画質で出力されます。
●接続機器にD端子がなく、コンポーネント(色差)端子のみの場合は、別売のD端子-ピン映像コード(☞83ページ)で接続できます。

ビデオ入力表示書換／モニター出力停止設定

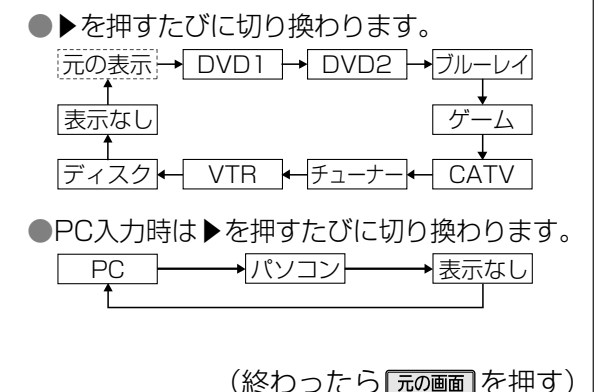
ビデオ入力表示書換

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で「ビデオ入力表示書換」を選び、「決定」を押す

接続機器関連設定 1/2
- ビエラリンク(HDMI)設定
- i.LINK接続設定
- Irシステム設定
- ビデオ入力接続設定
- ビデオ入力表示書換
- デジタル音声出力設定
- i.LINK待機 する しない
- デジタル音声予約録画連動 する しない

5 録画(再生)機器を接続したビデオ入力端子を選び、機器に合わせて表示を選ぶ

ビデオ入力表示書換	
ビデオ1／D端子1	ビデオ1／D端子1
ビデオ2／D端子2	ビデオ2／D端子2
ビデオ3	ビデオ3
ビデオ4	ビデオ4
HDMI1	HDMI1
HDMI2	HDMI2
HDMI3	HDMI3
HDMI4	HDMI4
PC	PC

●▶を押すたびに切り換わります。

(終わったら 元の画面 を押す)

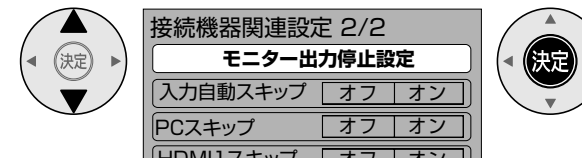
接続した録画機器(☞左ページ)の映像・音声の **モニター出力を停止する** モニター出力停止設定

●ハウリング(ブー音)や映像発振の防止のため

●モニター出力端子については(☞左ページ)

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で「モニター出力停止設定」を選び、「決定」を押す

接続機器関連設定 2/2		
モニター出力停止設定		
入力自動スキップ	オフ	オン
PCスキップ	オフ	オン
HDMI1スキップ	オフ	オン

5 録画機器を接続したビデオ入力端子を選び、「する」を選ぶ

モニター出力停止設定		
ビデオ1／D端子1	する	しない
ビデオ2／D端子2	する	しない
ビデオ3	する	しない
ビデオ4	する	しない
HDMI1	する	しない
HDMI2	する	しない
HDMI3	する	しない
HDMI4	する	しない
i.LINK1	する	しない
i.LINK2	する	しない

(終わったら 元の画面 を押す)

i.LINK対応 D-VHSビデオデッキなど の接続と設定

（アイリンク ディーブイエッチエス）

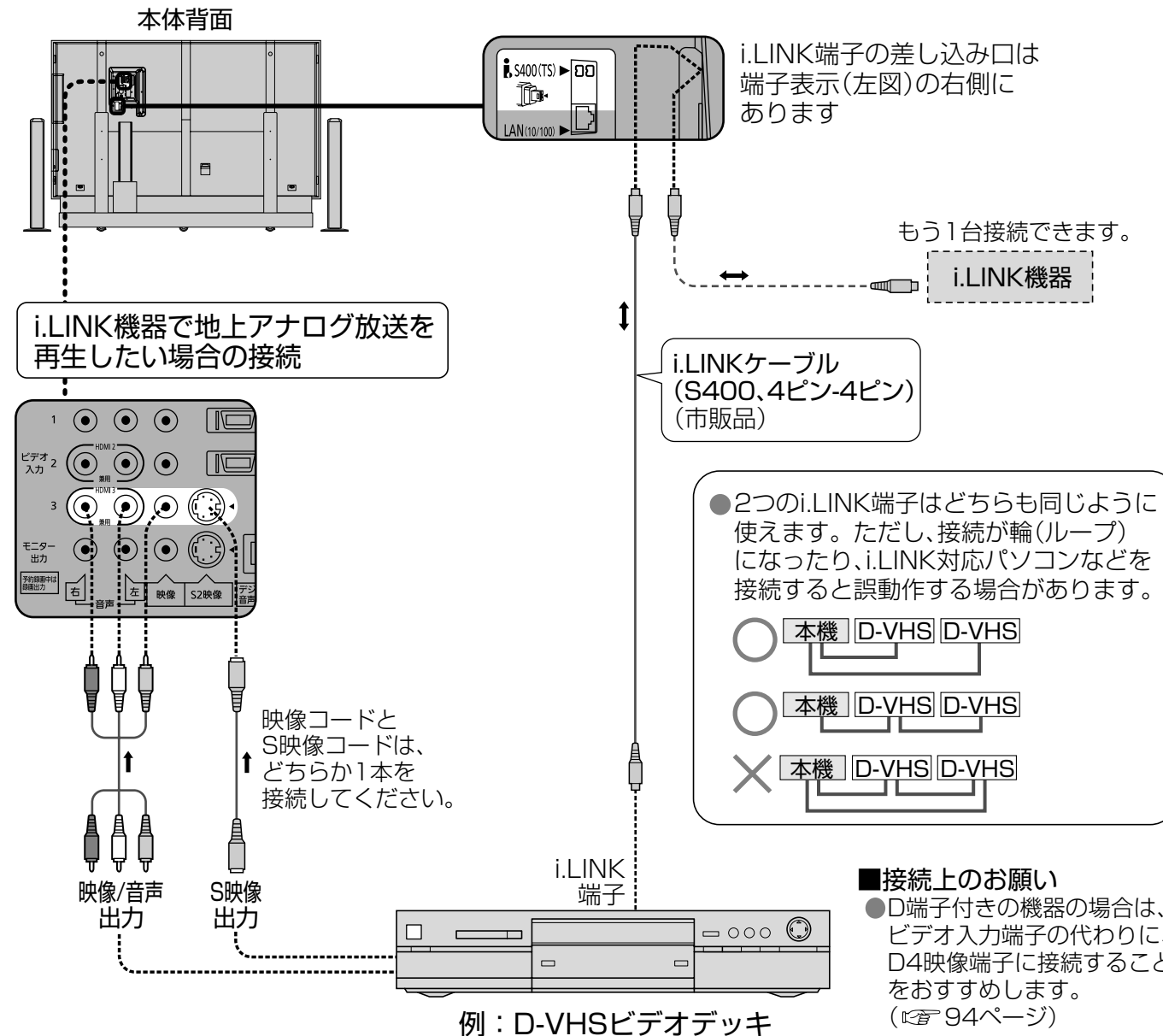
●➡や⟷は、信号の流れを示します。

接 続

■i.LINK端子（2組）

●i.LINKを使うと、1本のケーブルでハイビジョン放送など高画質のデジタル画像や音声信号の入出力ができます。
●本機から、当社製のD-VHSビデオデッキなどを操作できます。（☞56ページ）

例：D-VHSビデオデッキ

■接続上のお願い
●D端子付きの機器の場合は、ビデオ入力端子の代わりに、D4映像端子に接続することをおすすめします。（☞94ページ）

（お知らせ）
●D-VHSなどの設定が必要です。（☞右ページ）
●接続コードは別売です。（☞83ページ）
●使用できる機器
当社製i.LINK（TS）端子付きD-VHSビデオデッキ、HDDレコーダー
・他社製i.LINK機器は動作保証しておりません。
・当社製i.LINK対応レコーダー（ディーガ）（2008年7月現在）はお使いいただけません。

お願い
●本機では、2台までの当社製i.LINK機器を制御できます。録画中は、使用していない機器でも端子の抜き差しや電源の「入」「切」はしないでください。画像の乱れや異常動作の原因になります。
●本機のi.LINK端子からは地上アナログ放送は出力しません。地上アナログ放送を録画予約される場合は、VHF/UHFアンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。

i.LINK接続した機器の状態を 確認、設定する　i.LINK接続設定

72ページの手順1～4で「i.LINK接続設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡i.LINK接続設定

5 使いたい機器（2台まで）の「使用」が「する」になっているか確認する

i.LINK接続設定

	機器	メーカー	機種	接続状態	使用
1	D-VHS1	Panasonic	AVC-123456	オン	する
2	D-VHS2	Panasonic	AVC-12345	未接続	しない
3					

本機に登録された機器名（15台まで登録できます）
接続機器のメーカー名と機種名

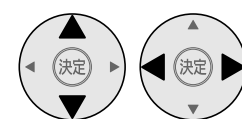
「オン」電源オン
「オフ」電源オフ（本機で操作可能な状態）
「未接続」一度接続したが現在はしていない状態。
「予約」録画予約の待機中。
「不明」本機で操作できない、または「使用」が「しない」になっている。

●「する」「しない」を変えるには
（1）▲▼で機器を選び、「決定」を押す。
（2）「使用する」または「使用しない」を確認し、「決定」を押す。
「する」使用する機器
「しない」使用しない機器
「不可」使用できない機器
●「接続状態」が「未接続」の機器を選んだときは、「削除する」を選び、「決定」を押すと、登録を消すことができます。

（終わったら 元の画面 を押す）

入力切換でi.LINK機器を選ぶだけで デジタルとアナログを自動切換して再生する　ビデオ入力接続設定

72ページの手順1～4で「ビデオ入力接続設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビデオ入力接続設定

5 接続しているビデオ入力端子名を選ぶ

●「i.LINK接続設定」（☞上記）の「使用」を「する」にした機器名を表示。
●左ページの接続例では「ビデオ3」を選ぶ。

（終わったら 元の画面 を押す）

本機のリモコンで電源「切」時も i.LINK信号に応答させたいとき　i.LINK待機

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定

4 「i.LINK待機」を選び、「する」を選ぶ

接続機器関連設定 1／2
- ビエラリンク（HDMI）設定
- i.LINK接続設定
- Irシステム設定
- ビデオ入力接続設定
- ビデオ入力表示書換
- デジタル音声出力設定
- i.LINK待機　する　しない
- デジタル音声予約録画連動　する　しない

しない（工場出荷時）…リモコンで電源「切」時の消費電力を少なくする。
する…電源「切」時に、電源ランプ（☞13ページ）が橙色に点灯。（通常は「しない」をおすすめします）

（終わったら 元の画面 を押す）

i.LINK機器再生時の 入力切換を自動で行わない　i.LINK自動切換

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定

4 「i.LINK自動切換」を選び、「しない」を選ぶ

接続機器関連設定 2／2

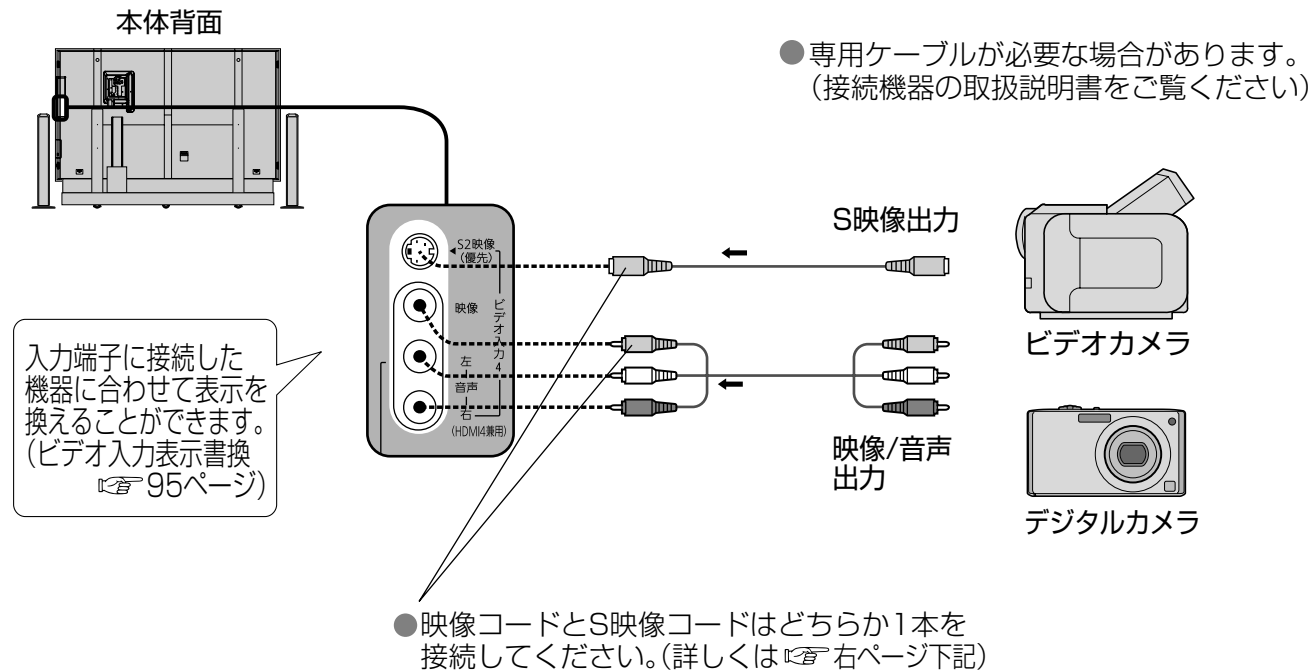
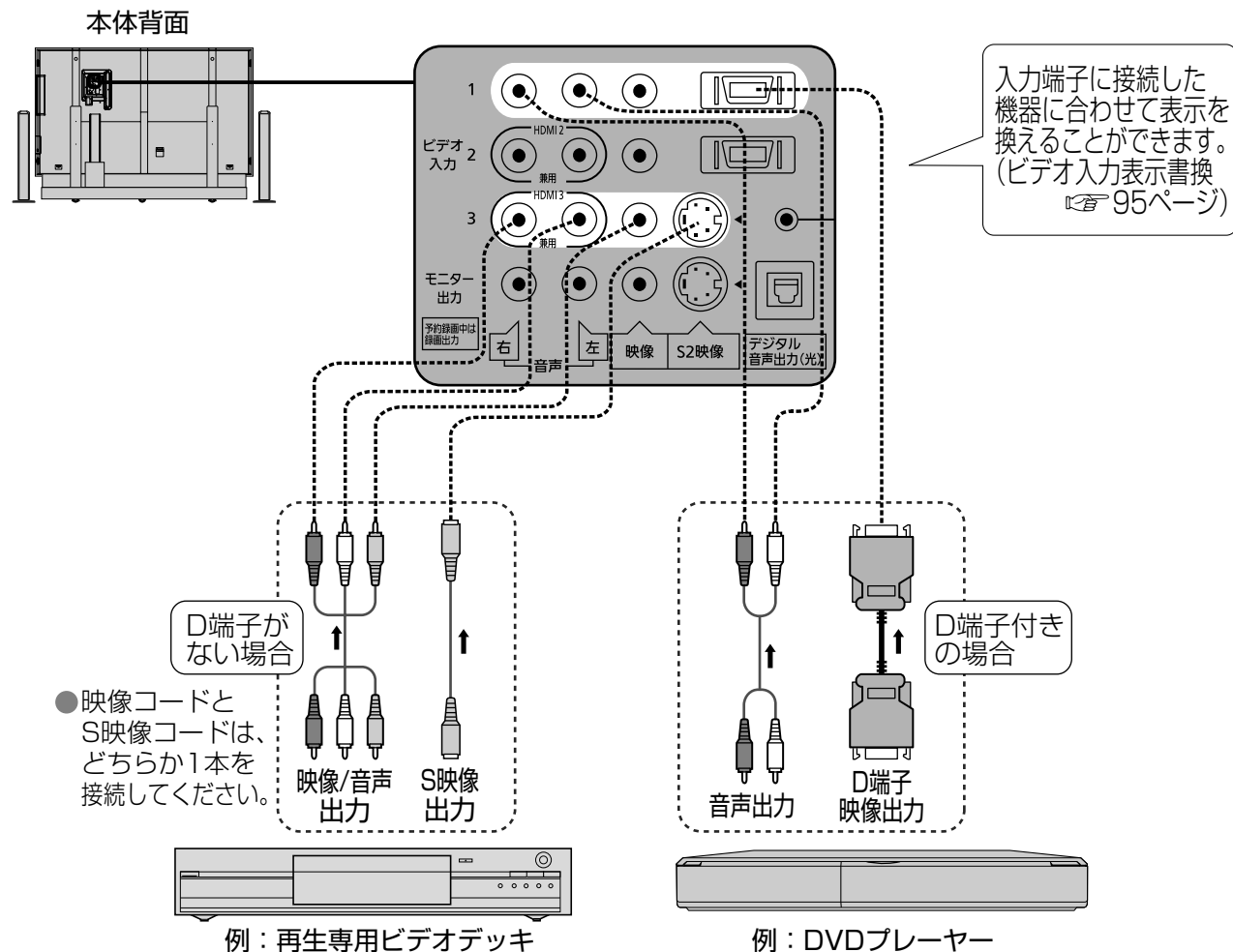
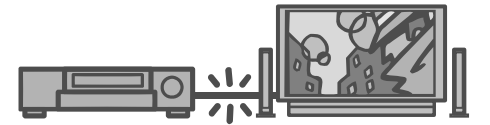
モニター出力停止設定		
入力自動スキップ	オフ	オン
PCスキップ	オフ	オン
HDMI1スキップ	オフ	オン
HDMI2スキップ	オフ	オン
HDMI3スキップ	オフ	オン
HDMI4スキップ	オフ	オン
i.LINK自動切換	する	しない

しない…i.LINK機器の操作で本機の入力切換および再生画面の自動表示を行わない。
する（工場出荷時）…i.LINK機器の再生時に、入力切換を自動的に行い、その再生画面を自動で表示させる。また、「i.LINK待機」が「する」時には、リモコンで電源「切」の場合、自動で電源「入」にして再生表示を行う。

（終わったら 元の画面 を押す）

再生専用機器の接続

●➡は、信号の流れを示します。
●接続コードは別売です。（☞83ページ）
●音声コードは必ず接続してください。

ビデオカメラ、デジタルカメラなどの接続例（右側面扉内）

DVDプレーヤーやビデオなどの接続（例）（背面端子部）

入力自動スキップ

「入力切換」を押したとき **接続のない外部入力を飛ばす**　入力自動スキップ　●PC入力、HDMI入力は除きます。

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で「入力自動スキップ」を選び、「オン」を選ぶ

接続機器関連設定 2/2

モニター出力停止設定		
入力自動スキップ	オフ	オン
PCスキップ	オフ	オン
HDMI1スキップ	オフ	オン
HDMI2スキップ	オフ	オン
HDMI3スキップ	オフ	オン
HDMI4スキップ	オフ	オン
i.LINK自動切換	する	しない

●接続コード類がしっかり差し込まれていないと入力切換が正しく動作しません。

オン … 入力切換 を押したとき、接続のない入力には切り換わりません。

オフ …（工場出荷時） 接続にかかわらず、入力切換 を押すごとに、全ての入力を選択できます。

お知らせ
●接続機器に合った入力切換の表示は、95ページの「ビデオ入力表示書換」で変更ができます。

（終わったら 元の画面 を押す）

■ビデオ入力端子（背面：ビデオ1～3、右側面：ビデオ4）
●ビデオデッキなどの映像と音声の出力端子に接続します。

S2映像入力端子
●「映像」入力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
●再生機器の「S」「S1」「S2」出力端子と接続します。
・S端子　：色のにじみが少ない
・S1端子：Sにワイドテレビ対応を追加
・S2端子：S1にワイドクリアビジョン対応を追加
●「S2映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「S2映像」の画像が優先されます。
●「S2映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

D4映像入力端子
●「S2映像」入力端子よりも、さらに色のにじみが少なく高画質に再生できます。
●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
●ビデオデッキなどの「Y、PB、PR」「Y、CB、CR」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ピンケーブル（RP-CVCDG15：別売品）で接続できます。
●対応している信号：480i、480p、1080i、720p
●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

お知らせ
●ビデオ入力3、4には、「D4映像」入力端子はありません。
●ビデオ入力1、2には、「S2映像」入力端子はありません。
●ビデオ入力端子を同時に接続したときの優先順位は、①D4映像入力 ②S2映像入力 ③映像入力の順となります。

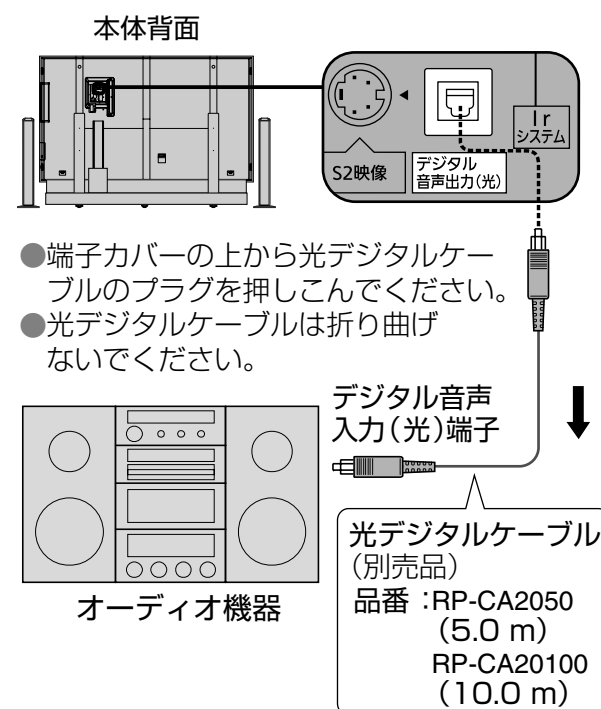
光デジタル ケーブル対応 オーディオ機器の接続と設定

●➡は信号の流れを示します。

接　続

●端子カバーの上から光デジタルケーブルのプラグを押しこんでください。
●光デジタルケーブルは折り曲げないでください。

オーディオ機器

光デジタルケーブル
(別売品)
品番：RP-CA2050 (5.0 m)
RP-CA20100 (10.0 m)

■接続できるオーディオ機器
- ●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーターを内蔵したオーディオ機器。

■デジタル音声出力(光)端子について
- ●デジタル音声出力(光)端子からは、本体スピーカーと同じ音声信号を出力します。(録画予約実行中を除く)
- ●HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。
- ●本機のデジタル音声出力(光)端子は、デジタル放送の信号をそのまま出力していますので、サンプリングレートコンバーターのないオーディオ機器は使用できません。
- ●オーディオ機器の説明書も、よくお読みください。

録画予約でデジタル音声出力(光)端子から録音中に チャンネルを切り換えても確実に録音する

デジタル音声予約録画連動

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「デジタル音声予約録画連動」を選び、「する」を選ぶ

デジタル音声出力設定		
i.LINK待機	する	しない
デジタル音声予約録画連動	する	しない

する　録画予約実行中は、録画番組の音声を出力。
●右ページの「デジタル放送」を「PCM」にしてください。
(「自動」にしていると、3ch以上のステレオ放送ではAAC出力になります)

しない　選局中の番組の音声を出力。
(工場出荷時)

お知らせ

●デジタル放送の番組によっては、録音できない場合があります。

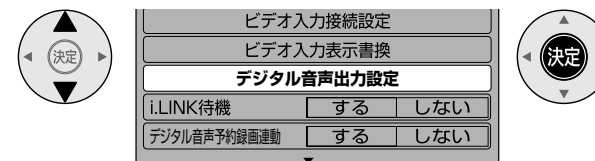
(終わったら 元の画面 を押す)

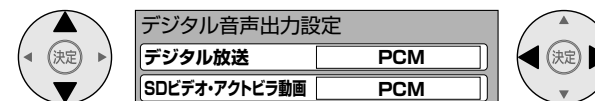
ドルビーデジタル、AAC対応の オーディオ機器を接続したとき

デジタル音声出力設定

72ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「デジタル音声出力設定」を選び、「決定」を押す

ビデオ入力接続設定		
ビデオ入力表示書換		
デジタル音声出力設定		
i.LINK待機	する	しない
デジタル音声予約録画連動	する	しない

5 設定したい項目を選び、「AAC」または「自動」を選ぶ

デジタル音声出力設定	
デジタル放送	PCM
SDビデオ・アクトビラ動画	PCM

デジタル放送…デジタル放送の視聴時に出力する音声を設定したいとき

SDビデオ・アクトビラ動画…SDビデオ再生時、またはアクトビラ動画視聴時に出力する音声を設定したいとき
※「AAC」は設定できません。

設定項目について

●デジタル放送

PCM (工場出荷時)
オーディオ機器がAACフォーマットに対応していないとき。

AAC
AACの番組時は常に「AAC」出力。(AAC以外の番組のときは「PCM」)

自動
サラウンド・ステレオ番組のときのみ自動的に「AAC」出力に切り換える。

●SDビデオ・アクトビラ動画

PCM (工場出荷時)
オーディオ機器がドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき。

自動
SDビデオ・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタル方式で、サラウンド・ステレオで記録した場合に、自動的に「ドルビーデジタル」出力に切り換える。
※ドルビーデジタル、PCM、AACについては(☞123ページ)

お知らせ

- ●「デジタル放送」を「AAC」に設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。「PCM」にするか、モニター出力の音声端子をご使用ください。
- ●地上アナログ放送や、ビデオ入力端子、D端子に接続した機器を視聴中は、設定とは関係なく、常時「PCM」出力します。
- ●AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
- ●ビエラリンク(HDMI)以外のHDMI接続で接続した機器の視聴中は、常時「PCM」出力します。
- ●ビエラリンク(HDMI)で本機とAVアンプを接続した場合、ビエラリンク(HDMI)で接続した機器からの音声が「AAC」のときは、「AAC」で出力します。(ビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応している機器とAVアンプを接続時のみ。)

■予約実行中の音声出力について
- ●デジタル放送の録画予約実行中は、録画中の番組の音声を出力します。
- ●上記の「デジタル放送」を「PCM」にしてください。(「自動」にしていると、3ch以上のステレオ放送ではAAC出力になります)

(終わったら 元の画面 を押す)

地上アナログ放送チャンネル一覧表（市外局番入力）

●チャンネル設定で入力された市外局番は、自動的に以下66地域の中で近い市外局番に変換され、その地域の各放送局が設定されます。例えば大阪府茨木市（072）を入力すると、一覧表の大阪市（06）の内容が自動的に設定されます。※一部の地域は自動変換されない場合があります。

●お住まいの地域の受信チャンネルが表に記載の都市名（市外局番）に一致しない場合は、ふだんご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。

■表の見かた

■リモコンボタン
リモコンのチャンネルボタンの番号

■表示チャンネル
テレビ画面に表示されるチャンネルの番号

■受信チャンネル
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルの番号

（2008年7月現在）

リモコンボタンと受信チャンネル・表示チャンネル・放送局名（1～6）

都道府県	都市	市外局番	1			2			3			4			5			6		
			受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名
北海道	札幌	011	1	1	HBC テレビ				3	3	NHK 総合札幌	17	17	TV 北海道	5	5	STV テレビ			
	旭川	0166				2	2	NHK 教育札幌				33	33	TV 北海道						
	北見	0157				2	2	NHK 教育札幌												
	帯広	0155	34	34	HTB テレビ							4	4	NHK 総合札幌				6	6	HBC テレビ
	釧路	0154				2	2	NHK 教育札幌				29	29	TV 北海道						
	室蘭	0143				2	2	NHK 教育札幌				29	29	TV 北海道						
	函館	0138	21	21	TV 北海道	27	27	UHB テレビ	35	35	HTB テレビ	4	4	NHK 総合札幌				6	6	HBC テレビ
青森	青森	017	1	1	青森放送				3	3	NHK 総合青森				5	5	NHK 教育青森			
	八戸	0178										31	31	青森朝日放送						
岩手	盛岡	019	1	1	東北放送	33	33	めんこいテレビ	35	35	テレビ岩手	4	4	NHK 総合盛岡	31	31	IAT テレビ	6	6	IBC テレビ
宮城	仙台	022	1	1	東北放送				3	3	NHK 総合仙台				5	5	NHK 教育仙台			
秋田	秋田	018				2	2	NHK 教育秋田							31	31	秋田朝日放送			
	大館	0186	1	1	青森放送							4	4	NHK 総合秋田	59	59	秋田朝日放送	6	6	秋田放送
山形	山形	023										4	4	NHK 教育山形	30	30	さくらんぼ	36	36	テレビユー山形
	鶴岡	0235	1	1	山形放送				3	3	NHK 総合山形				24	24	さくらんぼ	6	6	NHK教育山形
福島	福島	024	1	1	東北放送	2	2	NHK 教育福島				31	31	テレビユー福島				33	33	福島中央テレビ
	会津若松	0242	1	1	NHK 総合福島				3	3	NHK 教育福島	47	47	テレビユー福島				6	6	福島テレビ
	いわき	0246				32	32	テレビユー福島				4	4	NHK 総合福島				34	34	福島中央テレビ
茨城	水戸	029	44	1	NHK 総合東京	14	14	MX テレビ	46	3	NHK 教育東京	42	4	日本テレビ	16	16	放送大学	40	6	TBS テレビ
栃木	宇都宮	028	51	1	NHK 総合東京	14	14	MX テレビ	49	3	NHK 教育東京	53	4	日本テレビ	31	31	とちぎテレビ	55	6	TBS テレビ
群馬	前橋	027	52	1	NHK 総合東京	14	14	MX テレビ	50	3	NHK 教育東京	54	4	日本テレビ	48	48	群馬テレビ	56	6	TBS テレビ
埼玉	さいたま	048	1	1	NHK 総合東京	14	14	MX テレビ	3	3	NHK 教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBS テレビ
千葉	千葉	043	1	1	NHK 総合東京	14	14	MX テレビ	3	3	NHK 教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBS テレビ
東京	東京	03	1	1	NHK 総合東京	14	14	MX テレビ	3	3	NHK 教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBS テレビ
神奈川	横浜	045	1	1	NHK 総合東京	14	14	MX テレビ	3	3	NHK 教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBS テレビ
新潟	新潟	025							21	21	新潟テレビ21	29	29	テレビ新潟	5	5	新潟放送			
富山	富山	0764	1	1	北日本放送	6	6	MRO テレビ	3	3	NHK 総合富山	37	37	石川テレビ				32	32	チューリップ
石川	金沢	076	1	1	北日本放送				34	34	富山テレビ	4	4	NHK 総合金沢				6	6	MRO テレビ
福井	福井	0776							3	3	NHK 教育福井							6	6	MRO テレビ
山梨	甲府	055	1	1	NHK 総合甲府				3	3	NHK 教育甲府	4	4	日本テレビ	5	5	山梨放送	37	37	テレビ山梨
長野	長野	026				2	2	NHK 総合長野				20	20	a b n				30	30	テレビ信州
	飯田	0265	44	44	a b n				3	3	NHK 教育長野	4	4	NHK 総合長野				6	6	信越放送
岐阜	岐阜	058	1	1	東海テレビ				39	3	NHK 総合名古屋				5	5	CBC テレビ	25	25	テレビ愛知
静岡	静岡	054				2	2	NHK 教育静岡				31	31	静岡第一テレビ				33	33	あさひテレビ
	浜松	053	1	1	東海テレビ	30	30	静岡第一テレビ				4	4	NHK総合静岡	5	5	CBC テレビ	6	6	静岡放送
愛知	名古屋	052	1	1	東海テレビ				3	3	NHK 総合名古屋				5	5	CBC テレビ	37	37	岐阜テレビ
三重	津	059	1	1	東海テレビ	25	25	テレビ愛知	31	3	NHK 総合名古屋	4	4	毎日放送	5	5	CBC テレビ	6	6	ABC テレビ
滋賀	大津	077				28	28	NHK 総合大阪				36	4	毎日放送				38	6	ABC テレビ
京都	京都	075				32	2	NHK 総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送				6	6	ABC テレビ
大阪	大阪	06				2	2	NHK 総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送				6	6	ABC テレビ
兵庫	神戸	078				28	2	NHK 総合大阪	36	36	サンテレビ	31	4	毎日放送	19	19	テレビ大阪	41	6	ABC テレビ
奈良	奈良	0742				2	2	NHK 総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送	51	51	NHK 総合大阪	6	6	ABC テレビ
和歌山	和歌山	073				32	2	NHK 総合大阪				42	4	毎日放送	30	30	テレビ和歌山	44	6	ABC テレビ
鳥取	鳥取	0857	1	1	日本海テレビ				3	3	NHK 総合鳥取	4	4	NHK教育鳥取						
島根	松江	0852	30	30	日本海テレビ													6	6	NHK総合松江
	浜田	0855				2	2	NHK 総合松江	54	54	日本海テレビ				5	5	山陰放送			
岡山	岡山	086	35	35	OHK テレビ	23	23	テレビせとうち	3	3	NHK 教育岡山				5	5	NHK 総合岡山			
広島	広島	082	31	31	テレビ新広島				3	3	NHK 総合広島	4	4	中国放送						
	福山	084	54	54	テレビ新広島				3	3	NHK 教育広島				5	5	NHK 総合広島			
山口	山口	083	1	1	NHK 教育山口	2	2	KBC テレビ	23	23	TVQ 九州放送	28	28	山口朝日放送	5	5	大分放送			
徳島	徳島	088	1	1	四国放送	19	19	テレビ大阪	3	3	NHK 総合徳島	4	4	毎日放送	55	55	テレビ和歌山	6	6	ABC テレビ
香川	高松	087	19	19	テレビせとうち				39	39	NHK 教育高松	4	4	毎日放送	37	37	NHK 総合高松	6	6	ABC テレビ
愛媛	松山	089	23	23	テレビせとうち	2	2	NHK 教育松山	12	12	広島テレビ	35	35	広島ホーム	31	31	テレビ新広島	6	6	NHK総合松山
	新居浜	0897	23	23	テレビせとうち	2	2	NHK 総合松山	12	12	広島テレビ	4	4	NHK 教育松山	31	31	テレビ新広島	6	6	南海放送
高知	高知	0888										4	4	NHK 総合高知				6	6	NHK教育高知
福岡	福岡	092	1	1	KBC テレビ	36	36	サガテレビ	3	3	NHK 総合福岡	4	4	RKB 毎日放送	19	19	TVQ 九州放送	6	6	NHK教育福岡
	北九州	093				2	2	KBC テレビ	35	35	FBS テレビ	36	36	サガテレビ	23	23	TVQ 九州放送	6	6	NHK総合福岡
佐賀	佐賀	0952	57	57	KBC テレビ	40	40	NHK 教育佐賀	52	52	FBS テレビ	36	36	サガテレビ	14	14	TVQ 九州放送	34	34	テレビ熊本
長崎	長崎	095	1	1	NHK 教育長崎	57	57	KBC テレビ	3	3	NHK 総合長崎	4	4	RKB 毎日放送	5	5	長崎放送	34	34	テレビ熊本
熊本	熊本	096	1	1	KBC テレビ	2	2	NHK 教育熊本	16	16	熊本朝日放送	22	22	KKT テレビ	5	5	長崎放送	34	34	テレビ熊本
大分	大分	097	1	1	KBC テレビ				3	3	NHK 総合大分	4	4	RKB 毎日放送	5	5	大分放送	10	10	南海放送
宮崎	宮崎	0985	1	1	南日本放送				35	35	テレビ宮崎									
	延岡	0982				2	2	NHK 教育宮崎				4	4	NHK 総合宮崎				6	6	宮崎放送
鹿児島	鹿児島	099	1	1	南日本放送	34	34	テレビ熊本	3	3	NHK 総合鹿児島	35	35	テレビ宮崎	5	5	NHK 教育鹿児島	10	10	宮崎放送
	阿久根	0996	17	17	鹿児島読売	34	34	テレビ熊本				23	23	鹿児島放送				35	35	鹿児島テレビ
沖縄	那覇	098	28	28	琉球朝日放送	2	2	NHK 総合沖縄												

リモコンボタンと受信チャンネル・表示チャンネル・放送局名（7～12）

都道府県	都市	市外局番	7			8			9			10			11			12		
			受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名
北海道	札幌	011				27	27	UHB テレビ				35	35	HTB テレビ				12	12	NHK 教育札幌
	旭川	0166	7	7	STVテレビ	37	37	UHB テレビ	9	9	NHK 総合札幌	39	39	HTB テレビ	11	11	HBC テレビ			
	北見	0157	7	7	STVテレビ	59	59	UHB テレビ	9	9	NHK 総合札幌	61	61	HTB テレビ	53	53	HBC テレビ			
	帯広	0155				32	32	UHB テレビ				10	10	STV テレビ				12	12	NHK 教育札幌
	釧路	0154	7	7	STVテレビ	41	41	UHB テレビ	9	9	NHK 総合札幌	39	39	HTB テレビ	11	11	HBC テレビ			
	室蘭	0143	7	7	STVテレビ	37	37	UHB テレビ	9	9	NHK 総合札幌	39	39	HTB テレビ	11	11	HBC テレビ			
	函館	0138										10	10	NHK 教育札幌				12	12	STV テレビ
青森	青森	017				27	27	UHB テレビ				34	34	青森朝日放送	35	35	HTB テレビ	38	38	青森テレビ
	八戸	0178	7	7	NHK教育青森				9	9	NHK 総合青森				11	11	青森放送	33	33	青森テレビ
岩手	盛岡	019	34	34	ミヤギテレビ	8	8	NHK 教育盛岡				32	32	東日本放送				12	12	仙台放送
宮城	仙台	022	32	32	東日本放送				34	34	ミヤギテレビ							12	12	仙台放送
秋田	秋田	018							9	9	NHK 総合秋田				11	11	秋田放送	37	37	秋田テレビ
	大館	0186				8	8	NHK 教育秋田										57	57	秋田テレビ
山形	山形	023				8	8	NHK 総合山形				10	10	山形放送				38	38	山形テレビ
	鶴岡	0235				22	22	テレビユー山形										39	39	山形テレビ
福島	福島	024	32	32	東日本放送	34	34	ミヤギテレビ	9	9	NHK 総合福島	35	35	福島放送	11	11	福島テレビ	12	12	仙台放送
	会津若松	0242	32	32	東日本放送	37	37	福島中央テレビ	34	34	ミヤギテレビ	41	41	福島放送				12	12	仙台放送
	いわき	0246				8	8	福島テレビ				10	10	NHK 教育福島				36	36	福島放送
茨城	水戸	029				38	8	フジテレビ	39	46	チバテレビ	36	10	テレビ朝日				32	12	テレビ東京
栃木	宇都宮	028				57	8	フジテレビ				41	10	テレビ朝日				44	12	テレビ東京
群馬	前橋	027	40	16	放送大学	58	8	フジテレビ	38	38	テ レ 玉	60	10	テレビ朝日				62	12	テレビ東京
埼玉	さいたま	048	38	38	テ レ 玉	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	48	48	群馬テレビ	12	12	テレビ東京
千葉	千葉	043	42	42	t v k	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	38	38	テ レ 玉	12	12	テレビ東京
東京	東京	03	42	42	t v k	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	38	38	テ レ 玉	12	12	テレビ東京
神奈川	横浜	045	42	42	t v k	8	8	フジテレビ				10	10	テレビ朝日				12	12	テレビ東京
新潟	新潟	025				8	8	NHK総合新潟				35	35	新潟総合テレビ				12	12	NHK 教育新潟
富山	富山	0764										10	10	NHK 教育富山				34	34	富山テレビ
石川	金沢	076	25	25	北陸朝日放送	8	8	NHK教育金沢				33	33	テレビ金沢				37	37	石川テレビ
福井	福井	0776							9	9	NHK 総合福井				11	11	福井放送	39	39	福井テレビ
山梨	甲府	055	6	6	TBS テレビ	8	8	フジテレビ				10	10	テレビ朝日				12	12	テレビ東京
長野	長野	026							9	9	NHK 教育長野	38	38	長野放送	11	11	信越放送			
	飯田	0265				42	42	テレビ信州				40	40	長野放送						
岐阜	岐阜	058	37	37	岐阜テレビ	33	33	三重テレビ	9	9	NHK 教育名古屋				11	11	メ～テレ	35	35	中京テレビ
静岡	静岡	054							9	9	NHK 総合静岡				11	11	静岡放送	35	35	テレビ静岡
	浜松	053	25	25	テレビ愛知	8	8	NHK教育静岡				28	28	あさひテレビ				34	34	テレビ静岡
愛知	名古屋	052	35	35	中京テレビ	33	33	三重テレビ	9	9	NHK 教育名古屋				11	11	メ～テレ	25	25	テレビ愛知
三重	津	059	33	33	三重テレビ	8	8	関西テレビ	9	9	NHK 教育名古屋	10	10	読売テレビ	11	11	メ～テレ	35	35	中京テレビ
滋賀	大津	077	34	34	京都テレビ	40	8	関西テレビ	30	30	びわ湖放送	42	10	読売テレビ				46	46	NHK 教育大阪
京都	京都	075	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ				12	12	NHK 教育大阪
大阪	大阪	06	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ				12	12	NHK 教育大阪
兵庫	神戸	078				43	8	関西テレビ				47	10	読売テレビ				45	12	NHK 教育大阪
奈良	奈良	0742	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ	55	55	奈良テレビ	12	12	NHK 教育大阪
和歌山	和歌山	073				46	8	関西テレビ				48	10	読売テレビ				25	12	NHK 教育大阪
鳥取	鳥取	0857										22	22	山陰放送				24	24	山陰中央テレビ
島根	松江	0852				34	34	山陰中央テレビ				10	10	山陰放送				12	12	NHK 教育松江
	浜田	0855				58	58	山陰中央テレビ	9	9	NHK 教育松江									
岡山	岡山	086	25	25	瀬戸内海放送				9	9	西日本放送				11	11	山陽放送			
広島	広島	082	7	7	NHK教育広島				35	35	広島ホーム							12	12	広島テレビ
	福山	084	7	7	中国放送				57	57	広島ホーム				11	11	広島テレビ			
山口	山口	083	38	38	テレビ山口	8	8	RKB 毎日放送	9	9	NHK 総合山口	10	10	テレビ西日本	11	11	山口放送	35	35	FBS テレビ
徳島	徳島	088	36	36	サンテレビ	8	8	関西テレビ				10	10	読売テレビ				38	12	NHK 教育徳島
香川	高松	087	33	33	瀬戸内海放送	8	8	関西テレビ	9	9	西日本放送	10	10	読売テレビ	29	29	山陽放送	31	31	OHK テレビ
愛媛	松山	089	25	25	愛媛朝日テレビ	29	29	あいテレビ	9	9	西日本放送	10	10	南海放送	11	11	山陽放送	37	37	テレビ愛媛
	新居浜	0897	33	33	瀬戸内海放送	27	27	あいテレビ	9	9	西日本放送	14	14	愛媛朝日テレビ	11	11	山陽放送	36	36	テレビ愛媛
高知	高知	0888				8	8	高知放送				38	38	テレビ高知	40	40	高知さんさん			
福岡	福岡	092							9	9	テレビ西日本				11	11	RKK テレビ	37	37	FBS テレビ
	北九州	093				8	8	RKB 毎日放送				10	10	テレビ西日本	11	11	RKK テレビ	12	12	NHK教育福岡
佐賀	佐賀	0952	5	5	長崎放送	48	48	RKB 毎日放送	38	38	NHK総合佐賀	60	60	テレビ西日本	11	11	RKK テレビ	37	37	テレビ長崎
長崎	長崎	095	25	25	長崎国際テレビ	9	9	テレビ西日本	27	27	長崎文化放送	11	11	RKK テレビ	37	37	テレビ長崎	22	22	KKT テレビ
熊本	熊本	096	37	37	テレビ長崎	36	36	サガテレビ	9	9	NHK 総合熊本	19	19	TVQ 九州放送	11	11	RKK テレビ	4	4	RKB 毎日放送
大分	大分	097	36	36	テレビ大分	37	37	FBSテレビ	24	24	大分朝日放送	19	19	TVQ 九州放送	9	9	テレビ西日本	12	12	NHK 教育大分
宮崎	宮崎	0985	32	32	鹿児島放送	8	8	NHK総合宮崎	38	38	鹿児島テレビ	10	10	宮崎放送				12	12	NHK 教育宮崎
	延岡	0982				39	39	テレビ宮崎												
鹿児島	鹿児島	099	32	32	鹿児島放送	22	22	KKTテレビ	38	38	鹿児島テレビ	16	16	熊本朝日放送	30	30	鹿児島読売			
	阿久根	0996	22	22	KKTテレビ	8	8	NHK総合鹿児島	16	16	熊本朝日放送	10	10	南日本放送	11	11	RKK テレビ	12	12	NHK 教育鹿児島
沖縄	那覇	098				8	8	沖縄テレビ				10	10	琉球放送				12	12	NHK 教育沖縄

地上デジタル放送チャンネル一覧表（地域名入力）

●かんたん設置設定（☞68ページ）や初期スキャン（☞75ページ）で選択された地域の、放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下表のようになります。他地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
●割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)
放送局名	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・室蘭
	2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・室蘭
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
放送局名	3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・盛岡	1 NHK総合・福島	3 NHK総合・青森	1 NHK総合・東京
	2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・盛岡	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・青森	2 NHK教育・東京
	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	6 IBCテレビ	8 福島テレビ	1 RAB青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央ﾃﾚﾋﾞ	6 ATV青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ山形	8 めんこいﾃﾚﾋﾞ	5 KFB福島放送	5 青森朝日放送	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ
	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼﾃﾚﾋﾞ	5 岩手朝日ﾃﾚﾋﾞ	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・長野
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn
	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合・新潟	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良
	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYﾃﾚﾋﾞ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	1 NHK総合・山口
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・山口
	4 MBS毎日放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	4 KRY山口放送
	6 ABCテレビ	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 TYSﾃﾚﾋﾞ山口
	8 関西テレビ	5 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち	7 ﾃﾚﾋﾞせとうち			
	3 BBCびわ湖放送		8 OHKテレビ	8 OHKテレビ			

■表の見方

（2008年7月現在）

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
放送局名	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津	3 NHK総合・岐阜	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・静岡	1 NHK総合・福井	3 NHK総合・富山
	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・金沢	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBCテレビ	1 KNB北日本放送
	5 CBC	5 CBC	5 CBC	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT富山テレビ
	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 MRO	4 静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		6 ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾃﾚﾋﾞ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 岐阜テレビ				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
放送局名	1 NHK総合・松山	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎	3 NHK総合・鹿児島
	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・長崎	2 NHK教育・鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHK教育・福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送	1 MBC南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHK教育・北九州	8 TKUﾃﾚﾋﾞ熊本	8 KTNﾃﾚﾋﾞ長崎	8 KTS鹿児島ﾃﾚﾋﾞ
	6 あいテレビ		8 さんさんﾃﾚﾋﾞ	1 KBC九州朝日放送	4 KKTくまもと県民	5 NCC長崎文化放送	5 KKB鹿児島放送
	8 テレビ愛媛			4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 NIB長崎国際ﾃﾚﾋﾞ	4 KYT鹿児島讀賣TV
				5 FBS福岡放送			
				7 TVQ九州放送			
				8 TNCﾃﾚﾋﾞ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄			
放送局名	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・那覇			
	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・那覇			
	6 MRT宮崎放送	3 OBS大分放送	3 STSｻｶﾞﾃﾚﾋﾞ	3 RBCテレビ			
	3 UMKﾃﾚﾋﾞ宮崎	4 TOSﾃﾚﾋﾞ大分		5 QAB琉球朝日放送			
		5 OAB大分朝日放送		8 沖縄ﾃﾚﾋﾞ(OTV)			

■物理チャンネル一覧表（物理チャンネルについて☞69ページ）

東京			愛知			大阪		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
27	1	NHK総合・東京	20	3	NHK総合・名古屋	24	1	NHK総合・大阪
26	2	NHK教育・東京	13	2	NHK教育・名古屋	13	2	NHK教育・大阪
25	4	日本テレビ	21	1	東海テレビ	16	4	MBS毎日放送
22	6	TBS	18	5	CBC	15	6	ABCテレビ
21	8	ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	22	6	メ〜テレ	17	8	関西テレビ
24	5	テレビ朝日	19	4	中京テレビ	14	10	読売テレビ
23	7	テレビ東京	23	10	テレビ愛知	18	7	テレビ大阪
20	9	TOKYO MX						
28	12	放送大学						

富山			茨城			岐阜		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
27	3	NHK総合・富山	20	1	NHK総合・水戸	29	3	NHK総合・岐阜
24	2	NHK教育・富山	13	2	NHK教育・東京	30	8	岐阜テレビ
28	1	KNB北日本放送						

兵庫			神奈川		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
22	1	NHK総合・神戸	18	3	tvk
26	3	サンテレビ			

●お住まいの場所によっては、中継局を経由するために、本表の物理チャンネルと異なる場合があります。
●掲載外の地域については、販売店にご相談ください。

地上アナログ放送放送局コード一覧表

●地上アナログ放送の設定（☞66、73ページ）で「放送局名」を変更するときに、
　下表の放送局コード（4桁の数字）を直接入力することもできます。

（2008年7月現在）

地区	放送局名	放送局コード
北海道	NHK総合札幌	0336
	NHK教育札幌	0346
	HBCテレビ	0257
	STVテレビ	0261
	UHBテレビ	0283
	HTBテレビ	0291
	TV北海道	0273
青森	NHK総合青森	0592
	NHK教育青森	0602
	青森放送	0513
	青森テレビ	0294
	青森朝日放送	4386
秋田	NHK総合秋田	1360
	NHK教育秋田	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	4383
岩手	NHK総合盛岡	0848
	NHK教育盛岡	0858
	IATテレビ	0276
	テレビ岩手	0547
	IBCテレビ	0262
	めんこいテレビ	4385
山形	NHK総合山形	1616
	NHK教育山形	1626
	山形放送	0266
	さくらんぼ	0286
	テレビユー山形	0292
	山形テレビ	0550
宮城	NHK総合仙台	1104
	NHK教育仙台	1114
	東北放送	0769
	仙台放送	0268
	ミヤギテレビ	0546
	東日本放送	0288
福島	NHK総合福島	1872
	NHK教育福島	1882
	福島放送	0803
	福島中央テレビ	4641
	テレビユー福島	0543
	福島テレビ	0523
関東 東京	NHK総合東京	2128
	NHK教育東京	2138
	日本テレビ	0260
	TBSテレビ	0518
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MXテレビ	0270
関東 埼玉	テレ玉	0806
関東 千葉	チバテレビ	0302
関東 神奈川	tvk	4394
関東 群馬	群馬テレビ	0304
関東 栃木	とちぎテレビ	4631
新潟	NHK総合新潟	2384
	NHK教育新潟	2394
	新潟放送	0517
	新潟総合テレビ	5155
	テレビ新潟	0285
	新潟テレビ21	0533
長野	NHK総合長野	2640
	NHK教育長野	2650
	長野放送	1062
	abn	4628
	テレビ信州	0542
	信越放送	0779
山梨	NHK総合甲府	2896
	NHK教育甲府	2906
山梨	山梨放送	0773
	テレビ山梨	0549
静岡	NHK総合静岡	3920
	NHK教育静岡	3930
	静岡放送	1291
	テレビ静岡	1315
	あさひテレビ	5153
	静岡第一テレビ	4895
中部	NHK総合名古屋	4176
	NHK教育名古屋	4186
中部（愛知）	東海テレビ	1281
	CBCテレビ	1029
	メ～テレ	5643
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
中部 岐阜	岐阜テレビ	1061
中部 三重	三重テレビ	1313
富山	NHK総合富山	3152
	NHK教育富山	3162
	チューリップ	4640
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK総合金沢	3408
	NHK教育金沢	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	4377
	MROテレビ	0774
福井	NHK総合福井	3664
	NHK教育福井	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西 大阪	NHK総合大阪	4432
	NHK教育大阪	4442
	毎日放送	0516
	ABCテレビ	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
関西 京都	京都テレビ	1058
関西 兵庫	サンテレビ	0548
関西 奈良	奈良テレビ	0311
関西 和歌山	テレビ和歌山	5150
関西 滋賀	びわ湖放送	0798
岡山	NHK総合岡山	5200
	NHK教育岡山	5210
	山陽放送	1803
	OHKテレビ	1827
	テレビせとうち	4375
広島	NHK総合広島	5456
	NHK教育広島	5466
	中国放送	0772
	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	5151
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK総合鳥取	4688
	NHK教育鳥取	4698
	日本海テレビ	5633
	山陰放送	1034
島根	NHK総合松江	4944
	NHK教育松江	4954
	山陰中央テレビ	5410
山口	NHK総合山口	5712
	NHK教育山口	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	4380
香川	NHK総合高松	6224
	NHK教育高松	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK総合徳島	5968
	NHK教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK総合松山	6480
	NHK教育松山	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	4889
高知	NHK総合高知	6736
	NHK教育高知	6746
	高知さんさん	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK総合福岡	6992
	NHK教育福岡	7002
	KBCテレビ	2049
	RKB毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	FBSテレビ	1573
	TVQ九州放送	0531
佐賀	NHK総合佐賀	7760
	NHK教育佐賀	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK総合鹿児島	8528
	NHK教育鹿児島	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK総合宮崎	8272
	NHK教育宮崎	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK総合大分	8016
	NHK教育大分	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK総合熊本	7504
	NHK教育熊本	7514
	RKKテレビ	2315
	熊本朝日放送	4624
	KKTテレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK総合長崎	7248
	NHK教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	5145
	長崎文化放送	4635
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK総合沖縄	8784
	NHK教育沖縄	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第1	0074
	衛星第2	0076
	WOWOW	0073
	放送大学	0272
	ハイビジョン	0075

Gガイド地域一覧表

●「Gガイド地域設定」（☞76ページ）で、お住まいの地域を選んだときに地上
　アナログ放送の番組表に表示される放送局は、下表の通りに決められています。
●選んだ地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも
　番組表に表示されません。

（2008年7月現在）

札幌 小樽 旭川 名寄 稚内 室蘭 苫小牧 函館 釧路	帯広 網走 北見	青森 八戸 むつ	盛岡 釜石 二戸	仙台 石巻 気仙沼	秋田 大館 大曲	山形 鶴岡 米沢	福島 いわき 会津若松	水戸 日立	宇都宮 矢板
HBC テレビ NHK 総合札幌 STV テレビ UHB テレビ HTB テレビ TV 北海道 NHK 教育札幌	UHB テレビ NHK 総合札幌 HBC テレビ HTB テレビ STV テレビ NHK 教育札幌	青森放送 NHK 総合青森 青森朝日放送 NHK 教育青森 青森テレビ	NHK 総合盛岡 IBC テレビ NHK 教育盛岡 テレビ岩手 IAT テレビ めんこいテレビ	東北放送 NHK 総合仙台 NHK 教育仙台 東日本放送 ミヤギテレビ 仙台放送	NHK 教育秋田 秋田朝日放送 NHK 総合秋田 秋田放送 秋田テレビ	NHK 教育山形 テレビユー山形 NHK 総合山形 山形放送 さくらんぼ 山形テレビ	NHK 教育福島 テレビユー福島 福島中央テレビ NHK 総合福島 福島放送 福島テレビ	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレビ東京 MX テレビ チバテレビ	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレビ東京 とちぎテレビ MX テレビ

前橋 桐生	さいたま	熊谷 秩父	千葉	銚子	横浜 平塚 秦野 小田原	23区 八王子 多摩	新潟 上越	甲府	長野 松本 飯田 岡谷・諏訪
NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 群馬テレビ テレビ東京 MX テレビ テレ玉	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレ玉 テレビ東京	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレ玉 テレビ東京	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京 tvk	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京 tvk	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 tvk テレビ東京 MX テレビ	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ テレ玉 フジテレビ tvk テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京	新潟テレビ21 テレビ新潟 新潟放送 NHK 総合新潟 新潟総合テレビ NHK 教育新潟	NHK 総合甲府 NHK 教育甲府 山梨放送 テレビ山梨	NHK 総合長野 abn テレビ信州 長野放送 NHK 教育長野 信越放送

富山 高岡	金沢 七尾	福井 敦賀	岐阜 高山 中津川 名古屋 豊橋 豊田	静岡 浜松 富士 三島・沼津 島田 藤枝	津 伊勢 名張	京都 舞鶴 福知山 大阪	奈良 五條	神戸 神戸灘 川西 三木 姫路 明石	大津 彦根
北日本放送 NHK 総合富山 富山テレビ NHK 教育富山 チューリップ	石川テレビ NHK 総合金沢 MRO テレビ NHK 教育金沢 テレビ金沢 北陸朝日放送	NHK 教育福井 NHK 総合福井 福井放送 福井テレビ	東海テレビ NHK 総合名古屋 CBC テレビ 中京テレビ NHK 教育名古屋 岐阜テレビ メ～テレ テレビ愛知 三重テレビ	NHK 教育静岡 静岡第一テレビ あさひテレビ テレビ静岡 NHK 総合静岡 静岡放送	東海テレビ NHK 総合名古屋 CBC テレビ 中京テレビ NHK 教育名古屋 三重テレビ メ～テレ テレビ愛知	NHK 総合大阪 京都テレビ 毎日放送 テレビ大阪 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ NHK 教育大阪 サンテレビ	NHK 総合大阪 奈良テレビ 毎日放送 テレビ大阪 ABC テレビ 関西テレビ サンテレビ 読売テレビ NHK 教育大阪 京都テレビ	NHK 総合大阪 サンテレビ 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ テレビ大阪 NHK 教育大阪	NHK 総合大阪 毎日放送 ABC テレビ 京都テレビ 関西テレビ 読売テレビ びわ湖放送 NHK 教育大阪

和歌山 海南・田辺	鳥取	松江 浜田	岡山 津山 笠岡	広島 福山 尾道 呉	山口 下関 宇部 岩国	徳島	高松 丸亀	高知	松山 新居浜 今治 宇和島
NHK 総合大阪 テレビ和歌山 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ NHK 教育大阪	日本海テレビ NHK 総合鳥取 NHK 教育鳥取 山陰中央テレビ 山陰放送	日本海テレビ NHK 総合松江 NHK 教育松江 山陰中央テレビ 山陰放送	テレビせとうち NHK 教育岡山 NHK 総合岡山 瀬戸内海放送 OHK テレビ 西日本放送 山陽放送	テレビ新広島 NHK 総合広島 中国放送 NHK 教育広島 広島ホーム 広島テレビ	NHK 教育山口 山口朝日放送 テレビ山口 NHK 総合山口 山口放送	四国放送 NHK 総合徳島 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ NHK 教育徳島	テレビせとうち NHK 教育高松 NHK 総合高松 瀬戸内海放送 OHK テレビ 西日本放送 山陽放送	NHK 総合高知 NHK 教育高知 高知放送 テレビ高知 高知さんさん	NHK 教育松山 あいテレビ NHK 総合松山 テレビ愛媛 愛媛朝日テレビ 南海放送

福岡 久留米 大牟田 北九州 行橋	佐賀1	佐賀2	熊本	大分 中津	長崎 佐世保 諫早	鹿児島 阿久根 鹿屋	宮崎 延岡	沖縄
KBC テレビ NHK 総合福岡 RKB 毎日放送 NHK 教育福岡 テレビ西日本 TVQ九州放送 FBS テレビ	NHK 教育佐賀 KBC テレビ RKB 毎日放送 TVQ九州放送 サガテレビ NHK 総合佐賀 FBS テレビ	NHK 教育佐賀 KBC テレビ TVQ九州放送 サガテレビ NHK 総合佐賀 FBS テレビ RKK テレビ	NHK 教育熊本 熊本朝日放送 KKT テレビ テレビ熊本 NHK 総合熊本 RKK テレビ	NHK 総合大分 大分放送 テレビ大分 大分朝日放送 NHK 教育大分	NHK 教育長崎 NHK 総合長崎 長崎放送 長崎国際テレビ 長崎文化放送 テレビ長崎	南日本放送 NHK 総合鹿児島 NHK 教育鹿児島 鹿児島放送 鹿児島テレビ 鹿児島読売	テレビ宮崎 NHK 総合宮崎 宮崎放送 NHK 教育宮崎	NHK 総合沖縄 琉球朝日放送 沖縄テレビ 琉球放送 NHK 教育沖縄

アイコン一覧

●本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明	アイコン	説明
テレビ	デジタルテレビ放送(映像+音声)の番組。	ラジオ	ラジオ放送の番組。
データ	データ放送の番組。	d テレビ	デジタル放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d テレビ	デジタル放送で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。	d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。	16:9 1080i	番組の映像信号情報。上:画面の横縦比(16:9、4:3)下:信号方式(1080i、720p、480p、480i)
信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組。	主+副	二重音声信号で、「主+副」音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組。	サラウンド	5.1chなどのサラウンド放送の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。	有料	有料のデータを含む番組。
デジタル XCOPY	DVDレコーダーなどのデジタル録画機器でコピー禁止の番組。(録画できません)	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組。
アナログ XCOPY	アナログコピーガードが、かかっている番組。(アナログで録画できません)	字幕	番組の中に字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組。
デジタル 1COPY	DVDレコーダーなどのデジタル録画機器で1回だけコピー可能な番組。(録画後ダビングできません)	20才~	視聴年齢制限がある番組。(表示される年齢は4~20才まであります)
アナログ X出力	モニター出力端子から映像や音声信号を出力しない番組。(録画できません)		

お知らせ

●「デジタル1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。

地上デジタル放送の番組表

●地上デジタル放送の番組表では、番組表の番組欄や番組内容画面でアイコンが表示されることがあります。
アイコンの説明を見たいときは、地上デジタル放送の番組表が表示されているときに、
サブメニュー(S) を押して「アイコン一覧」を選択してください。
※すべてのアイコンの説明が表示されるわけではありません。

下記のようなアイコンが表示されることがあります。

予約一覧画面

アイコン	説明	アイコン	説明
録画 D-VHS / 録画 HDR / 録画 HDMI / 録画 Ir	録画予約した番組(下:録画機器、方式)		
録画	上記以外の機器で録画予約した番組。	見るだけ	見るだけ予約した番組。
検索中	番組追従を実行中。(時間確認中)		
変更 おしらせ	放送開始時間を変更して予約が実行される番組。	済 取消	お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示。
探して 毎回★	探して毎回予約で予約した番組。	済 おしらせ	予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合。
次回 未定	探して毎回予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき。	済 送信	ビエラリンク(HDMI)などによるタイマー予約を、録画機器に送信済みの番組。
月~土 / 月~金 / 毎日 / 毎週	毎週、毎日、曜日指定での予約。	警告	この予約は実行できません。(受信チャンネルが変更になったときなど)
重複	予約時間が重なっていた場合の、優先順位が低い予約。	リレー	番組追従でリレーが実行されたリレー先の予約。(☞ 34ページ)
済	予約時間が終了した予約。	実行中	現在、実行中の予約。
先取	9日以上先の番組。		

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。(☞ 24ページ)

映画	音楽	ニュース/報道	劇場/公演
ドラマ	バラエティ	アニメ/特撮	趣味/教育
スポーツ	情報/ワイドショー	ドキュメンタリー/教養	福祉

その他の画面

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。(未読メール)

メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。(既読メール)

予 番組表で予約された番組

おすすめアイコン

予 探して毎回予約で予約された番組

●アイコン一覧

故障かな!?

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
共通の項目	映像が出ないなど表示がおかしい、また急にリモコンが操作できなくなった	●本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にし、約5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。 ※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。	―
共通の項目	電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？	― ☞13ページ
共通の項目	リモコンで操作できない	●チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか？ ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？ ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。	☞12ページ ☞12ページ ☞13ページ ―
共通の項目	リモコンの放送切換ボタンを押しても、放送が切り換わらない	●リモコンの放送切換ボタンを押したとき、押した放送切換ボタンが点滅する。 →テレビ本体のメニュー設定で、放送切り換えをできないようにしていませんか？ ●リモコンの放送切換ボタンを押したとき、押した放送切換ボタンが点滅しない。 →リモコンのボタン操作で放送切り換えをできないようにしていませんか？ ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？	☞74ページ ☞74ページ ☞12ページ
共通の項目	テレビから時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。 性能その他に影響ありません。	―
共通の項目	テレビ内部から「カチッ」と音がする	●番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。 ●デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。	― ―
共通の項目	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。 再度設定をやり直してください。	―
共通の項目	接続した機器の映像が出ない	●各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？ 端子の奥までしっかり差し込んでください。	―

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
共通の項目	内部から音がする	●電源を入れると、プラズマディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	―
共通の項目	テレビ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	●本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	―
共通の項目	画面に光らない点がある	●プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に光らない点や常時点灯する点が存在する場合があります。 これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	―
共通の項目	残像が発生する	●ビデオやパソコンなどの静止画像などを長時間映したままにしておくと、焼き付き(残像)が発生する場合があります。この場合、テレビ番組など、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、次第に軽減されます。	―
共通の項目	動きの少ない明るい映像のときに画面が少し暗くなる	●写真やパソコンの静止画像など動きの少ない明るい映像を長い間表示すると本機が自動的に画面を少し暗くします。これは、プラズマディスプレイパネルの焼き付きや劣化を軽減するための機能で、故障ではありません。	―
共通の項目	テレビ本体の一部が熱くなる	●前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありませんので、あらかじめご了承ください。	―
共通の項目	映像が出るまでに時間がかかる	●本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたときやチャンネルを切り換えたとき、映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	―
共通の項目	画面モードが「ノーマル」のとき、左右のブランク部分の明るさが変わる	●「ブランク輝度設定」を「オフ」以外に設定して見ていると番組内容によってはブランク部分の明るさが変化する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	―
テレビ放送のとき	映像が揺れる 映像が不鮮明 色模様が出る 色が消える	●アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？ ●アンテナ線は正しく接続されていますか？	― ☞60、61ページ

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
テレビ放送のとき（つづき）	「セルフワイド」のとき画面のサイズがときどき変わる	セルフワイドは、映像の明るい部分などを検出して自動で画面サイズを拡大する機能です。映像によっては下記のような動作をすることがあります。 ●最初暗いシーンのときは、しばらく自動拡大しないことがあります。 ●4：3映像でも上下が暗いシーンでは、自動拡大することがあります。 →気になる場合は手動で画面モードを設定してください。	―― ガイド ？+ 3 2 2 （テレビを見ているときに押す）
	DVDレコーダーなどの録画機器で選局すると、一瞬黒い帯が出る	●チャンネルを切り換えたときに発生するノイズによるものです。	――
	画面の上下に映像のない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。	――
	ズームやジャストにすると画面の上下が欠ける	●画面の位置調整がずれていませんか？ →画面の位置を調整してください。	ガイド ？+ 3 3 3 （テレビを見ているときに押す）
	チャンネルを切り換えたときや、セルフワイドで画面のサイズが変わったとき、一瞬画面が暗くなる	●画面が切り換わるときに発生するノイズを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。	――
	地上アナログ放送で、画面にはん点が出たり、画面が揺れる	●自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響（妨害電波や誘導電磁波）を受けていませんか？	――
	地上アナログ放送で、あるチャンネルだけ映りが悪い	●チャンネルの微調整は、正しいですか？	☞73ページ
	地上アナログ放送で、映像が2重3重に見える	●アンテナの方向がずれていませんか？ ●山やビルからの反射電波を受けていませんか？	―― ――

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき	映像も音も出ない	●アンテナは正しく接続されていますか？ ●「受信設定」は、正しく設定されていますか？	☞60、61ページ ☞78ページ
	画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送は、画質・音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	――
	110度CSデジタル放送が受信できない	●本機と衛星アンテナをビデオデッキなどを通して接続していませんか？ →直接接続するか、110度CS対応の分配器（別売品）などをご使用ください。 ●BSデジタル放送より高性能の、110度CS対応のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。	―― ――
	映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる） 映像が静止する（または、ときどき静止する）	●アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？またはアンテナ線の劣化などはありませんか？ →「受信設定」の「衛星」でアンテナレベルが受信可能レベル（50以上が目安）に達しているかご確認ください。また「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。アンテナレベルの確認は、「サブメニュー」ボタンからでも可能です。 ●着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 →衛星デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。	☞78ページ ――
	特定のチャンネルの映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）	●衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか？ ●PHS デジタルコードレス電話機や携帯電話機などの影響を受け、映像や音声が出なくなることがあります。 →アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。販売店にご相談ください。	―― ――
	有料放送の視聴ができない	●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。	――

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
地上デジタル放送のとき	映像や音声が出ない (または、ときどき出なくなる) 映像が静止する (または、ときどき静止する)	●UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？またはアンテナ線の劣化などはありませんか？ →「受信設定」の「地上デジタル」で、アンテナレベルが受信可能レベル(44以上が目安)に達しているかご確認ください。アンテナレベルの確認は、「サブメニュー」ボタンからでも可能です。(アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので十分な余裕を取ることをおすすめします)	☞77ページ
地上デジタル放送のとき	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか？ →地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。 ●UHFアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか？ →現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 ●地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？ →従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。	― ― ―
デジタル(共通)放送のとき	映像も音も出ない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか？	☞62ページ
デジタル(共通)放送のとき	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるとき電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●一部の電話機やファクシミリでは、使用するモジュラー分配器の種類によってこのような症状が出ることがあります。 →市販の自動転換器(パソコン対応用)や、電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で症状が改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーへご相談ください。	―
デジタル(共通)放送のとき	IP電話回線使用時につながらない	●NTTの電話回線に切り換えると接続できる場合があります。切り換えの方法についてはIP電話回線業者にお問い合わせください。	―

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
デジタル(共通)放送のとき	字幕や文字スーパーが出ない	●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	☞46ページ ☞108ページ
デジタル(共通)放送のとき	「画面モード」ボタンを押しても、サイドカットの切り換えができない	●録画予約の実行中ではありませんか？ →録画予約実行中はサイドカットの切り換えが制限されます。 ・録画予約のとき「その他の設定」のサイドカットの項目が「する」の場合はサイドカットを解除することができません。 ・録画予約のとき「その他の設定」のサイドカットの項目が「しない」の場合は「フル」固定になりサイドカットにはできません。	ガイド ?+2 9 4 (テレビを見ているときに押す)
アクトビラのとき	アクトビラが動かない、つながらない	●アクトビラをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。 また、アクトビラの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境が必要です。詳細は、別冊の取扱説明書「ネットワーク編」をご覧ください。 ・ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らないなどの場合があります。 ・アクトビラの最新情報は、当社ホームページでもご紹介しております。 http://panasonic.jp/support/actvila/ (2008年7月現在)	
SDメモリーカード再生のとき	写真が再生できない	●パソコンなどで編集した写真データですか？ →ご使用の編集ソフトによっては、正しく再生できない場合があります。 ●写真データの画素数は最小160×120画素～最大約1200万画素の範囲ですか？ ●当社製のSDメモリーカードをお使いですか？ →当社製以外のSDメモリーカードは動作確認しておりません。 ●JPEG以外の写真(TIFF形式など)、プログレッシブJPEG形式、JPEG2000形式には対応しておりません。	☞48ページ ☞48ページ ☞48ページ ☞48ページ
SDメモリーカード再生のとき	SDビデオ再生で音声が出ない	●対応していない音声形式の可能性があります。 対応していない音声形式のときは、SDビデオ一覧の「プレビュー映像」の右下に マークが表示されます	―

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
録画、予約のとき	Irシステムで録画機器の録画予約ができない	●Irシステムケーブルは正しく接続されていますか？ ●「Irシステム設定」は正しいですか？ ●録画機器は正しく準備できていますか？ →録画機器の電源や、記録用ディスク、ビデオテープなどは必ず確認してください。	☞91ページ ☞92ページ ☞36ページ
	i.LINKで録画機器の録画予約ができない	●本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか？ →本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキなど2台までです。 ●「i.LINK接続設定」で「使用」の項目が「しない」に設定されていませんか？（「しない」に設定していると操作できません）	☞96ページ ☞97ページ
	予約が実行されない	●予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →見るだけ予約をした場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。 →IrシステムやI.LINKを使ってデジタル放送を録画予約した場合、本体の電源を「切」にしていると予約が実行されません。	―
	DVDレコーダーで番組タイトルが正しく表示されない	●対応機種は90ページをご覧ください。 ●番組タイトルに🄽、🄳、🄰などの外字が含まれていると、DVDレコーダーでは表示されません。 ●時間指定予約で「毎日」などのくり返しのタイマー予約をされた場合には予約設定時に初回の番組タイトルを送ります。（くり返しの2回目以後の番組タイトルは送りません） ●送られる番組タイトルは1分を超える予約番組の最初の番組タイトル1つだけです。	―
番組表について	番組表が出ない、または8日分表示されない	●地上アナログ放送の番組表を見るためには、衛星アンテナの接続が必要です。ケーブルTV（CATV）でBSデジタル放送を見ている場合は使用できません。 ●お買い上げ直後や本体の電源を切って1週間以上経過した場合は、番組データがありません。 →番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。 最大約4時間かかります。（2008年7月現在） ※次の場合、番組データを受信できませんので、ご注意ください。 ・本体の電源を切っているとき ・デジタル放送の電波状態がよくないとき ※録画実行中や2画面の場合は番組データを受信できないことがあります。	― ―
	地上アナログ放送で番組表に表示されない放送局がある	●正しい放送局名の設定が必要です。 ●「Gガイド地域設定」が必要です。Gガイド地域設定で選ばれた地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも番組表には表示されません。（Gガイド地域一覧表☞107ページ） ※Gガイド地域の境界近辺にお住まいの場合は、どちらかのGガイド地域の番組表の設定になります。この場合、他方でのみ配信される放送局は、表示できません。	☞66～67ページ ☞76ページ

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
HDMI対応機器を接続のとき	映像が出ない、乱れる	●HDMI ケーブルを確実に接続してください。 ●本機はHDMIおよびDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。 ●本体の電源および接続機器の電源を「切」「入」してください。 ●対応外の信号がつながっていませんか？ →接続機器の設定を対応信号に変更してください。	☞84～88ページ ☞84ページ ― ☞84ページ
	音声が出ない	●接続機器の音声をリニアPCM に設定してください。 ●「ビデオ入力接続設定」の「HDMI 音声入力設定」を確認してください。 ●デジタル音声での接続がうまく動作しない場合は、アナログ音声（音声ピンケーブル）で接続してください。 ●HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は光デジタル音声出力されません。	― ☞84ページ ☞84ページ ―
ビエラリンク（HDMI）接続のとき	デジタルビデオカメラの電源を入れても、自動で再生画面にならない	●HDMI4端子に接続しなおしてください。 HDMI1～3端子に接続したときは、手動で入力を切り換えてください。	☞54ページ
	デジタルビデオカメラの再生画面は表示されるが、本機のリモコンで操作できない	●デジタルビデオカメラの電源を「切」/「入」してみてください。	―
	本機のリモコン操作でレコーダー(ディーガ)に録画できない	●レコーダー(ディーガ)のチャンネル設定が合っているか確認してください。 詳しくはレコーダー(ディーガ)の取扱説明書をご覧ください。	―
	レコーダー(ディーガ)を停止して、テレビ放送に切り換えた後、「見ている番組を録画」を選択しても録画できない	●もう一度レコーダー(ディーガ)の停止ボタンを押してから、録画を開始してください。 レコーダー(ディーガ)の停止ボタンを一回押すと、一時停止の状態になります。	―
	ビエラリンク（HDMI）が正しく動作しない	●ビエラリンク（HDMI）に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認の上、下記の操作をしてください。 ①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の「電源」ボタンで電源を入れ直す。 ②[入力切換]を押して入力を切り換え（☞20ページ）、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する。 ③52～55ページの手順で機器が操作できることを確認する。	☞85ページ
	番組キープの動作に時間がかかる	●番組キープを使うには、レコーダー（ディーガ）側の設定が必要です。 詳しくはレコーダー（ディーガ）の取扱説明書をご覧ください。	―

ビエラリンク Q&A集

Q	A
ビエラリンク(HDMI)でどんなことができるのですか?	●本機のリモコンで、デジタルビデオカメラやCATVデジタルSTBの操作ができます。 ●本機のリモコン操作で、レコーダー(ディーガ)やAVアンプが連動して動作します。 ・見ている番組をすぐ録画できます。 ・本機のリモコンでレコーダー(ディーガ)の録画予約ができます。 ・レコーダー(ディーガ)に再生専用ディスクを入れるだけで本機の電源が入り、自動再生を開始します。 ・本機のリモコンでAVアンプの音声に切り換えできます。 ・本機の電源を切ると、レコーダー(ディーガ)やAVアンプは連動して電源が切れます。
ビエラリンク(HDMI)が使える機器を見分ける方法はありませんか?	ビエラリンク(HDMI)に対応している機器には、下記のロゴマークが表示されています。 VIERA Link
HDMIケーブルは、どんなものが使えますか?	ビエラリンク(HDMI)に使用するHDMIケーブルは、当社製HDMIケーブルを推奨します。 HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。(HDMIケーブル品番は86ページ)
HDMI端子のついたテレビやDVDレコーダー、AVアンプを持っていますが、ビエラリンク(HDMI)は使えますか?	HDMI端子がついていても、機器がビエラリンク(HDMI)に対応していないと使えません。
本機のHDMI端子4系統に複数のレコーダー(ディーガ)を接続した場合、ビエラリンクメニューから操作できるレコーダー(ディーガ)はどれですか?	番号が小さいHDMI端子に接続されたレコーダー(ディーガ)を操作できます。
本機のHDMI端子(1～4)に、レコーダー(ディーガ)とデジタルビデオカメラを接続したとき、ビエラリンク(HDMI)に連動して、どのHDMI端子の入力に切り換わりますか?	HDMI1～3端子のどれかにレコーダー(ディーガ)を、HDMI4端子にデジタルビデオカメラを接続してください。 後から操作した機器に、入力が自動で切り換わります。 ・一度入力が切り換わると、本機のリモコンで機器を操作できます。
ケーブルテレビを受信していますがビエラリンク(HDMI)の録画機能(見ている番組を録画)は使えますか?	CATVデジタルSTBやホームターミナルを通じて、本機に接続して視聴されている場合は、ビエラリンク(HDMI)の録画機能(見ている番組を録画)は使えません。

Q	A
本機の番組表から録画予約をしましたが、番組表に予(赤)マークが出ていません。	本機の番組表から録画予約すると、自動的に予約情報をレコーダー(ディーガ)に送信します。 この場合、録画予約の予(赤)マークは、レコーダー(ディーガ)の予約一覧でご確認ください。 (本機の番組表には予(赤)マークは表示されません。)
「見ている番組を録画」しているときに、レコーダー(ディーガ)の番組表から重複して録画した場合はどうなりますか?	番組表からの予約が優先して録画されますので「見ている番組を録画」は中断されます。
レコーダー(ディーガ)でダビング中、本機のリモコンで電源を切った場合、本機に連動してレコーダー(ディーガ)の電源も切れますか?	ダビング中、ファイナライズ中、フォーマット中、プロテクト設定・解除処理中、消去処理中は、レコーダー(ディーガ)本来の仕様として電源は切れません。
本機のオフタイマー使用時や無信号自動オフ機能などが動作した場合、レコーダー(ディーガ)の電源は連動して切れますか?	本機のオフタイマー、無信号自動オフ、無操作自動オフによって、本機の電源が切れたときは、レコーダー(ディーガ)の電源も連動して切れます。
レコーダー(ディーガ)のDMR-XW200VなどのVHS内蔵レコーダーを接続した場合、「見ている番組を録画」を選び、VHSに録画ができますか?	VHSへの録画はできません。
WOWOWなどの有料番組を録画する方法はありますか?	契約されたB-CASカードを、レコーダー(ディーガ)に挿入しておけば録画できます。
本機にレコーダー(ディーガ)とAVアンプを接続していますが、デジタルビデオカメラの音声を5.1chで再生したいときはどうすればいいですか?	デジタルビデオカメラを本機のHDMI4端子に接続して、AVアンプと本機を光デジタルケーブルで接続してください。 また、デジタルビデオカメラの音声に、自動で切り換わらないことがあります。 そのときは、AVアンプの入力をテレビに切り換えてください。

メッセージ表示一覧

●本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
データを取得中です	データ放送の情報を取得中に表示します。そのままお待ちいただくか、別のチャンネルを選んでください。
現在、受信できません。	アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線していませんか？アンテナ線は正しく接続されていますか？（☞60、61ページ）
現在、このチャンネルは放送を休止しています。（E203）	放送局の都合などにより、放送を休止しているチャンネルを選んでいます。別のチャンネルを選んでください。
降雨対応放送に切り換わりました。（E201）	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなり、番組タイトルなどの番組情報が表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。（☞62ページ）
衛星アンテナとの接続に不具合があります。確認のためBS放送に切り換えますか？（E209）	衛星アンテナとの接続に不具合があります。メッセージに従い「はい」を選び決定してください。（本機からアンテナへの電源供給を停止します。）衛星アンテナとの接続については販売店にご相談ください。
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。（E202）	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。
番組データがありません。受信予定時間が取得できません。 番組データ受信待ちです。	地上アナログ番組表でのみ表示されます。番組表設定や地域設定が正しく行われているかを確認してください。（☞76ページ）
時刻情報が取得できていないためこの操作はできません。	地上アナログ放送の番組表を見るためには、衛星アンテナの接続が必要です。ケーブルTV(CATV)でBSデジタル放送を見ている場合は使用できません。番組データの取得は、リモコンで電源「切」またはテレビ視聴中に行われます。最大約4時間かかります。(2008年7月現在)
視聴チャンネルがスキップに設定されているため操作できません。	スキップ設定（☞67ページ）されているチャンネルの番組内容は表示できません。番組内容を表示させたい場合は、チャンネル設定をやり直してください。（☞73ページ）
番組データがありません。決定ボタンで取得します。	地上デジタル番組表でのみ表示されます。番組表で放送内容を知りたい放送局を選んで「決定」ボタンを押すと、そのチャンネルの番組情報を受信し、数分で表示します。 ※番組情報が受信できない場合、放送内容が表示されないことがあります。
データを送信します。よろしいですか？	データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。
電話回線への接続に異常がある可能性があります。接続をもう一度確認してください。	電話回線端子がショートしていたり、誤ってLANケーブルを接続しているなど、電話回線への接続に異常がある可能性があります。接続をもう一度確認してください。（☞63ページ）
選局できません。リモコンの地上デジタルボタンを押し地上デジタル放送に切り換えてください。	選局できない放送を選択しています。受信対象設定（☞74ページ）で、放送ごとの設定を確認してください。
＊＊＊はCHロックされています。操作するにはCHロック解除してください。解除しますか？ 録画予約が始まっているときは予約中止されます。解除後、録画機器を確認してください。	本機が録画予約を実行しているときに2画面にして右画面で選局操作をするとこのメッセージが表示されます。デジタル放送を録画予約中に右画面で選局操作などはできません。チャンネルのロックを解除してから選局操作をしてください。（チャンネルのロックを解除すると、録画予約が停止します。）

●下記の一覧表で マークのあるエラーメッセージを表示中にリモコンの ガイド ？ ボタンを押すと、
電子説明書でも説明がご覧になれます。

メッセージ	内容
ダウンロードが中断されました。このメッセージが消えるまで電源を切らずにお待ちください。（最大約3分）このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。	電源を「入」時に表示されます。前回のダウンロード中に、受信異常や電源「切」などが発生し、ダウンロードが中断しました。自動復旧しますので、そのまま最大約3分間お待ちください。
起動処理中です。このメッセージが消えるまで、電源を切らずにお待ちください。（最大約3分）このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。	電源を「入」時に表示されます。本機の制御プログラムを更新していますので、そのまま最大約3分間お待ちください。
両端を切り取った映像に変換しました。（データ放送時を除く）チャンネル選局や「元の画面」ボタンなどで元に戻ります。	デジタル放送で映像信号が720p、1080iのときに「画面モード」ボタンを押してサイドカットモードにすると表示します。お好みにあわせて、画面のサイズ(画面モード)を変更することができます。（☞42ページ）
番組がハイビジョン放送の場合、両端を切り取った映像に変換してモニター出力します。（データ放送時を除く）	720p、1080iのデジタル放送の番組を予約するときに、予約設定の「その他の設定」画面で、「サイドカット」を「する」に設定すると表示します。両端に黒帯がある映像の場合、黒帯部分を切り取った映像で録画できますが、黒帯の無い映像の場合に設定すると、映像の両端が切り取られた映像になりますので、ご注意ください。（☞32ページ）
放送ダウンロードのお知らせがあります。決定ボタンでご覧になれます。	放送ダウンロードの実施期間中に本機を視聴しているとき、一定時間だけ表示される場合があります。このような場合は、メッセージが表示されている間に「決定」ボタンを押して、放送ダウンロードのお知らせをご覧ください。（お知らせを見ずに表示を消す場合は「戻る」ボタンを押してください。）
あなたの好みを学習中です。学習に数日かかる場合があります。	おすすめ一覧は本機が学習したお客様の好みを元に表示します。本機の使用状況により学習が完了する時間が異なります。数日間のご使用後に、再度おすすめ一覧を表示してください。
おすすめ番組を探しています。	おすすめ番組を探す処理を行っています。数分以上かかる場合があります。しばらくしてからおすすめ一覧を表示してください。
AVアンプと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	本機とAVアンプ間で制御データを送受信中に表示します。しばらくしてから再度操作してください。
AVアンプとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。	本機とAVアンプ間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。AVアンプとの接続や設定を確認してください。（☞86～89ページ）
ディーガと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	本機とディーガ間で制御データを送受信中に表示します。しばらくしてから再度操作してください。
ディーガとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。	本機とディーガ間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。AVアンプ、ディーガの接続や設定を確認してください。（☞86～89ページ）
再起動しました	「リモコンが利かない」「表示が乱れる」などの異常状態から自動的に復旧した場合に表示されます。一旦本機の電源コードを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

工場出荷設定

●各設定画面の本機の工場出荷時の設定値の一部です。

■初期設定一覧表

	項　　目	工場出荷時	参照ページ
省エネ設定	無信号自動オフ	入	22
	無操作自動オフ	切	22
	消費電力	標準	22
	無操作画面自動オフ	入	22
画面の設定	水平表示領域	標準	42
	HD表示領域	標準	42
	セルフワイド	ジャスト	42
	ID-1検出	オン	42
	ED2検出	オン	42
	3次元Y/C分離	オン	42
	480p色マトリックス	1	42
	ブランク輝度設定	高	42
	サイドカット固定	オフ	42
	NR	弱 ※	42
	HDオプティマイザー	弱 ※	42
	デジタルシネマリアリティ	オン ※	42
	24pフィルムダイレクト	60 Hz	42
システム設定	視聴可能年齢	無制限	46
	ブラウザ制限	無制限	ネットワーク編7
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)制御	する	88
	電源オフ連動	する	88
	電源オン連動	しない	89
	電源オン時の音声出力	テレビ	89
	ケーブルテレビ電源オン連動	しない	89
	HDMI音声入力設定	HDMI	84
	i.LINK待機	しない	97
	デジタル放送	PCM	101
	SDビデオ･アクトビラ動画	PCM	101
	デジタル音声予約録画連動	しない	100
	入力自動スキップ	オフ	99
	PCスキップ	オフ	93
	HDMIスキップ	オフ	84
	i.LINK自動切換	する	97

●工場出荷時の設定値は予告なく変更する場合があります。
※地上アナログ放送視聴時の初期設定値です。
　放送や入力によって設定値が異なります。

■リモコンボタンの番号に割り当てられた放送局（工場出荷時）

●放送局名やチャンネルは、実際の表示と異なる場合があります。

●BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11デジタル
12	222	TwellV

●お好み選局の2、3ページ目にも割り当てがあります。

●CS1（e2 by スカパー！）

番号	チャンネル	放送局名
1	001	e2メイト
2		
3		
4		
5	055	ショップチャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●CS2（e2 by スカパー！）

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	CS日本番組ガイド
5		
6	160	C-TBSウエルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	インターローカルテレビ
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY・STAGE
12	238	スター・クラシック

（2008年7月現在）

用語解説

英数字順

1080p、1080i、720p、480p、480i
●映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。
●テレビ放送は1コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信するテレビ側で元の画像に組み立てて表示します。
●有効走査線数は、絵柄部分の走査線数のことをいいます。インターレース（飛び越し走査）は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ（順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。

名　称	走査線数	有効走査線数	走査方式
1080p	1125本	1080本	プログレッシブ
1080i	1125本	1080本	インターレース
720p	750本	720本	プログレッシブ
480p	525本	480本	プログレッシブ
480i	525本	480本	インターレース

※これらの中で、1080p、1080iと720pをハイビジョン放送と呼びます。

5.1chサラウンド
左前、右前、センター、左後、右後の5本のスピーカーとサブウーハーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。背面の光デジタル音声出力端子に5.1ch光デジタル入力端子付きのオーディオ機器を接続すれば、臨場感のある音声で楽しむことができます。

AAC（Advanced Audio Coding）
地上・BS・CSデジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD規格
高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。本機はこの規格で記録されたSDメモリーカードを再生できます。

D端子（D4映像入力端子）
より忠実に色を再生するために、輝度・色差信号（Y、Pb、Pr）を分離し制御信号を加えて、1つにまとめた端子です。対応している映像信号の範囲によって、D1～D5端子などの種類があります。本機ではD4端子を使用しており、480i、480p、1080i、720pの映像信号に対応します。制御信号により画面モードをズーム、フルに切り換えます。

DPOF
Digital Print Order Formatの略称で、デジタルカメラなどで撮影した写真を、写真店や家電用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

ED2検出
映像信号に埋め込まれた情報からワイドクリアビジョンであることを検出する仕組みで、本機の場合、ズームに切り換えが可能です。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）
デジタルテレビ向けインターフェース規格のひとつです。本機のHDMI端子とHDMI対応機器（DVDレコーダーやAVアンプなど）を1本のケーブルで接続することで、高品位な映像と音声を簡単に利用できます。

ID-1検出
映像信号に埋め込まれた画面サイズの情報を検出する仕組みです。本機の場合、画面モードをズーム、フルに切り換えが可能です。

JEITA
社団法人　電子情報技術産業協会（Japan Electronics and Information Technology Industries Association）の略称です。エレクトロニクス（電子工学）とIT（情報技術）分野の企業が多数参加している日本の業界団体で、規格の発行などを行っています。

MPEG-2
カラー動画を効率良く圧縮、展開する方式の1つです。MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式です。

PCM
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の一つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

S映像端子（S2映像入力端子）
色にじみの少ない映像の伝送のために、輝度信号・色差信号（Y、C）を分離して、1つにまとめた端子です。S2映像入力端子は、画面サイズの情報を付加したもので、本機では画面モードをズーム、フルに切り換えます。

ドルビーデジタル（Dolby Digital）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ音声だけではなく、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よく圧縮できます。

使用上のご注意

■記録内容の補償について

●万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。

●アクトビラ有料サービスの購入情報やメールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権について

●あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■商標などについて

●i.LINKとi.LINKロゴ " " は商標です。　●D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。

●SDHCロゴは商標です。●CP8 PATENT　●acTVilaロゴは登録商標です。●HDAVI Control™は商標です。

●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。

●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。

●本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり改造することも禁じられています。

●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。

●Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

●米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
iMobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.

●この製品に使用されているソフトウエアに関する情報は、「メニュー」ボタンを押し、「情報を見る」→「ID表示」→「ソフト情報表示」を参照ください。

●本機には、修理サービスを円滑に行えるよう、一定の動作状態を記録する機能を内蔵しています。
記録内容は、サービス技術者が修理サービスに利用するため、通常の使用では見ることができません。

■デジタル放送のコピー制御について

●本機にはB-CASカードを必ず挿入してください。
●デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用します。
●挿入されないと、BS・CS・地上の全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
●もちろんB-CASカードを挿入していただくことで、NHKも、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。

●デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴の一つです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回るようなことになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上・BS・CSデジタルテレビ放送局では、2008年7月以降、電波に「一回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。(ただしコピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。)
●本機は個数制限コピー可能なダビング10には対応していません。
●CPRM(*)という著作権保護技術に対応したデジタル録画機器と記録メディア(ディスクなど)の組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。　*Content Protection for Recordable Media
CPRMに対応していないDVD-RやDVD-RAMでは録画ができませんのでご注意ください。
●「1回だけ録画可能」のコピー制御信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングはできません。
●VHSなどアナログ録画機器での録画や、アナログ放送の録画はこれまでどおりです。
●「1回だけ録画可能」のコピー制御信号は、BSデジタル放送のWOWOWやスター・チャンネルですでに利用されています。
●「1回だけ録画可能」と同じ意味で「デジタル1COPY」「1世代のみコピー可」と表現することがあります。
●詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。

●コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
●社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■汚れやほこりは柔らかい布(綿・ネル地など)で軽くふく

・ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍にうすめた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

■化学ぞうきんのご使用について

・ディスプレイパネルの表面には使用しないでください。
・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

■洗剤を直接本機にかけない

水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。
(キャビネットの変質の原因)

お知らせ

●ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
●ディスプレイパネルは、ガラス製です。強い力や衝撃を加えないでください。

設置されるとき

■直射日光を避け、熱器具から離す

キャビネットの変形や故障の原因になります。

■本機を設置するとき

振動がなく、本機の質量に耐えられる場所に設置する。
指定の取り付けユニットをご使用ください。

■赤外線通信機器をご使用になるとき

赤外線通信機器(赤外線コードレスヘッドホンや赤外線ワイヤレスマイクなど)をご使用になると、通信障害(ノイズなど)が発生する場合がありますので、影響のない所まで本機より離すかプラズマテレビの光が入らないように機器の受信部を設置してください。

■機器相互のかんしょうに注意

プラズマテレビの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。(発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。)

■接続は電源を"切"にしてから

各機器の説明書に従って、接続してください。
(オーディオ機器、録画機器、オーディオアンプなど)

■本機を移動されるとき

ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■アンテナは定期的な点検を

風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
映りが悪くなった場合は販売店にご相談を。

■良好な画面で見るために

アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

■見る距離と部屋の明るさは

画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさで。

ご使用になるとき

■適度の音量で隣り近所への配慮を

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

■長時間ご使用にならないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は約0.9 W、本体の電源を切った場合は約0.5 Wの電力を消費しております。

■本機は残像が発生することがあります。

画面モードを「ノーマル」(映像の縦横比4：3)で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像(焼き付き現象)が発生します。
画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。(ふだんは42ページのブランク輝度設定を「高」でご覧ください。)
静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されます。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

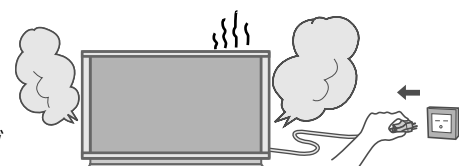
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

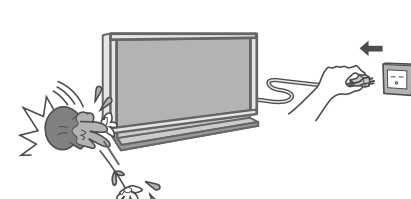
異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください

電源プラグを抜く

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

■設置工事は工事専門業者にご依頼ください

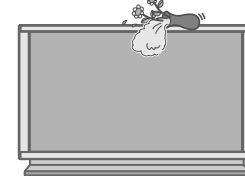
工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

警告

■上に水などの液体の入った容器を置かないでください

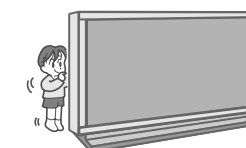
水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

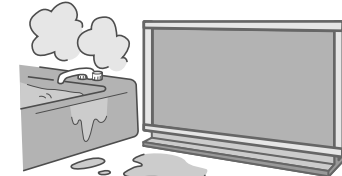
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体の入った容器）

■異物を入れないでください

禁止

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください

水場使用禁止

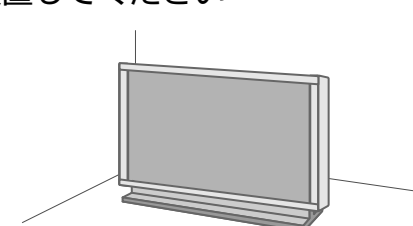
火災・感電の原因となります。

■メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください

禁止

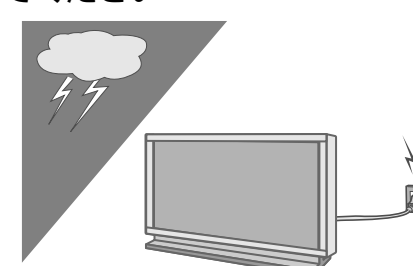
誤って飲み込む恐れがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

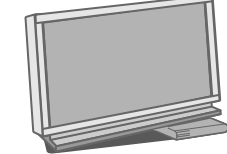
■振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■雷が鳴りだしたらアンテナ線や本機には触れないでください

接触禁止

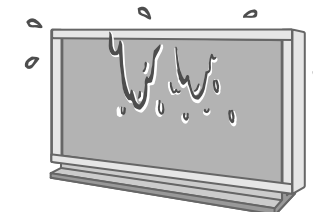
感電の原因となります。

■台の上や不安定な場所に置かないでください

禁止

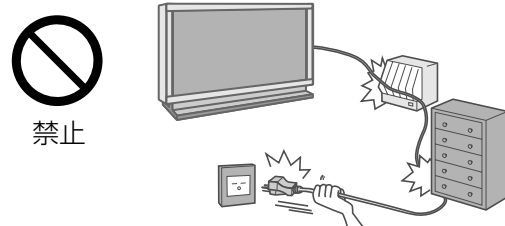
台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ぬらしたりしないでください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 警告

電源コードについて

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

禁止

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

●電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流200 V以外では使用しないでください

禁止

●200 Vの電源工事は、工事専門業者にご依頼ください。
●たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

禁止

火災や感電の原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造しないでください

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

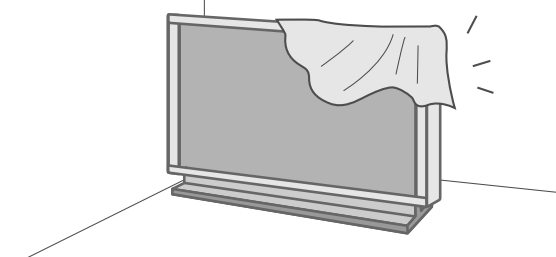
⚠	高圧注意 サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

■本機の通風孔をふさがないでください

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

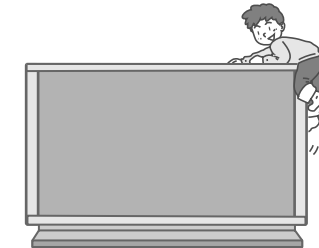
●本機は上面、左右は30 cm以上、下面は15cm以上、後面は20 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
●風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
●あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

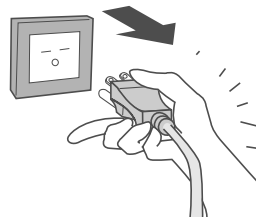
禁止

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■本機や専用スタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください

禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

●特に、小さなお子様にはご注意ください。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■脚立を立てかけるなどしないでください

禁止

落下してけがの原因となることがあります。

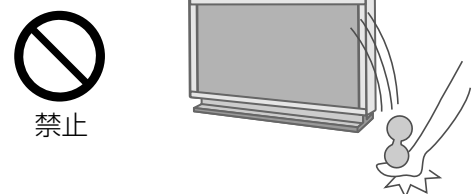
■ディスプレイパネルはガラス製ですので強い力や衝撃を加えないでください

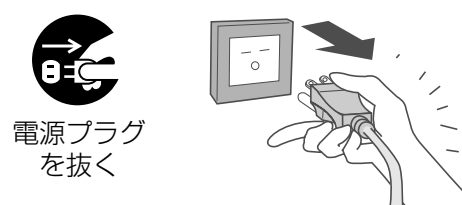
禁止

けがの原因となることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

■上に物を置かないでください

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■適度な距離※を保ってご覧ください

本機の画面を近距離でご覧になると、映像によっては映像酔いすることがあります。

※画面の高さの約3倍程度を目安にしてください。

■接続ケーブルの処理は確実に行ってください

ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

● 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■転倒防止の処置をしてください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

お手入れについて

■1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因となることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。

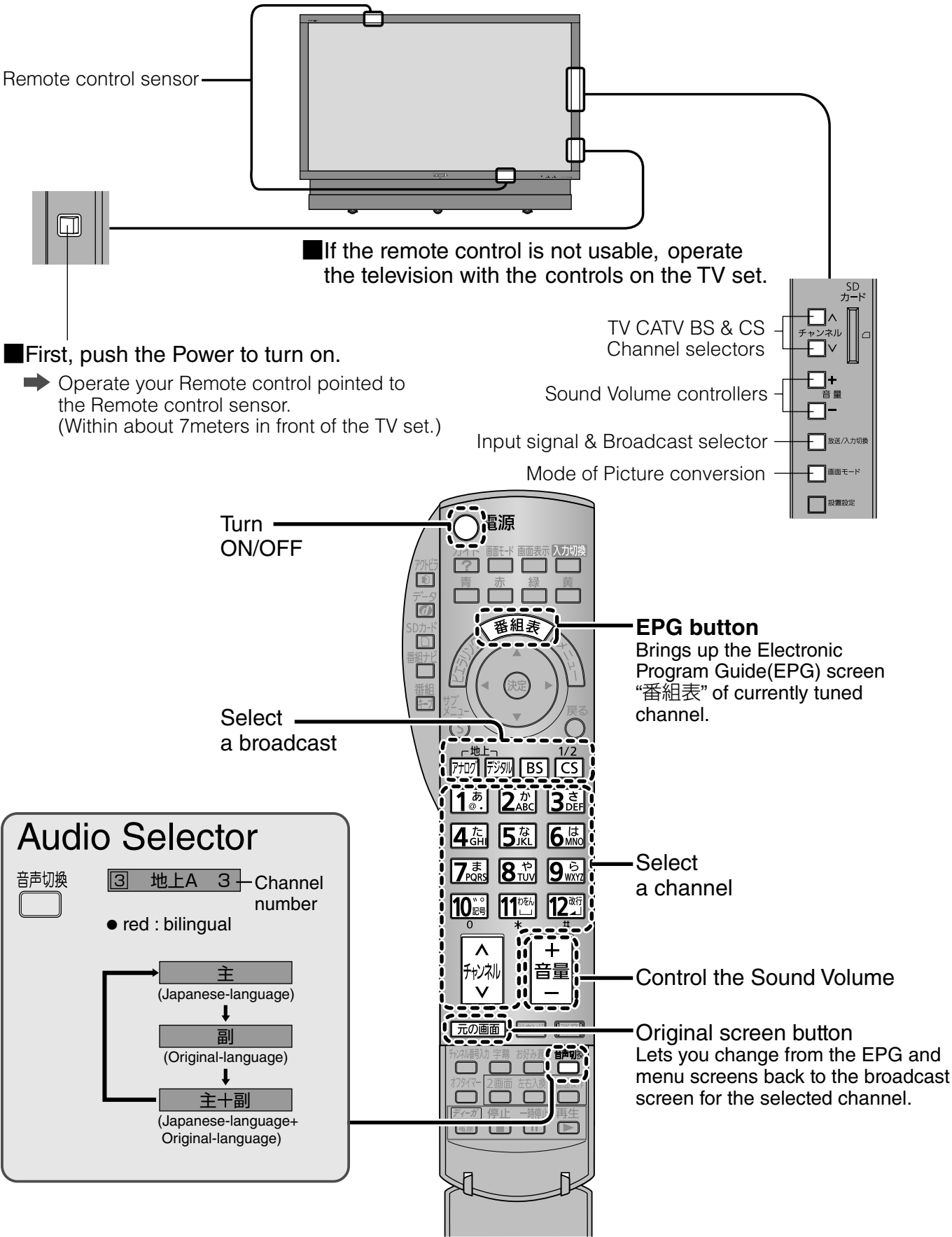
- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BS・CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取りつけてください。

キャスターについて

■キャスターを移動に使用しないでください

設置時の位置調整用のキャスターです。
移動に使用すると破損し、けがの原因となることがあります。

Quick Reference Guide

Basic Operations

仕様

●このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体		
品番		親品番：TH-103PZ800(103V型) ディスプレイ部：TH-103PZ800J　専用スタンド部：TY-S103PZ800
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ
使用電源		AC200 V　50／60 Hz
消費電力		1450 W 本体電源「切」時　約0.5 W、リモコンで電源「切」時　約0.9 W (電源ランプ橙色または回線使用中／データ取得中ランプが橙色時　約27 W)
受信可能放送		VHF ch1～12／UHF ch13～62／CATV c13～c63／BSデジタル／110度CSデジタル／地上デジタル(CATVパススルー対応)　※ワンセグ放送を除く
音声実用最大出力		30 W(15 W＋15 W)(8 Ω、JEITA)
スピーカー		別売
プラズマディスプレイパネル		駆動方式　AC型 103V型(アスペクト比16：9)
画面寸法		幅 226.9 cm　高さ 127.7 cm　対角 260.4 cm
画素数		2,073,600画素(横1,920×縦1,080)[ドット数5,760×1,080]
動作使用条件		周囲温度：0℃～40℃　相対湿度：20%～80%(結露なきこと)
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～4　S2映像：輝度・色信号分離(75 Ω)　映像：1V[p-p](75 Ω)　音声：左・右　0.5 V[rms] ビデオ入力1、2はS2映像なし ●モニター出力　S2映像：輝度・色信号分離(75 Ω)　映像：1V[p-p](75 Ω)　音声：左・右　0.5 V[rms] モニター出力のS2映像は、S映像入力時に重畳されているDC約5 V(フル映像)やDC約2 V(ワイドクリアビジョン映像)をそのまま出力します。デジタル放送時は電圧重畳しません。
	D端子ビデオ関連	D4映像1、2〔Y：1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB：0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR：0.7 V[p-p](75 Ω)〕 音声1、2　：左・右　0.5 V[rms](音声はビデオ入力と兼用) ※入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式
	衛星関連	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω)兼衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力
	パソコン入力	●RGB(ミニD-sub15P)　音声：左-右0.5 V[rms](音声入力はビデオ入力3と兼用) 表示画素数、対応信号について(☞ 93ページ)
	HDMI入力	●HDMI端子 4系統(本機はビエラリンク(HDMI)Ver.3に対応しています。) 対応信号について(☞ 84ページ)
	その他	●光デジタル音声出力端子：－18 dBm 660 nm ●モジュラー端子(電話回線)：2400 bps、MNP4(着呼機能なし) ●i.LINK端子 S400：IEEE1394準拠2系統　●LAN端子(10BASE-T／100BASE-TX) ●Irシステム(Irシステムケーブル[別売品]用) ●ヘッドホン／イヤホン(16～32 Ω推奨)2系統　●外部スピーカー端子：左・右(8 Ω) ●SDメモリーカード挿入口(SDHCメモリーカード対応)
外形寸法	本体のみ	幅 241.4 cm　高さ 142.1 cm　奥行 12.9 cm(端子カバー取り付け時19.8 cm)
	専用スタンド取り付け時	幅 241.4 cm　高さ 174.8 cm　奥行 87.1 cm
質量		約221 kg(専用スタンド取り付け時 約343 kg)
キャビネット材質		前面・背面：金属

●テレビのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。
●専用スタンドの仕様は、専用スタンドに付属している組み立て設置工事説明書をご覧ください。

リモコン(品番：N2QAYB000203)	使用電源	DC3 V(単3形乾電池2コ)	操作距離	約7 m以内(テレビ正面距離)
	質量	約170 g(乾電池含)	操作範囲	左右各約30°以内 上下各約20°以内

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!

●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

修理を依頼されるとき

110～117ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし…
●プラズマディスプレイパネルは2年間
●プラズマディスプレイパネルの焼付きは除く

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョンプラズマテレビ
品番	TH-103PZ800
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

- **札幌** 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
- **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011
- **帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
- **函館** 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

東北地区

- **青森** 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326
- **秋田** 秋田市外旭川字小谷地3-1 ☎(018)868-7008
- **岩手** 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130
- **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
- **山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
- **福島** 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

- **栃木** 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555
- **群馬** 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075
- **茨城** つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756
- **埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
- **千葉** 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034
- **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
- **山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5822
- **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
- **新潟** 新潟市東区東明1丁目8-14 ☎(025)286-0180

中部地区

- **石川** 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608
- **富山** 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549
- **福井** 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)21-0622
- **長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209
- **静岡** 静岡市葵区千代田7丁目7-5 ☎(054)287-9000
- **愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
- **岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
- **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
- **三重** 津市久居野村町字山神421 ☎(059)254-5520

近畿地区

- **滋賀** 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021
- **京都** 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)646-2123
- **大阪** 大阪市城東区関目2丁目15-5 ☎(06)6359-6225
- **奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
- **和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
- **兵庫** 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎(078)796-3140

中国地区

- **鳥取** 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
- **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
- **松江** 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
- **出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
- **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
- **岡山** 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
- **広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎(082)295-5011
- **山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎(083)973-2720

四国地区

- **香川** 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388
- **徳島** 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253
- **高知** 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
- **愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区

- **福岡** 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
- **佐賀** 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
- **長崎** 長崎市東町1919-1 ☎(095)830-1658
- **大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
- **宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
- **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
- **天草** 天草市港町18-11 ☎(0969)22-3125
- **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
- **大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

- **沖縄** 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞126～131ページ)